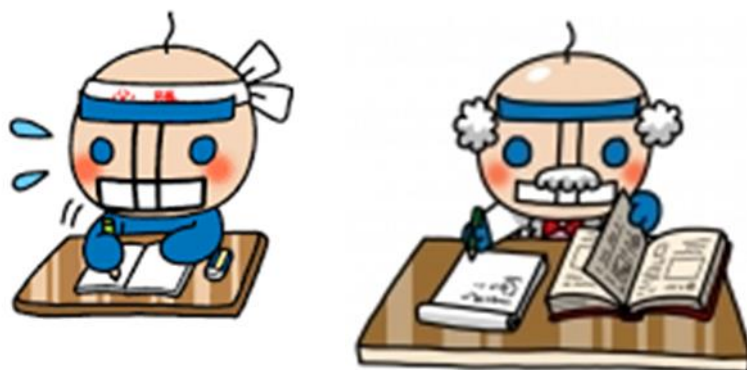


西予市 今後のまちづくりに関するアンケート
(一般市民)
調査結果報告書



平成 29 年 1 月

西予市

目 次

I 調査概要	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 配布・回収状況.....	1
II 調査結果の概要	2
1. あなた自身のことについて.....	2
問1 あなたの自身のことについてお答えください。各項目毎に1つ選んで番号に○をつけてください。.....	2
問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。地域の中からそれぞれ1つ選んで番号、カタカナに○をつけてください。.....	3
問3 あなたは現在の住宅に何年お住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	4
問4 お住まいの住宅の形態について教えてください。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	4
2. あなたの日常生活について.....	5
問5 自宅から最寄りの鉄道駅までの徒歩の所要時間を教えてください。最寄りの駅名を回答欄にご記入のうえ、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	5
問6 自宅から最寄りのバス停までの徒歩の所要時間を教えてください。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	7
問7 通勤・通学、買い物、通院、公共施設などについて、あなたが普段よく利用される場所、交通手段、頻度をお答えください。各項目毎に1つ選んで番号に○をつけてください。.....	8
問8 あなたはスーパーや生協の宅配サービス、インターネットショッピング等を利用していますか。.....	13
問9 あなたが外出する曜日は主に何曜日ですか。（複数選択可）.....	13
3. 公共交通機関の利用状況について.....	14
問10 あなたは路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）を利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	14
問11 あなたが路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）を利用しない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。.....	15
問12 自家用車の代わりに公共交通を利用することはできますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	16
問13 自家用車の運転継続意思はありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	17
問14 あなたが利用する路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）の目的地までの片道料金はどれくらいですか。また、いくらぐらいが望ましいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	19
4. 現状の公共交通について.....	21
問15 路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）について、より利用しやすくするためには、どのようなことを望みますか。次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。.....	21
5. 公共交通の維持・発展について.....	23
問16 西予市が公共交通維持のため、このような運行助成や直接運行を実施していることを知っていましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	23
問17 バス路線の維持について、どうお考えですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	24
問18 公共交通で対応してほしいのはどのような内容ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。.....	25
問19 このような制度が地域にあれば、あなたは利用したいと思いますか。.....	26
問20 このようなNPO等があれば、あなたは参加したい（NPO等に入って、NPOの運営や運転手として活動したい）と思いますか。.....	27

6. あなたのお住まいの地域について	28
問 21 お住まいの地域の住みやすさについて、次の①～⑯の項目ごとの現在の評価について教えてください。それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。	28
7. あなたのお住まいに関する意向について	29
問 22 これまでの居住履歴について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	29
問 23 今後の生活を考え、現在お住まいからの住み替え（引っ越し）をお考えですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	29
問 24 住み替える場合、次のどの点に考慮しますか。住み替えの予定がない方も住み替えを想定してお答えください。それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。	31
8. 将来のまちづくりについて	34
問 25 あなたは、西予市の将来のまちの姿についてどのようなまちがよいとお考えですか。最も近いと感じるものを次の中から2つ選んで番号に○をつけてください。	34
問 26 あなたは、まちづくりのための施策として何を優先して行うべきだとお考えですか。次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。	35
問 27 あなたがお住まいの地域で、災害時の避難や救援救急活動を実施するにあたり、特に 必要なものや不安なことについて、次のなかから3つ選んで番号に○をつけてください。	37
問 29 あなたがお住まいの地域の道路の整備について、今後どのようなことに力をいれるべきとお考えですか。3つ選んで番号に○をつけてください。	42
問 30 あなたがお住まいの地域の公園、緑地の整備について、今後どのようなことに力をいれるべきとお考えですか。3つ選んで番号に○をつけてください。	43
9. コンパクトなまちづくりについて	45
問 31 コンパクトシティ・プラス・ネットワークによるまちづくりについてご存じでしたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	45
問 32 このようなまちづくりを進めることについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	46
問 33 このようなまちづくりを進めた場合、お住まいの地域ではどのような影響があると思いますか。①～⑨の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。	48
問 34 将来このようなコンパクトなまちが実現した場合、どのような場所で暮らしたいと思いますか。将来住みたい場所、または現在お住まいの地域の将来像について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	49
10. 都市計画について	51
問 35 あなたは、都市計画区域や用途地域、都市施設などについてご存知でしたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	51
問 36 あなたの住んでいる所は、次のどれにあてはまりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	51
問 37 問 36 で、2（都市計画区域内だが用途地域は指定されていない）、3（都市計画区域内だが用途地域については分からない）と答えた方におたずねします。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	52
問 38 問 36 で、4（都市計画区域外である）、5（都市計画区域内か都市計画区域外か分からない）と答えた方におたずねします。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。	52
11. 自由意見	53
問 39 まちづくりや公共交通に関する自由なご意見をお聞かせください。	53

I 調査概要

この調査は、西予市の将来的な人口減少に対応するまちづくりに向けて、「都市計画マスタープラン」の見直し、「立地適正化計画」及び「地域公共交通網形成計画」の策定を進めるにあたり、西予市の地域特性に応じた計画づくりを行うため、市民の方々にアンケートを行ったものである。

以下に調査方法の概要を整理する。

① 対象地域	西予市の全域																																																	
② 対象者	市内に居住する 20 歳以上の男女・約 3,000 名 地域別・年齢別人口（その比率）に応じて配布数を算出した。																																																	
	■地域別 20 歳以上の人口（平成 22 年国勢調査による）																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>明浜地域</th> <th>宇和地域</th> <th>野村地域</th> <th>城川地域</th> <th>三瓶地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域別 20 歳以上総人口</td> <td>35,744</td> <td>3,331</td> <td>14,167</td> <td>7,986</td> <td>3,443</td> <td>6,817</td> </tr> <tr> <td>20 歳代</td> <td>2,328</td> <td>157</td> <td>1,092</td> <td>482</td> <td>174</td> <td>423</td> </tr> <tr> <td>30 歳代</td> <td>4,002</td> <td>252</td> <td>2,050</td> <td>731</td> <td>264</td> <td>705</td> </tr> <tr> <td>40 歳代</td> <td>4,146</td> <td>331</td> <td>1,851</td> <td>948</td> <td>321</td> <td>725</td> </tr> <tr> <td>50 歳代</td> <td>5,864</td> <td>503</td> <td>2,285</td> <td>1,360</td> <td>569</td> <td>1,147</td> </tr> <tr> <td>60 歳以上</td> <td>19,374</td> <td>2,088</td> <td>6,889</td> <td>4,465</td> <td>2,115</td> <td>3,817</td> </tr> </tbody> </table>		総数	明浜地域	宇和地域	野村地域	城川地域	三瓶地域	地域別 20 歳以上総人口	35,744	3,331	14,167	7,986	3,443	6,817	20 歳代	2,328	157	1,092	482	174	423	30 歳代	4,002	252	2,050	731	264	705	40 歳代	4,146	331	1,851	948	321	725	50 歳代	5,864	503	2,285	1,360	569	1,147	60 歳以上	19,374	2,088	6,889	4,465	2,115	3,817
		総数	明浜地域	宇和地域	野村地域	城川地域	三瓶地域																																											
	地域別 20 歳以上総人口	35,744	3,331	14,167	7,986	3,443	6,817																																											
	20 歳代	2,328	157	1,092	482	174	423																																											
	30 歳代	4,002	252	2,050	731	264	705																																											
	40 歳代	4,146	331	1,851	948	321	725																																											
	50 歳代	5,864	503	2,285	1,360	569	1,147																																											
	60 歳以上	19,374	2,088	6,889	4,465	2,115	3,817																																											
■概ねの配布数																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>明浜地域</th> <th>宇和地域</th> <th>野村地域</th> <th>城川地域</th> <th>三瓶地域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域別総数</td> <td>3,000</td> <td>280</td> <td>1,189</td> <td>670</td> <td>289</td> <td>572</td> </tr> <tr> <td>20 歳代</td> <td>196</td> <td>13</td> <td>92</td> <td>40</td> <td>15</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>30 歳代</td> <td>336</td> <td>21</td> <td>172</td> <td>61</td> <td>22</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>40 歳代</td> <td>350</td> <td>28</td> <td>155</td> <td>80</td> <td>27</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>50 歳代</td> <td>492</td> <td>42</td> <td>192</td> <td>114</td> <td>48</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>60 歳以上</td> <td>1,626</td> <td>176</td> <td>578</td> <td>375</td> <td>178</td> <td>320</td> </tr> </tbody> </table>		総数	明浜地域	宇和地域	野村地域	城川地域	三瓶地域	地域別総数	3,000	280	1,189	670	289	572	20 歳代	196	13	92	40	15	36	30 歳代	336	21	172	61	22	59	40 歳代	350	28	155	80	27	61	50 歳代	492	42	192	114	48	96	60 歳以上	1,626	176	578	375	178	320	
	総数	明浜地域	宇和地域	野村地域	城川地域	三瓶地域																																												
地域別総数	3,000	280	1,189	670	289	572																																												
20 歳代	196	13	92	40	15	36																																												
30 歳代	336	21	172	61	22	59																																												
40 歳代	350	28	155	80	27	61																																												
50 歳代	492	42	192	114	48	96																																												
60 歳以上	1,626	176	578	375	178	320																																												
※配布対象者の転出等を考慮し、実際には 3,098 部を配布した。																																																		
③ 調査方法	郵送法（郵送による調査票の配布・回収）																																																	
④ 調査期間	配布期間：平成 28 年 10 月 1 日～3 日																																																	
	回収期間：平成 28 年 10 月 16 日 ※十分な回収数を確保するため、10 月 24 日までの回収分を分析の対象とした。																																																	

配布数	3,098 部
回収数	1,336 部
回収率	43.1%

II 調査結果の概要

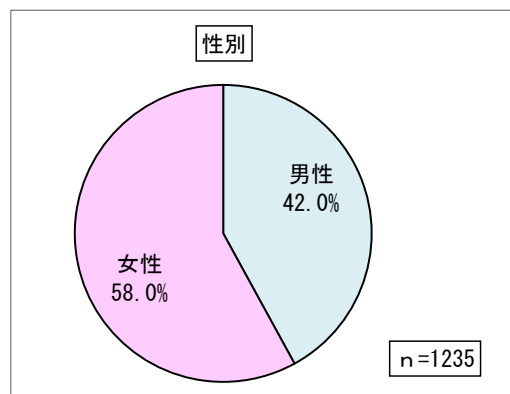
※以下、調査結果の概要に掲載している数値（％）は、四捨五入のため、内訳合計が100%にならない場合がある。

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの自身のことについてお答えください。各項目毎に1つ選んで番号に○をつけてください。

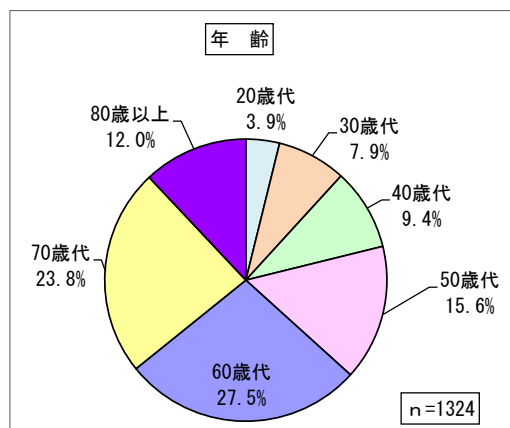
■性別

- ・「男性」が42.0%、「女性」が58.0%となっており、女性がやや多くなっている。



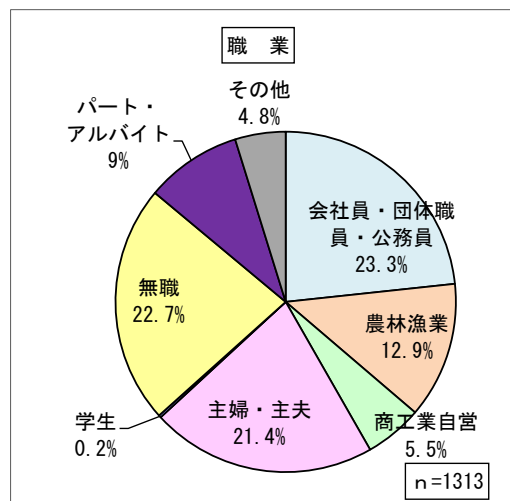
■年齢

- ・「60歳代」が最も多く27.5%、次いで「70歳代」が23.8%、「50歳代」が15.6%となっている。
- ・若い世代では、「20歳代」が3.9%、「30歳代」が7.9%となっている。



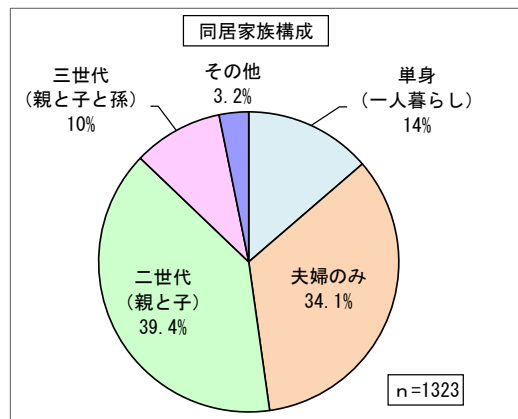
■職業

- ・「会社員・団体職員・公務員」が最も多く23.3%、次いで「無職」が22.7%、「主婦・主夫」が21.4%となっている。



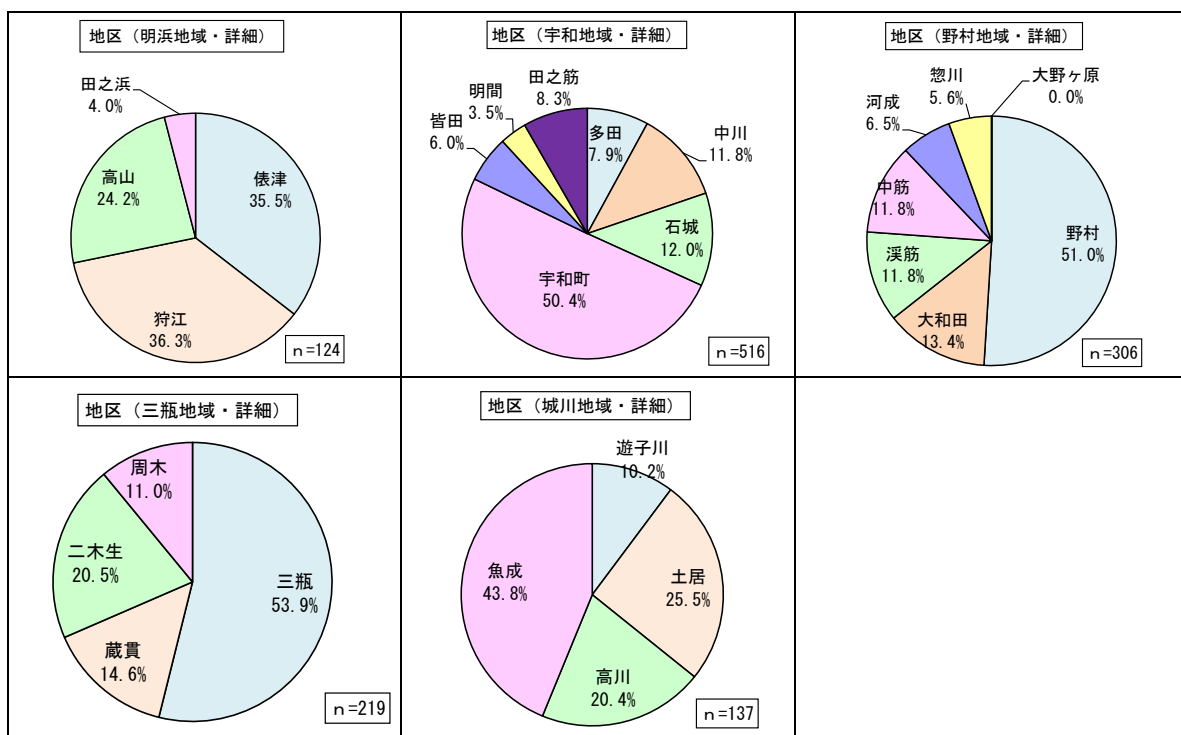
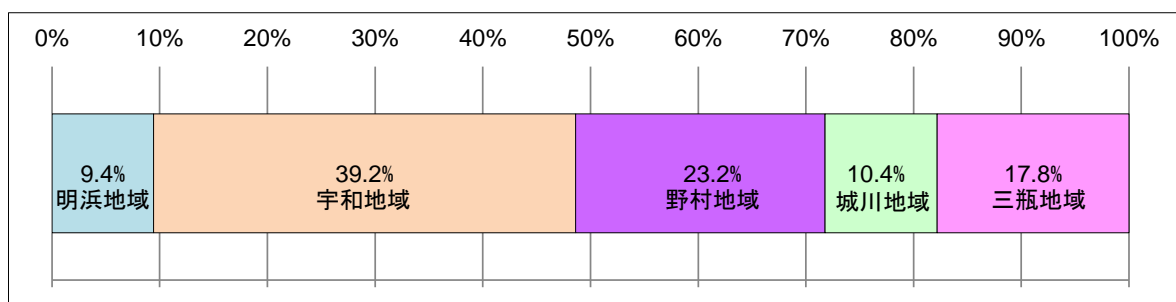
■同居家族構成

- ・「二世代」が39.4%、「夫婦のみ」が34.1%で、この2つが特に多い。
- ・その他、「单身」が14.0%、「三世代」が10.0%となっている。



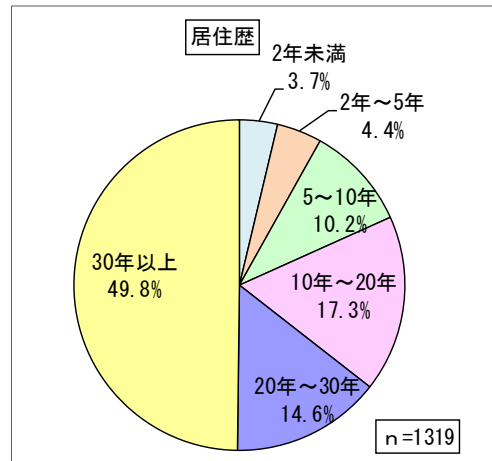
問2 あなたのお住まいの地域はどこですか。地域の中からそれぞれ1つ選んで番号、カタカナに○をつけてください。

- ・「宇和地域」が39.2%、「野村地域」が23.2%、「三瓶地域」が17.8%、「城川地域」が10.4%、「明浜地域」が9.4%となっており、配布数と比例している。
- ・各地域の中での詳細な地区（概ね小学校区域）は、以下の通りである。



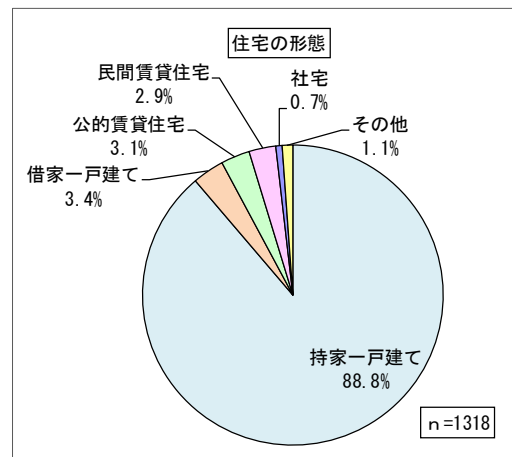
問3 あなたは現在の住宅に何年お住まいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「30年以上」が最も多く49.8%、「10年～20年」が17.3%、「20年～30年」が14.6%となっている。
- ・現在の住宅に10年以上住んでいる人の割合（「10年～20年」+「20年～30年」+「30年以上」）は、81.7%となっている。



問4 お住まいの住宅の形態について教えてください。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「持家一戸建て」が最も多く、88.8%を占めている。

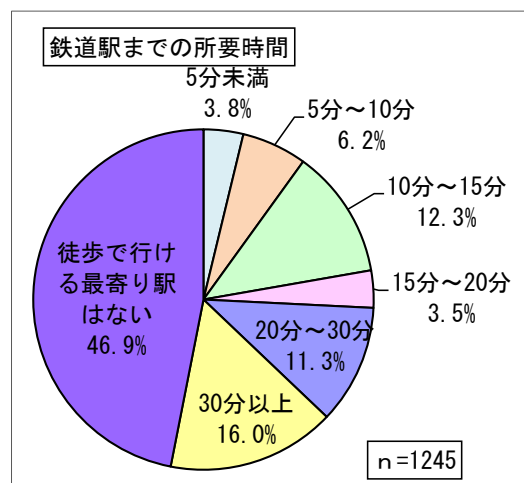


2. あなたの日常生活について

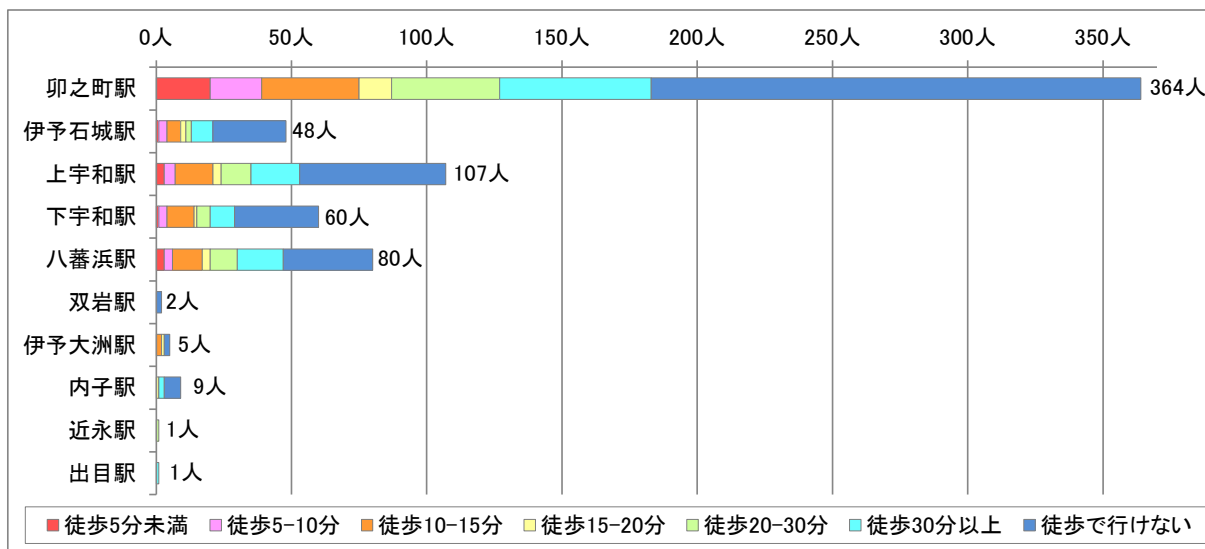
- ・最寄りの鉄道駅まで、徒歩で15分以上かかる人が 77.7%
- ・徒歩で行ける鉄道駅が無い人が 46.9%
- ・最寄りのバス停まで、徒歩で15分以内の人が 75.1%
- ・最寄りのバス停が分からない人が 2.3%
- ・バス停までの所要時間は、路線バスの利用にあまり影響しない。

問5 自宅から最寄りの鉄道駅までの徒歩の所要時間を教えてください。最寄りの駅名を回答欄にご記入のうえ、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「徒歩で行ける最寄り駅はない」が最も多く46.9%、「30分以上」が16.0%となっている。
- ・最寄りの鉄道駅まで徒歩で15分以上かかる人の割合（「15分～20分」+「20分～30分」+「30分以上」+「徒歩で行ける最寄り駅はない」）は、77.7%となっている。

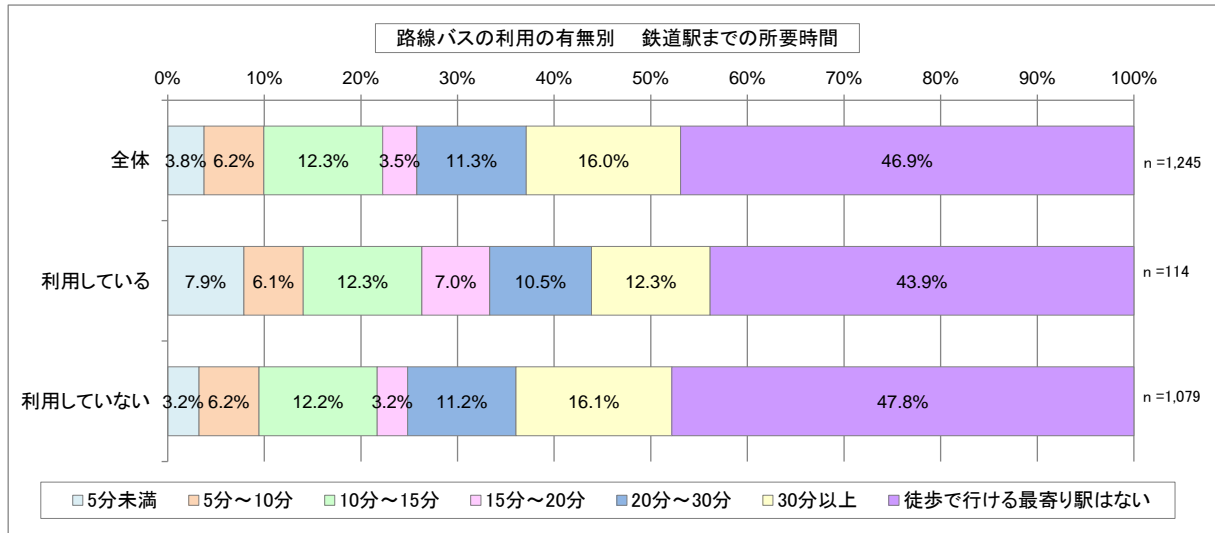


- ・最寄りの鉄道駅について整理すると、「卯之町駅」を最寄りとする人が多く、徒歩15分以内の地区に居住している人も75人（全体の5%程度）みられる。
- ・「上宇和駅」、「下宇和駅」及び八幡浜市の「八幡浜駅」を最寄りとする人が一定みられるが、いずれも、徒歩15分以内の地区に居住している人は僅かである。



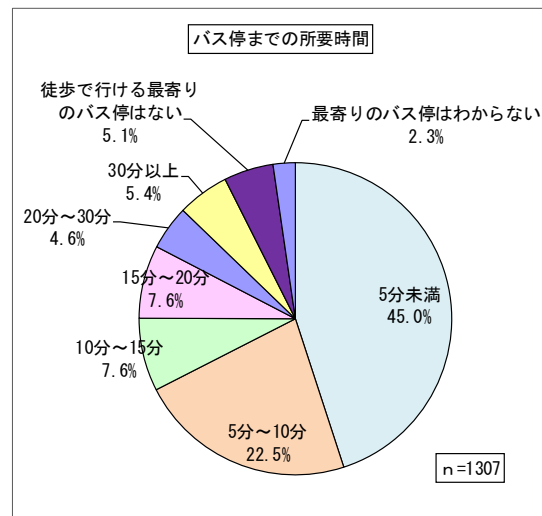
【路線バスの利用の有無別 鉄道駅までの所要時間】

- ・『路線バスの利用の有無』別に、『鉄道駅までの所要時間』を見ると、路線バスの利用の有無による、鉄道駅までの所要時間の違いは、あまり表れていない。
- ・路線バスの利用の有無と、鉄道駅までの所要時間に関係性は見られない。



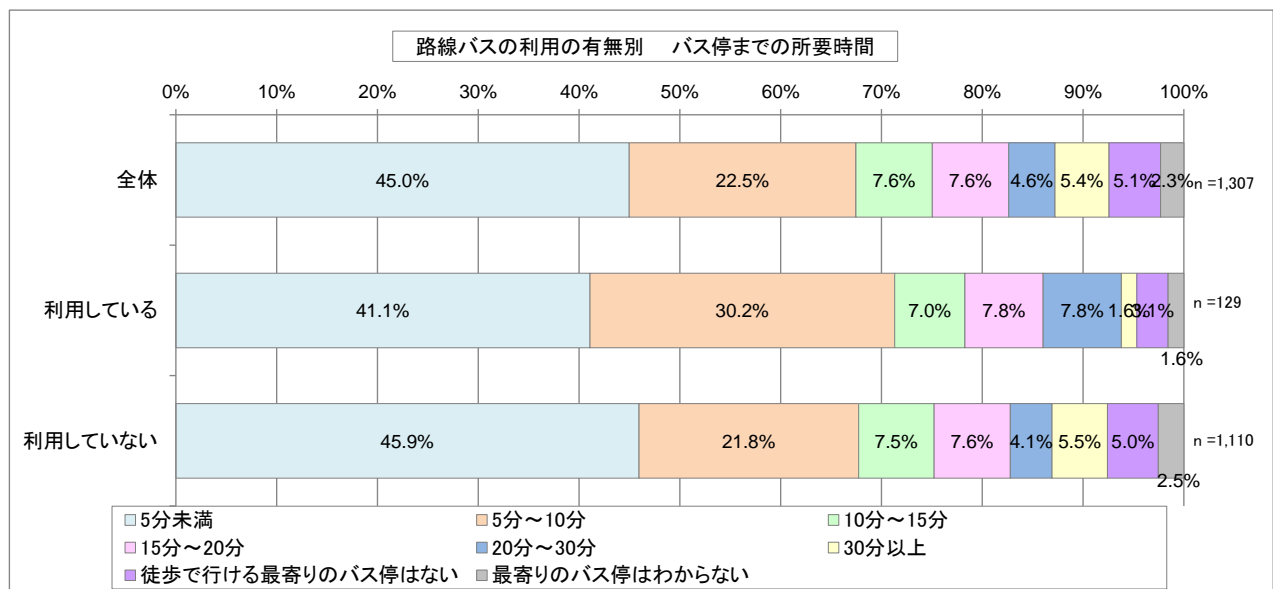
問6 自宅から最寄りのバス停までの徒歩の所要時間を教えてください。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「5分未満」が最も多く45.0%、「5分～10分」が22.5%となっている。
- ・最寄りのバス停まで徒歩で15分以内で行ける人の割合（「5分未満」＋「5分～10分」＋「10分～15分」）は、75.1%となっている。
- ・「最寄りのバス停はわからない」は2.3%である。



【路線バスの利用の有無別 バス停までの所要時間】

- ・『路線バスの利用の有無』別に、『バス停までの所要時間』を見ると、路線バスの利用の有無による、バス停までの所要時間の違いは、あまり表れていない。
- ・路線バスの利用の有無と、バス停までの所要時間に関係性は見られないことから、バス停までの所要時間は、路線バスの利用には大きく影響しないと推察できる。

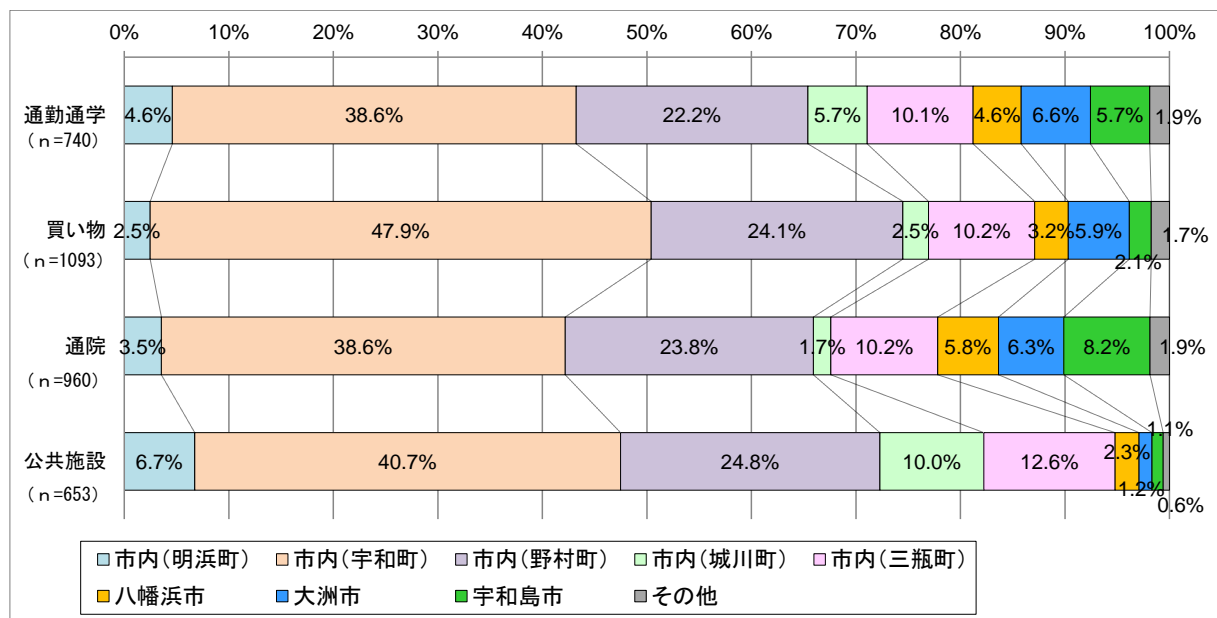


問7 通勤・通学、買い物、通院、公共施設などについて、あなたが普段よく利用される場所、交通手段、頻度をお答えください。各項目毎に1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・目的地では、概ね市内で完結しているが、『通勤通学』『買い物』『通院』では大洲市や宇和島市への流出が見られる。
- ・『買い物』と『通院』では、路線バスを利用している人ほど、「三瓶町（及び明浜町）」を目的地とする場合が多い。
- ・交通手段では、「自家用車（運転）」が突出して多く、「自家用車（同乗）」も多い。一方、『公共施設』をはじめとして、「徒歩」による移動も一定の割合で見られる。「路線バス」など、公共交通による移動は少ない。
- ・頻度では、『通勤通学』は「週5日以上」、『買い物』は「週1~2回」から「週3~4回」、『通院』は「月数回」から「年数回」、『公共施設』は「定期的には行かない」が多い。

■目的地

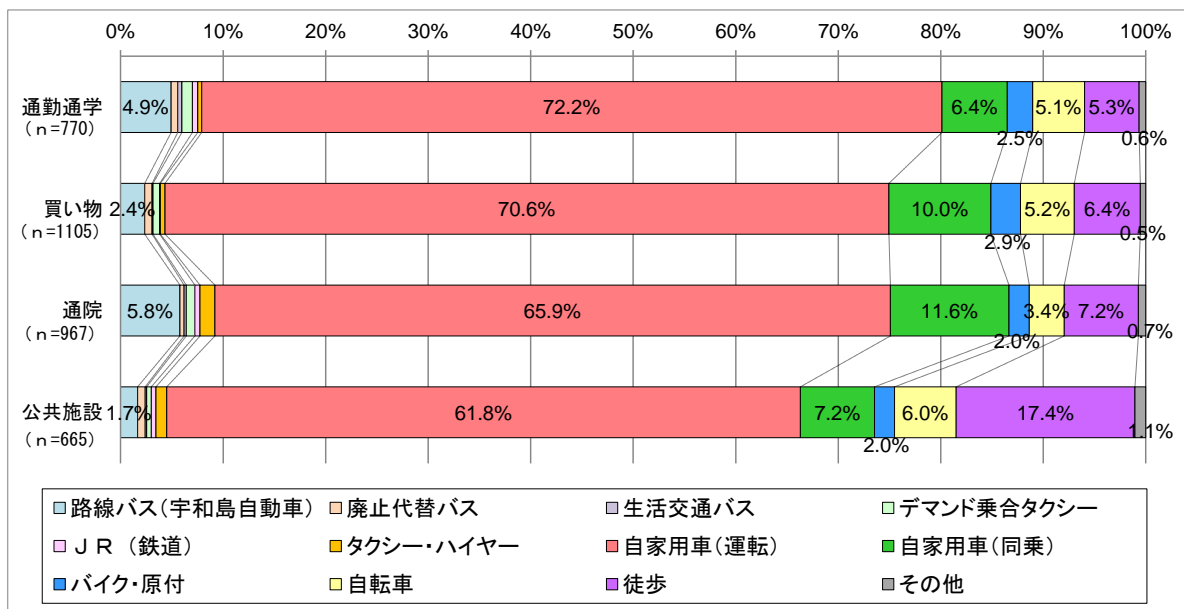
- ・目的地を見ると、概ね「市内（宇和町）」が最も多く、次いで「市内（野村町）」、「市内（三瓶町）」の順で多い。配布数と比例しているものと考えられる。
- ・市外への流出を見ると、『通勤通学』及び『通院』では「大洲市」と「宇和島市」に、『買い物』では「大洲市」に一定の流出がみられる。一方、『公共施設』については、概ね市内の施設を目的としている様子が見える。



- ・よく行く施設名としては、『買い物』で「フジ（宇和・八幡浜）」、「Aコープ」、「コスモス」、「オズメッセ」、『通院』で「西予市民病院」、「市立野村病院」、「三瓶病院」、「市立宇和島病院」、『公共施設』で「市役所・支所」、「集会所・公民館」、「保健センター」、「児童会館」、「乙亥会館」等が挙げられている。

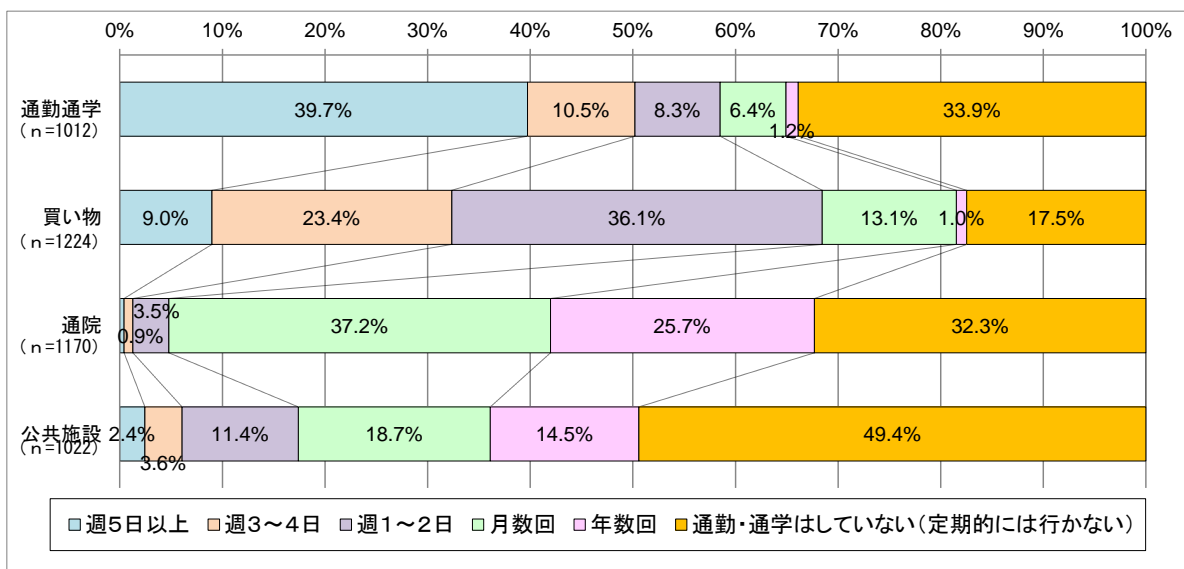
■交通手段

- ・交通手段を見ると、すべてにおいて「自家用車（運転）」が 60%～70%程度を占めている。また「自家用車（同乗）」も 10%程度を占めているものが多い。
- ・「徒歩」による移動も一定の割合で見られ、特に『公共施設』に対しては、『徒歩』での移動が 17.4%を占めている。一方、「路線バス」「廃止代替バス」「生活交通バス」など、公共交通による移動は僅かである。



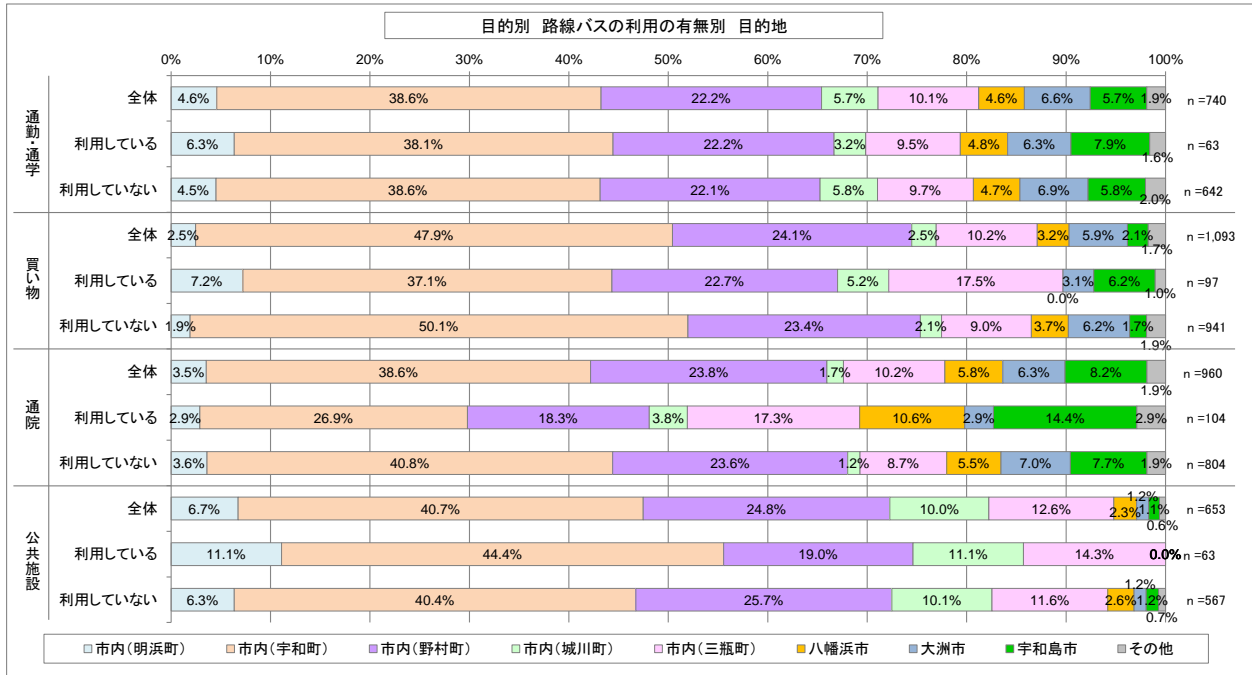
■頻 度

- ・頻度を見ると、『通勤通学』では、「週 5 日以上」が 39.7%である。一方、「通勤通学はしていない」が 33.9%である。
- ・『買い物』では、「週 1～2 回」が 36.1%、「週 3～4 回」が 23.4%である。
- ・『通院』では、「月数回」が 37.2%、「年数回」が 25.7%である。一方、「定期的には行かない」が 32.3%である。
- ・『公共施設』では、「定期的には行かない」が 49.4%と半数近くを占める。



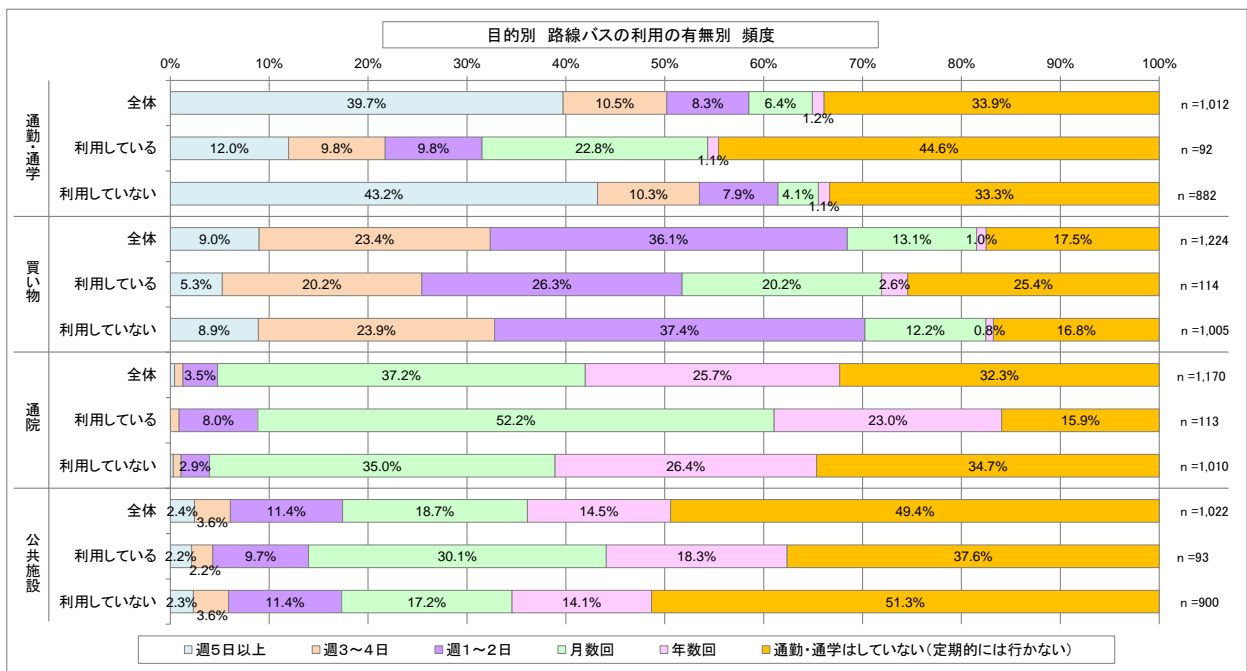
【目的別 路線バスの利用の有無別 目的地】

- ・『路線バスの利用の有無』別の目的地の違いを見ると、『買い物』と『通院』では、「路線バスを利用している」方が、市内では「三瓶町」（『買い物』の場合は「三瓶町」と「明浜町」）を目的地とする場合が多い。一方、「宇和町」を目的地とする場合が少ない。市外では、「宇和島市」（『通院』の場合は「八幡浜市」）を目的地とする場合が多い。
- ・『通勤・通学』、『公共施設』では、大きな違いは見られない。



【目的別 路線バスの利用の有無別 頻度】

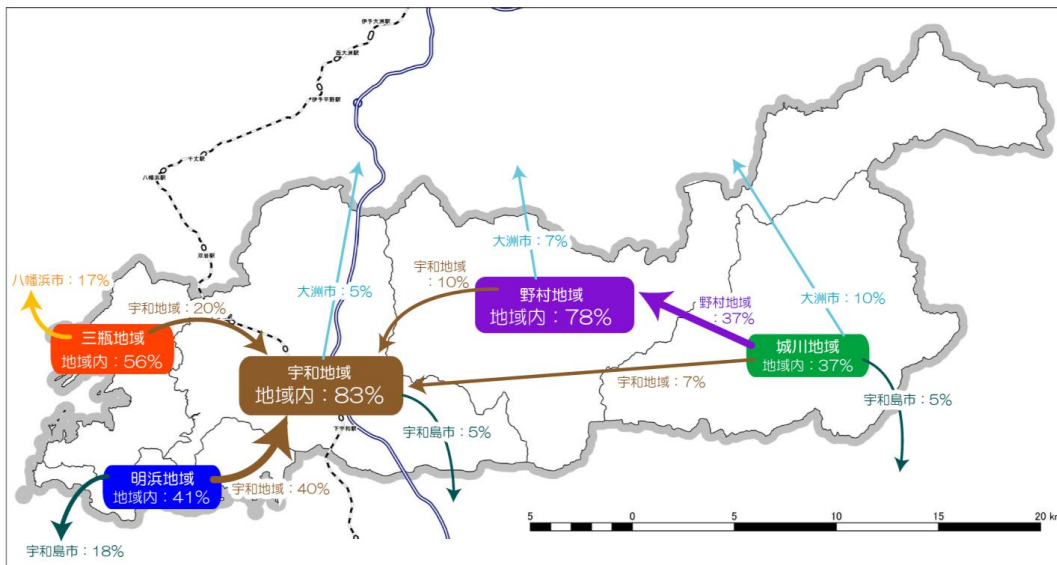
- ・『路線バスの利用の有無』別の頻度の違いを見ると、『通勤・通学』と『買い物』では、「路線バスを利用している」方が頻度が低い。特に『通勤・通学』でこの傾向が顕著である。
- ・『通院』と『公共施設』では、『路線バスの利用の有無』別に頻度を見ると、「路線バスを利用している」方が、総じて頻度が高い。



- ・宇和地域・野村地域では地域内移動が多く、拠点性が強い。三瓶地域では、一定の地域内移動があり、一定の拠点性がみられる。明浜地域と城川地域は、拠点性が弱い。
- 「公共交通」と「自家用車」を比べると、明浜地域・三瓶地域では、公共交通により他市への移動が多くなるが、宇和地域・野村地域では、大きな違いは見られない。城川地域では、公共交通による地域内の移動が顕著にみられる。
- ・公共交通による地域内・地域間の移動を促進していく必要性がうかがえる。

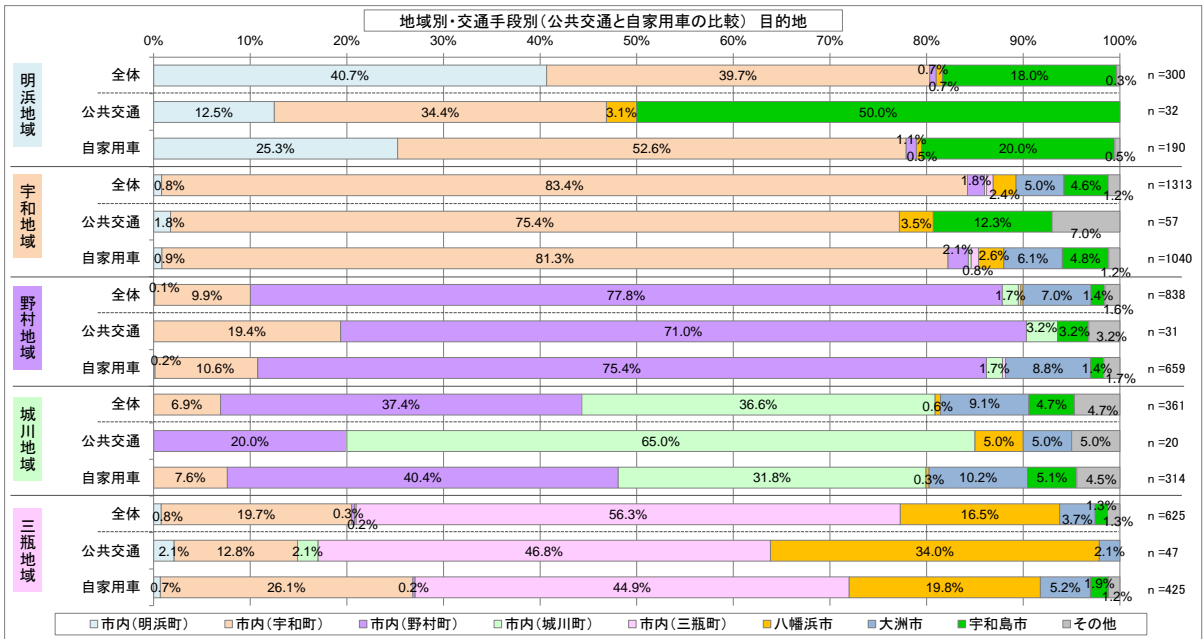
【地域間の移動：居住地域別 目的地】

- ・居住地域別に、移動の目的地を集計し（通勤通学・買い物・通院・公共施設の合計）、地域間（地域内を含む）の移動の状況を分析した。
- ・地域内の移動は、宇和地域、野村地域で8割程度と高く、三瓶地域で6割程度である。明浜地域と城川地域は、4割程度と低い。
- ・地域間の移動として、明浜地域→宇和地域、城川地域→野村地域の移動が多いが、それぞれ市外への移動もみられる。

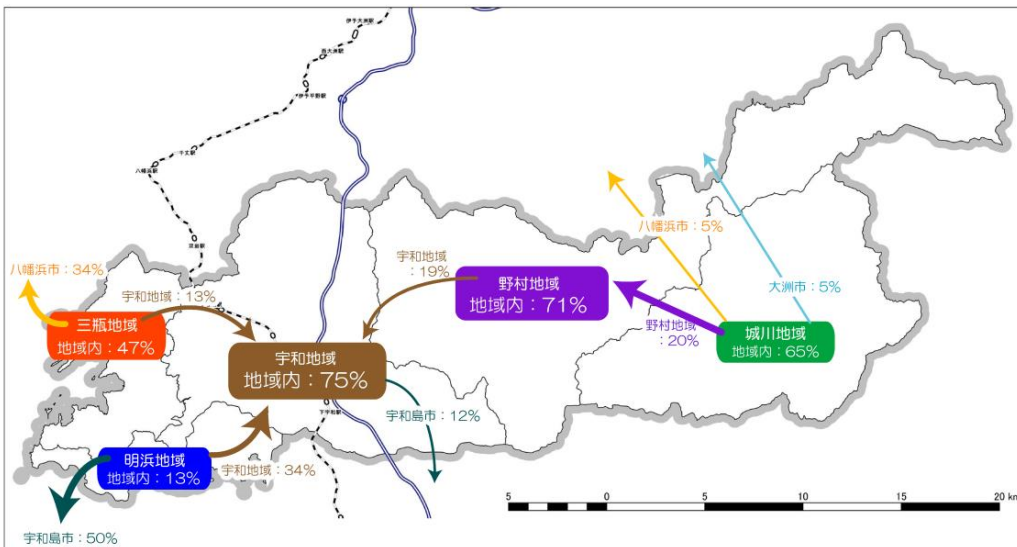


【地域間の移動：居住地域別・交通手段別 目的地】

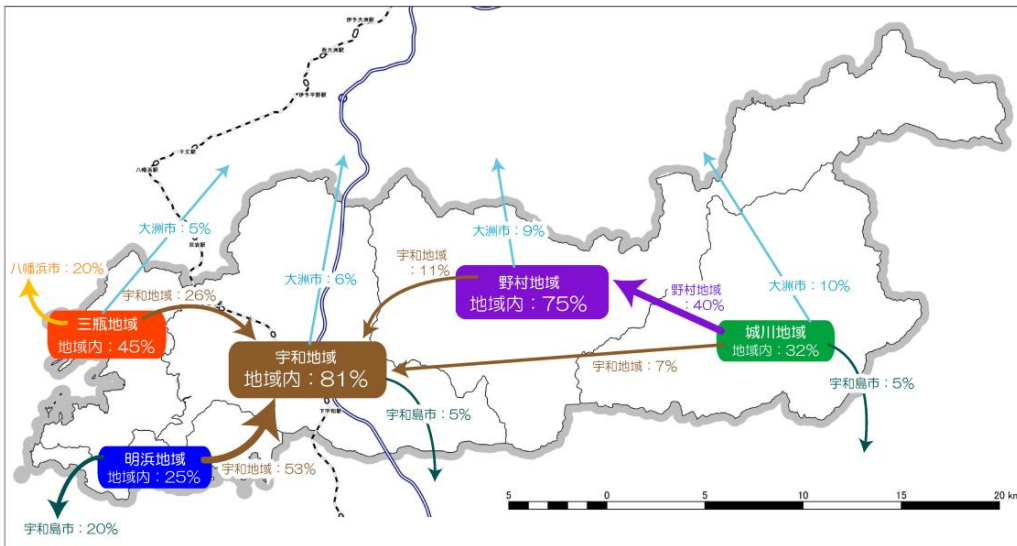
- ・居住地域別、交通手段別移動別（公共交通と自家用車の比較）に、移動の目的地を集計した（通勤通学・買い物・通院・公共施設の合計）。
- ・明浜地域では、「公共交通」は「自家用車」に比べて、地域内移動及び宇和地域への移動が少なく、宇和島市への移動が多くなっている。
- ・宇和地域では、「公共交通」と「自家用車」に大きな違いは見られないものの、「公共交通」では僅かに宇和島市への移動が多くなっている。
- ・野村地域では、「公共交通」と「自家用車」に大きな違いは見られないものの、「公共交通」では、宇和地域への移動が多く、大洲への移動が少なくなっている。
- ・城川地域では、「公共交通」は「自家用車」に比べて、地域内への移動が多く、宇和地域・野村地域への移動が少なくなっている。
- ・三瓶地域では、「公共交通」は「自家用車」に比べて、宇和地域への移動が少なく、八幡浜市への移動が多くなっている。



①公共交通による移動の様子

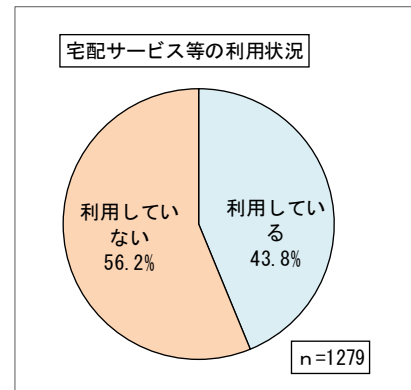


②自家用車による移動の様子



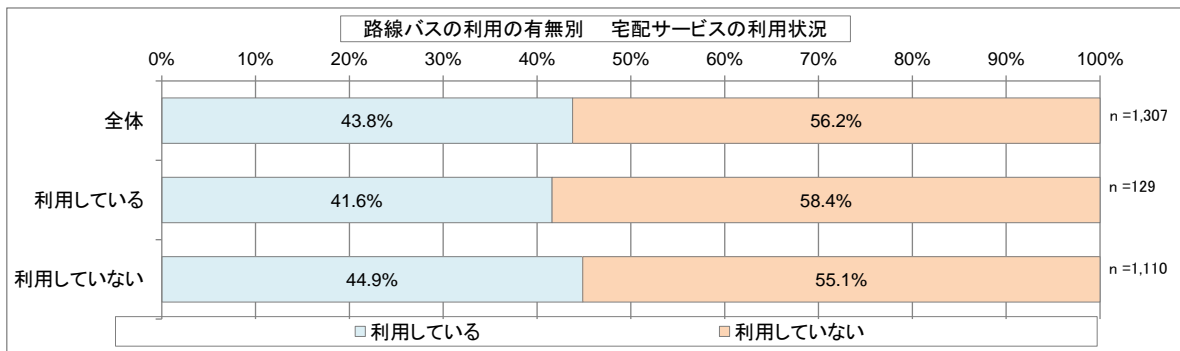
問8 あなたはスーパーや生協の宅配サービス、インターネットショッピング等を利用していますか。

・「利用していない」が56.2%と、「利用している」の43.8%を上回っている。



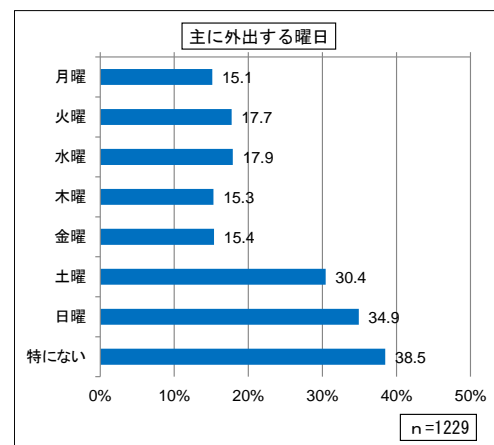
【路線バスの利用の有無別 宅配サービス等の利用状況】

・『路線バスの利用の有無』別に、『宅配サービス等の利用状況』を見ても、大きな違いは表れていない。



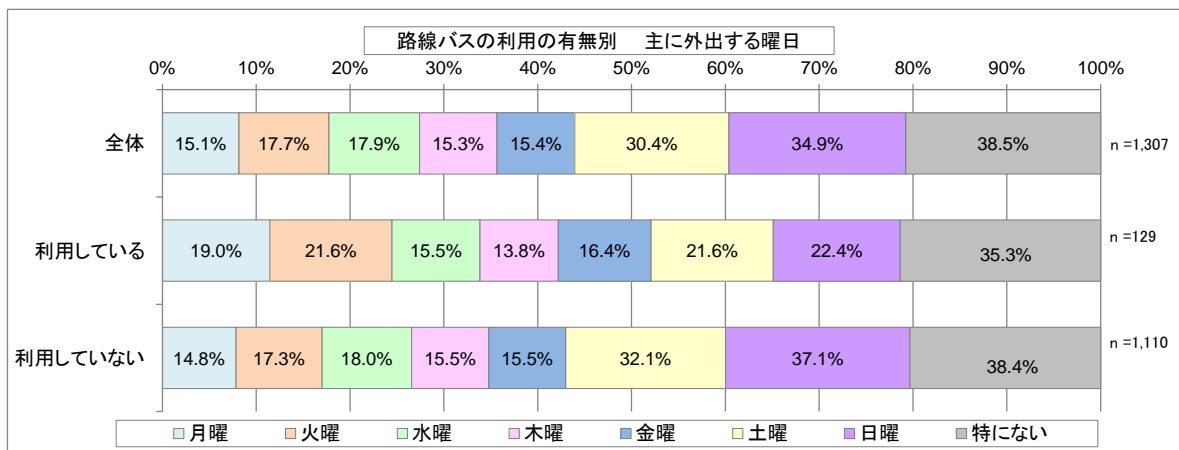
問9 あなたが外出する曜日は主に何曜日ですか。(複数選択可)

・月曜～金曜までの平日と比較し、「土曜日」、「日曜日」が比較的が多い。
 ・「特にない」が38.5%と最も多いが、特定の曜日に偏りはみられない。



【路線バスの利用の有無別 主に外出の曜日】

・『路線バスの利用の有無』別に、『主に外出する曜日』を見ても、大きな違いは表れていない。

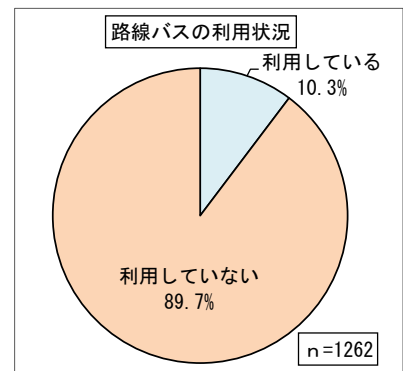


3. 公共交通機関の利用状況について

- ・市民の 10.3%が路線バスを「利用している」(89.7%は「利用していない」)
- ・明浜地域・三瓶地域で、路線バスが比較的利用されている。
- ・路線バスを利用しない理由として、「自家用車を利用するから」が突出して多い。
- ・路線バスを利用しない理由として、路線バスの利便性に着目すると、「便数が少なく利用したい時に利用できないから」という意見が比較的多い。

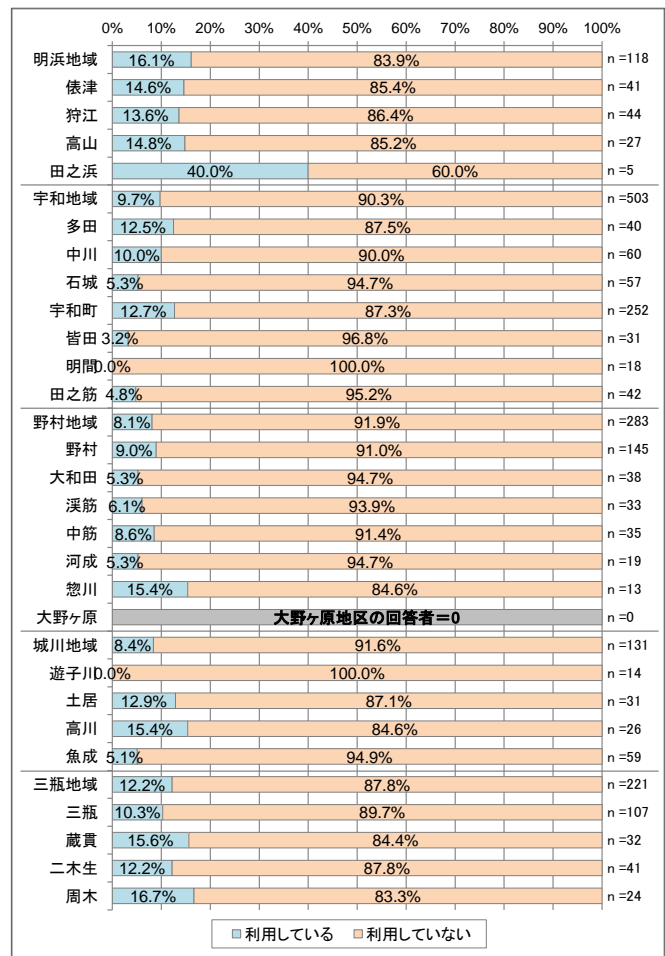
問 10 あなたは路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）を利用していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「利用していない」が89.7%と、「利用している」の10.3%を大きく上回っている。



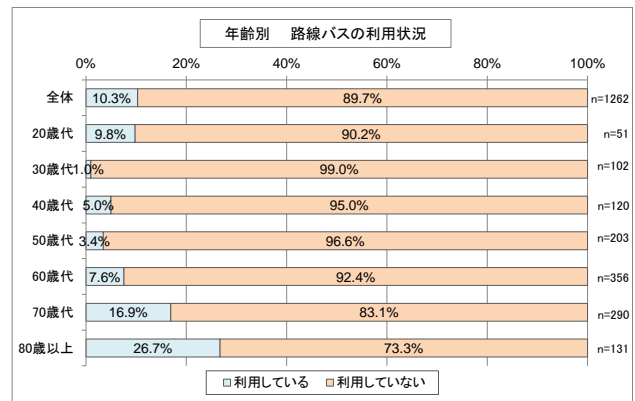
【地域・地区別 路線バスの利用状況】

- ・「利用している」が20%以上の地区は、明浜地域の「田之浜」(40.0%)だけである。
- ・「利用している」が10%以上の地区は、明浜地域の全地区、宇和地域の「多田」、「中川」、「宇和町」、野村地域の「惣川」、城川地域の「土居」、「高川」、三瓶地域の全地区である。



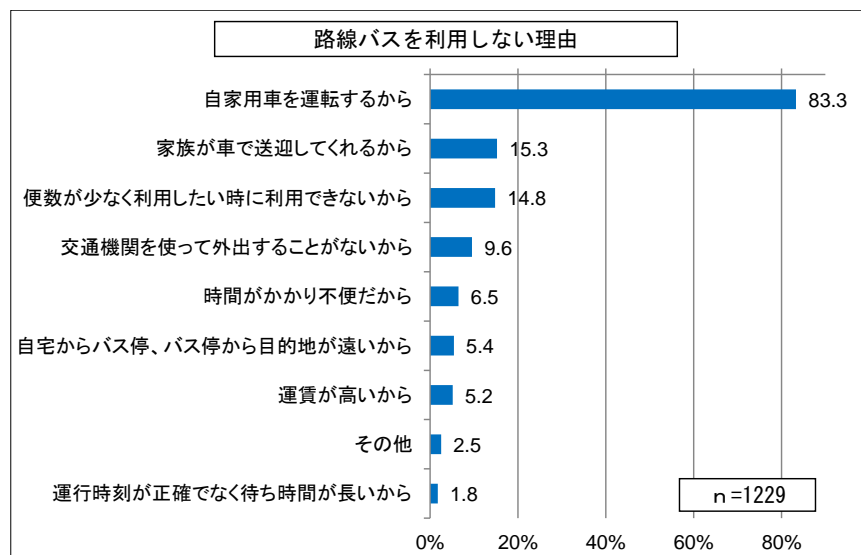
【年齢別 路線バスの利用状況】

- ・「20 歳代」では、「利用している」が 9.8% であるが、「30 歳代」以上では、概ね年齢層が高いほど「利用している」が多くなる傾向にある。
- ・「80 歳以上」では、「利用している」が 26.7%と、他の年齢層と比べても特に多い。



問 11 あなたが路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）を利用しない理由は何ですか。あてはまるもの全てに○をつけてください。

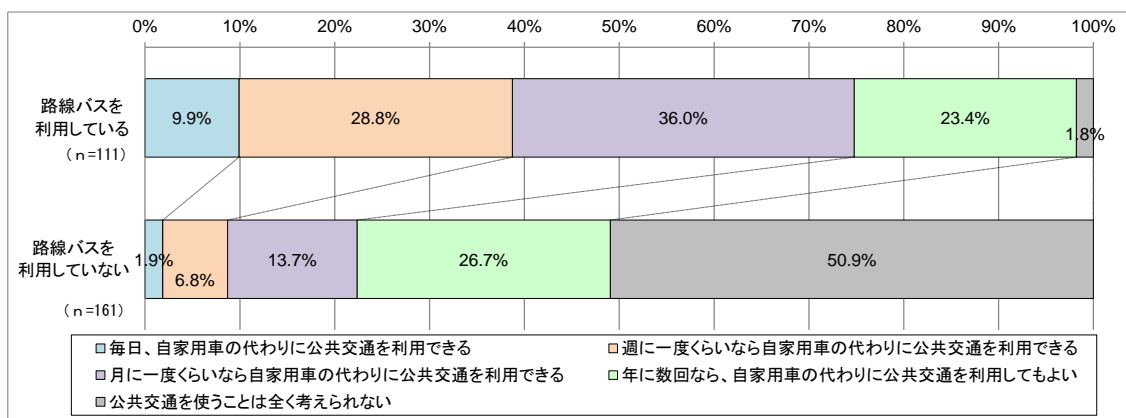
- ・「自家用車を運転するから」が 83.3%と突出して多い。次いで「家族が車で送迎してくれるから」が 15.3%であり、自家用車があることによって路線バスを利用する必要性が無くなっている様子がうかがえる。
- ・路線バスの利便性や運賃等に注目すると、「便数が少なく利用したい時に利用できないから」が 14.8%と比較的多く、「時間がかかり不便だから」が 6.5%、「自宅からバス停、バス停から目的地が遠いから」が 5.4%、「運賃が高いから」が 5.2%、「運行時刻が正確でなく待ち時間が長いから」が 1.8%となっている。



問 12 自家用車の代わりに公共交通を利用することはできますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

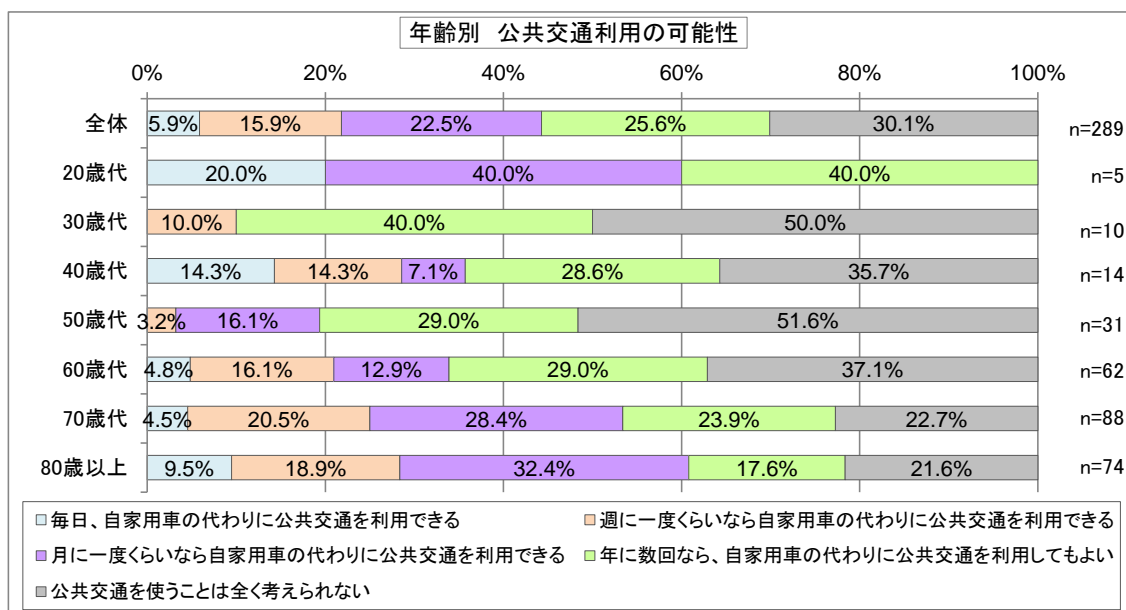
・ 現在路線バスを利用していない人の過半数は、「公共交通を使うことは全く考えられない」としている。

- ・ 『路線バスを利用している』人の場合、既に利用実績があることから、「月に一度くらいなら公共交通を利用できる」が36.0%、「週に一度くらいなら公共交通を利用できる」が28.8%を占めている。「毎日公共交通を利用できる」は9.9%になっている。
- ・ 一方、『路線バスを利用していない』人の場合、「公共交通を使うことは全く考えられない」が50.9%と過半を占めており、「月に一度くらいなら公共交通を利用できる」が26.7%、「週に一度くらいなら公共交通を利用できる」が13.7%となっている。



【年齢別 公共交通利用の可能性】

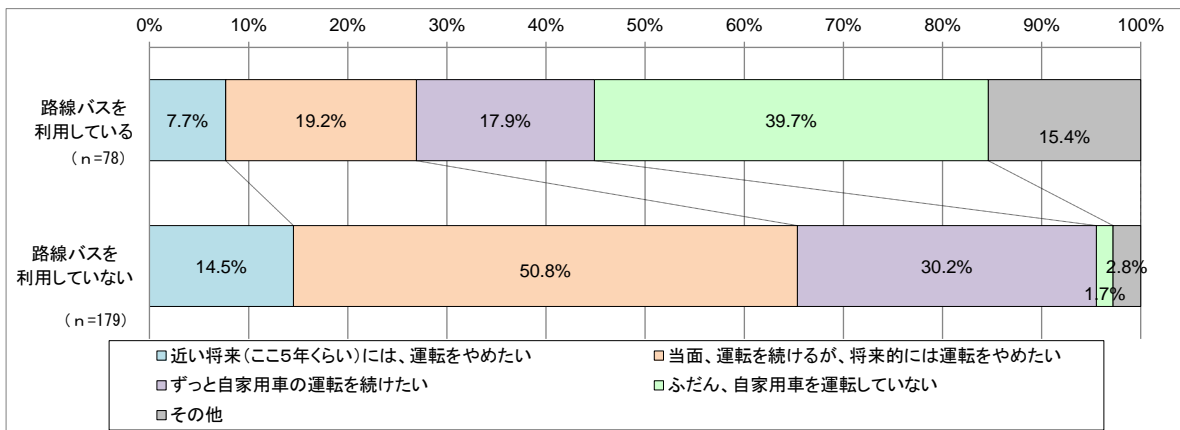
- ・ 「30歳代」～「60歳代」では、「公共交通を使うことは全く考えられない」が多い。
- ・ 一方、「20歳代」と「70歳代」、「80歳以上」では、自家用車の代わりに公共交通を「毎日」～「月に一度くらい」なら利用できる、としている割合が50%を超えており、20歳代の若い世代及び70歳以上の高齢者には、公共交通について一定のニーズがあるものと推察される。



問 13 自家用車の運転継続意思はありますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

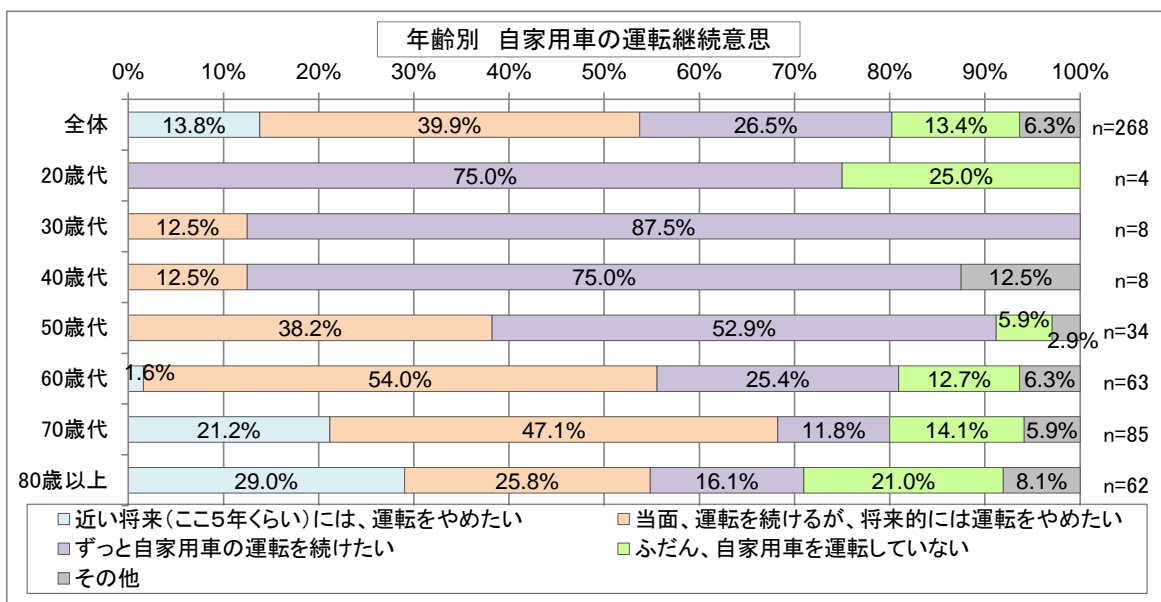
・現在路線バスを利用していない人の 65%以上は、「近い将来または将来的には運転をやめたい」と考えている。

- ・『路線バスを利用している』人の場合、「ふだん、自家用車を運転していない」が 39.7%と最も多い。次いで「当面、運転を続けるが、将来的には運転をやめたい」が 19.2%となっている。
 - ・『路線バスを利用していない』人の場合、「当面、運転を続けるが、将来的には運転をやめたい」が 50.8%、「ずっと自家用車の運転を続けたい」が 30.2%となっている。
- 一方、近い将来または将来的には運転をやめたいと考えている人（「近い将来（ここ 5 年くらい）には運転をやめたい」＋「当面運転をつづけるが将来的には運転をやめたい」）の割合は、65.3%となっている。



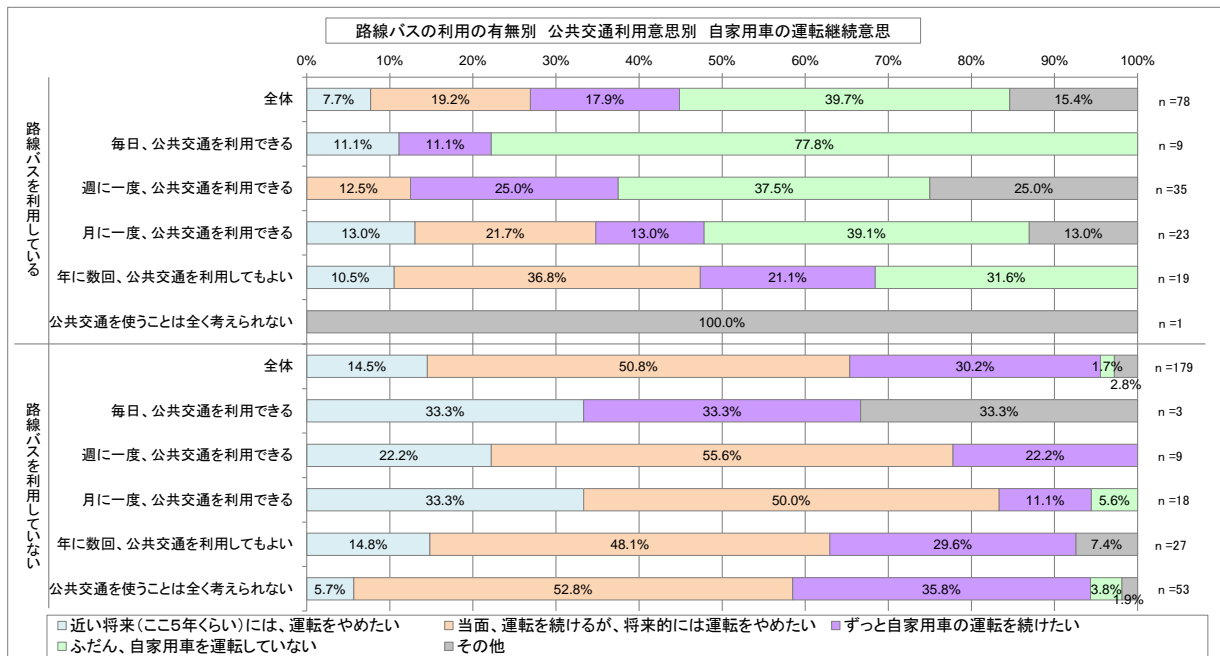
【年齢別 自家用車の運転継続意思】

- ・概ね、年齢層が高いほど、「近い将来には運転をやめたい」と「将来的には運転をやめたい」が多くなる傾向である。



【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 自家用車の運転継続意思】

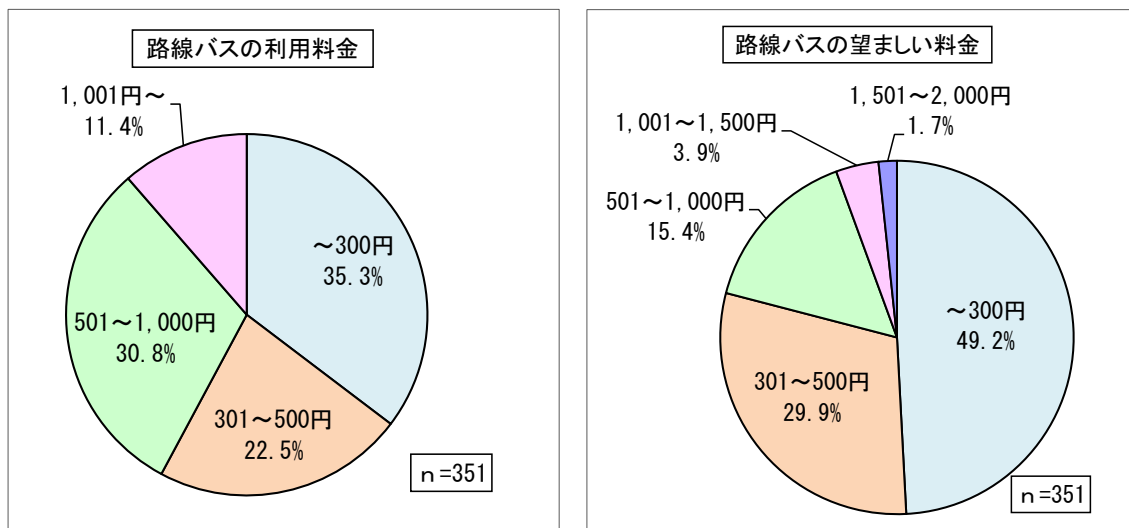
- ・「路線バスを利用している」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人の中では、「ふだん、自家用車を運転していない」とする人が77.8%と多い。
- ・その他の「路線バスを利用している」人については、「ふだん、自家用車を運転していない」が30~40%程度である。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人は3名であったが、「近い将来には運転をやめたい」、「ずっと自家用車の運転を続けたい」、「その他」が1名ずつ、それぞれ33.3%であった。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「週に一度公共交通を利用できる」としている人は9名であったが、「近い将来には運転をやめたい」が22.2%、「当面運転を続けるが将来的には運転をやめたい」が55.6%、「ずっと自家用車の運転を続けたい」が22.2%であった。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「月に一度公共交通を利用できる」としている人は18名であったが、「近い将来には運転をやめたい」が33.3%、「当面運転を続けるが将来的には運転をやめたい」が50.0%、「ずっと自家用車の運転を続けたい」が11.1%であった。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「年に数回公共交通を利用できる」としている人は27名であったが、「近い将来には運転をやめたい」が14.8%、「当面運転を続けるが将来的には運転をやめたい」が48.1%、「ずっと自家用車の運転を続けたい」が29.6%であった。



問 14 あなたが利用する路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）の目的地までの片道料金はどれくらいですか。また、いくらぐらいが望ましいですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

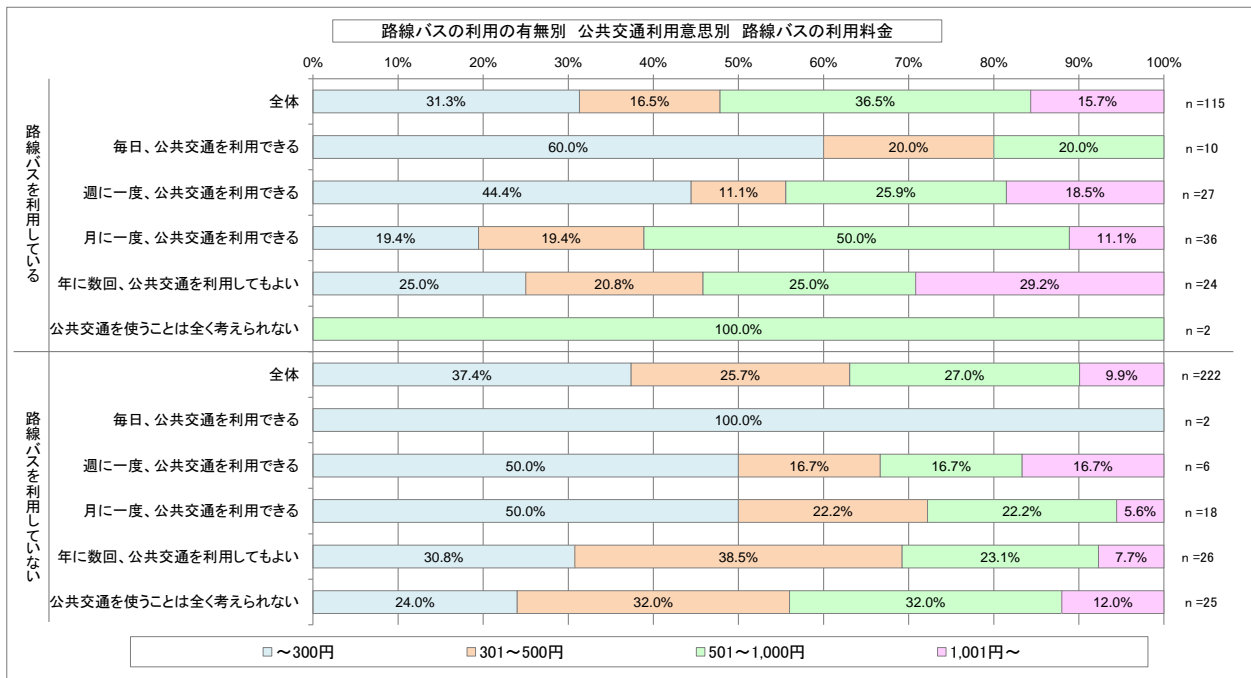
- ・ 現在の利用料金よりも安い値段での利用が望まれている。
- ・ 公共交通の利用頻度が高い人ほど、安い値段での利用を望んでいる。
- ・ 路線バスを利用していない人の中には、高い値段での利用が望ましいとしている人もいる。

- ・ 現在の利用料金では、「～300円」が35.3%と最も多く、「501～1,000円」が30.8%、「301～500円」が22.5%、「1,001円～」が11.4%となっている。
- ・ 望ましい料金では、「～300円」が49.2%と最も多く、半数に迫っている。次いで「301～500円」が29.9%、「501～1,000円」が15.4%となっている。一方、「1,501～2,000円」とする意見も僅かながら見られる。
- ・ 概ね、現在の利用料金よりも安い値段での利用が望まれている様子がうかがえる。



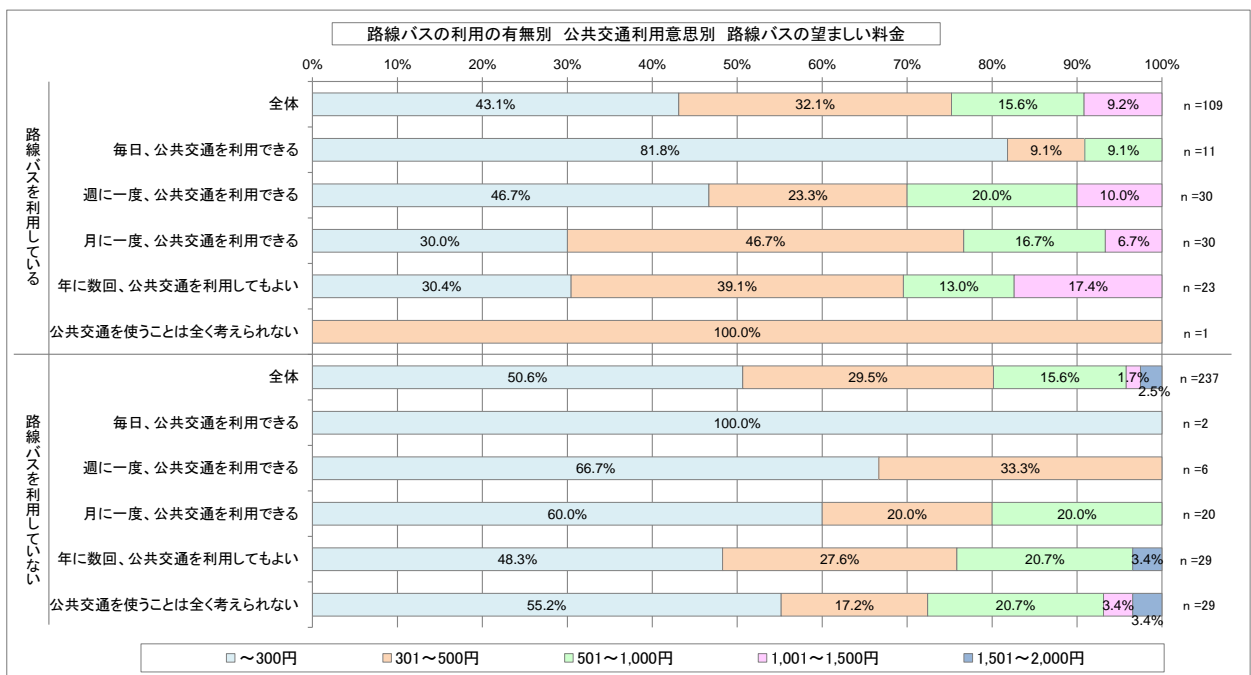
【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 路線バスの利用料金】

- ・ 「路線バスを利用している」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人では、路線バスの利用料金は「～300円」としている割合が60.0%と多い。
- ・ 概ね、公共交通の利用頻度が高い人ほど、低価格の料金で路線バスを利用している傾向がうかがえる。



【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 路線バスの望ましい料金】

- ・「路線バスを利用している」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人では、路線バスの望ましい料金は「~300円」としている割合が81.8%と多い。
- ・概ね、公共交通の利用頻度が高い人ほど、低価格の料金が望ましいとしている傾向がうかがえる。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」、「週に一度公共交通を利用できる」としている人では、路線バスの望ましい料金は「~300円」、「301~500円」と、比較的 low price での利用を望んでいる傾向がうかがえる。
- ・一方、「路線バスを利用していない」人の中には、路線バスの望ましい料金として「1,501~2,000円」を挙げている人も見られる。

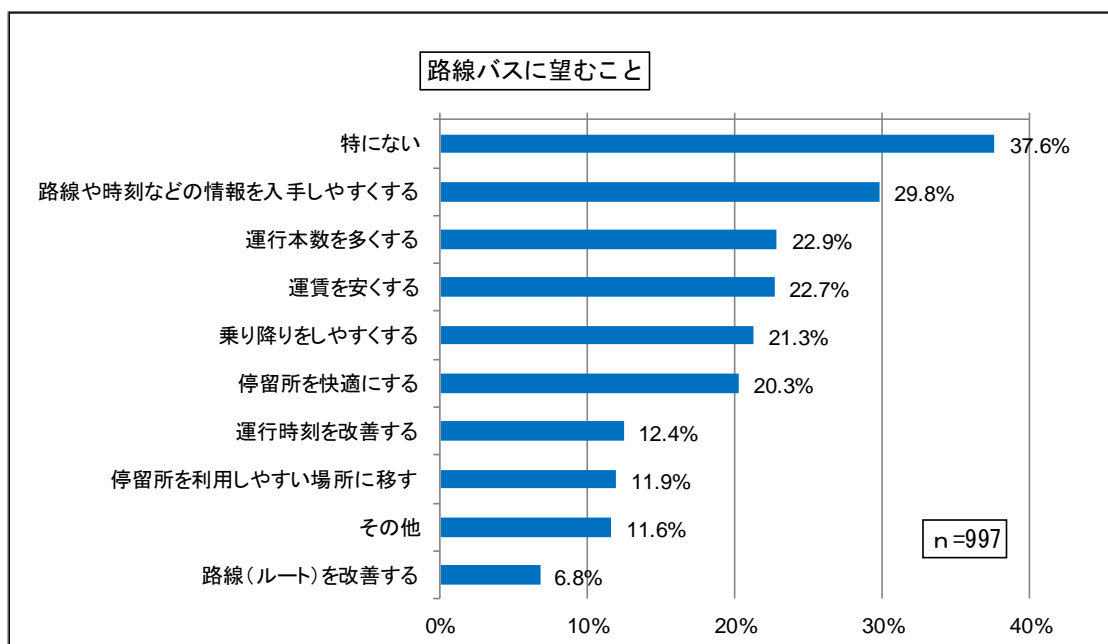


4. 現状の公共交通について

問 15 路線バス（廃止代替バス・生活交通バス・デマンド乗合タクシー・タクシーを含む）について、より利用しやすくするためには、どのようなことを望みますか。次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

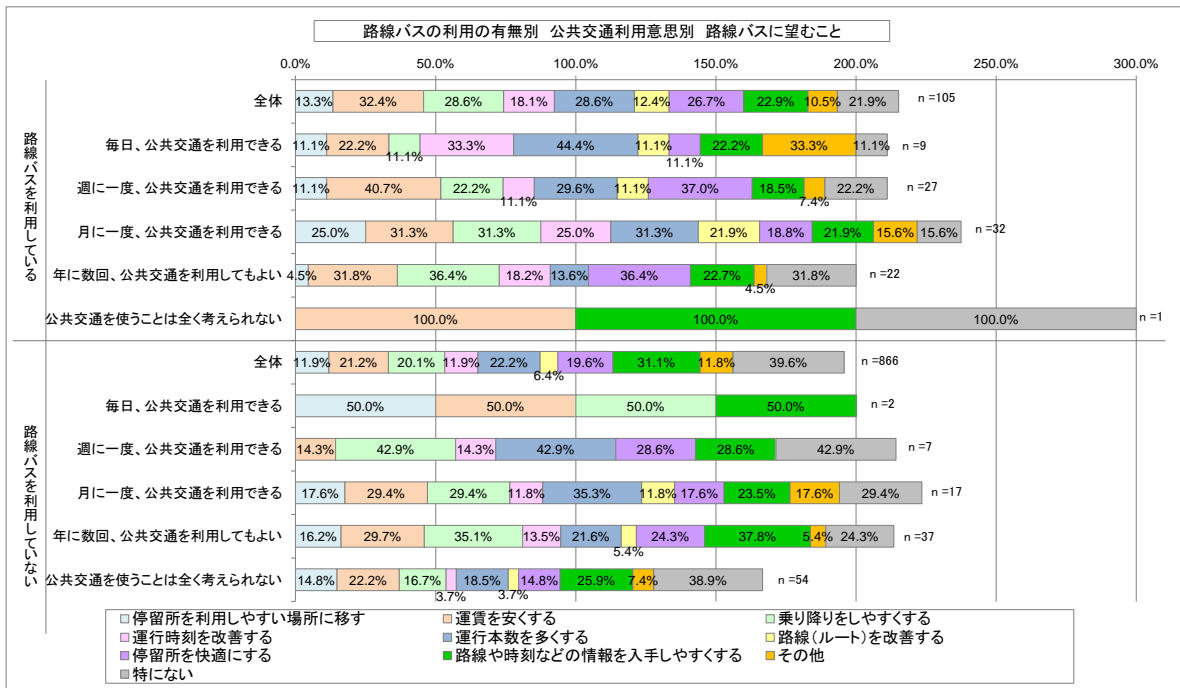
- ・利用している人の割合が低いことから、路線バスに望むことについて、「特にない」が多いが、その中で「路線や時刻などの情報を入手しやすくする」が比較的多い。
- ・路線バスをよく利用している人からは、「運行本数を多くする」、「運行時刻を改善する」、「運賃を安くする」、「停留所を快適にする」といった対策が望まれている
- ・路線バスを利用していないものの、今後、利用の可能性がある人からは、「停留所を利用しやすい場所に移す」、「運賃を安くする」、「乗り降りをしやすくする」、「路線や時刻などの情報を入手しやすくする」、「運行本数を多くする」といったことが望まれている、

- ・「特にない」が37.6%で最多となっている。路線バスを利用している人の割合が低いことが関係していると考えられる。
- ・次いで、「路線や時刻などの情報を入手しやすくする」が29.8%となっている。
- ・このほか、「運行本数を多くする」、「運賃を安くする」、「乗り降りをしやすくする」、「停留所を快適にする」が約20%強となっている。



【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 路線バスに望むこと】

- ・「路線バスを利用している」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人では、「運行本数を多くする」、「運行時刻を改善する」といったことが望まれている。
- ・「路線バスを利用している」人のうち、「週に一度公共交通を利用できる」としている人では、「運賃を安くする」、「停留所を快適にする」といったことが望まれている。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人は2名であったが、「停留所を利用しやすい場所に移す」、「運賃を安くする」、「乗り降りをしやすくする」、「路線や時刻などの情報を入手しやすくする」といったことが望まれている。
- ・「路線バスを利用していない」人のうち、「週に一度公共交通を利用できる」としている人では、「乗り降りをしやすくする」、「運行本数を多くする」といったことが望まれている。



5. 公共交通の維持・発展について

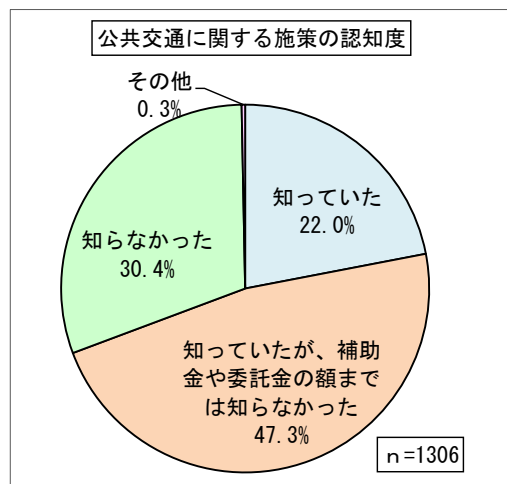
西予市には、バス事業者及び市営によるバス路線が52路線あります。いずれも赤字であり、全路線に対して国・県・市が補助金や委託金を支出していますが、西予市の支出だけでも年間1億円を超えており、スクールバスの支出を加えると2億円を超えます。

次からの設問については、以上のことを踏まえて、お答えください。

- ・路線バスに関する補助金・委託金について「知っていた」のは22.0%。
- ・「市の支出を増やしてでもバス路線を維持すべき」と「赤字路線は廃止・縮小もやむを得ない」は、いずれも30%前後で拮抗している。
- ・路線バスを毎日利用している人は、「市の支出を増やしてもバス路線を維持すべき」と考えているが、週に1度・月に1度程度利用している人には、「赤字路線は廃止・縮小もやむを得ない」とする人も多い。

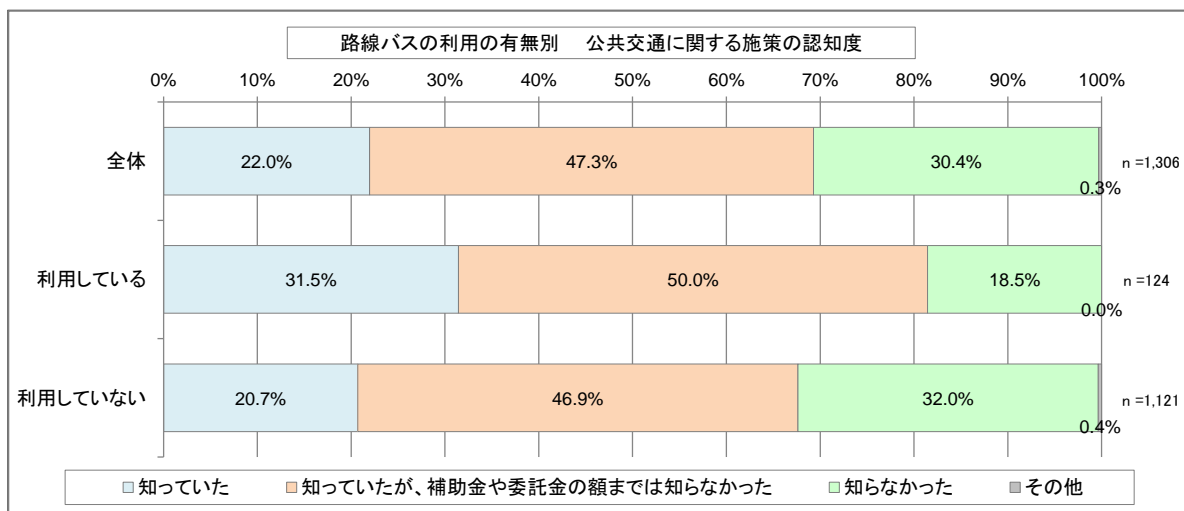
問16 西予市が公共交通維持のため、このような運行助成や直接運行を実施していることを知っていましたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「知っていたが、補助金や委託金の額までは知らなかった」が最も多く47.3%、「知らなかった」が30.4%となっている。
- ・「知っていた」は22.0%となっている。



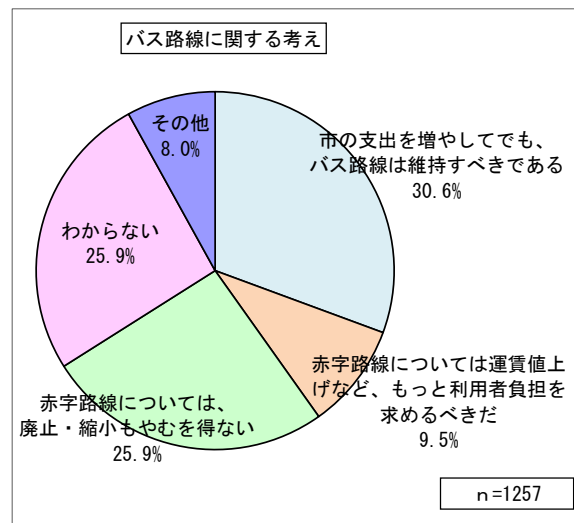
【路線バスの利用の有無別 公共交通に関する施策の認知度】

- ・「路線バスを利用している」人では、「知っていた」が31.5%となるなど、概ね、バスを利用している人ほど公共交通に関する施策の認知度が高い傾向が見られる。



問 17 バス路線の維持について、どうお考えですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

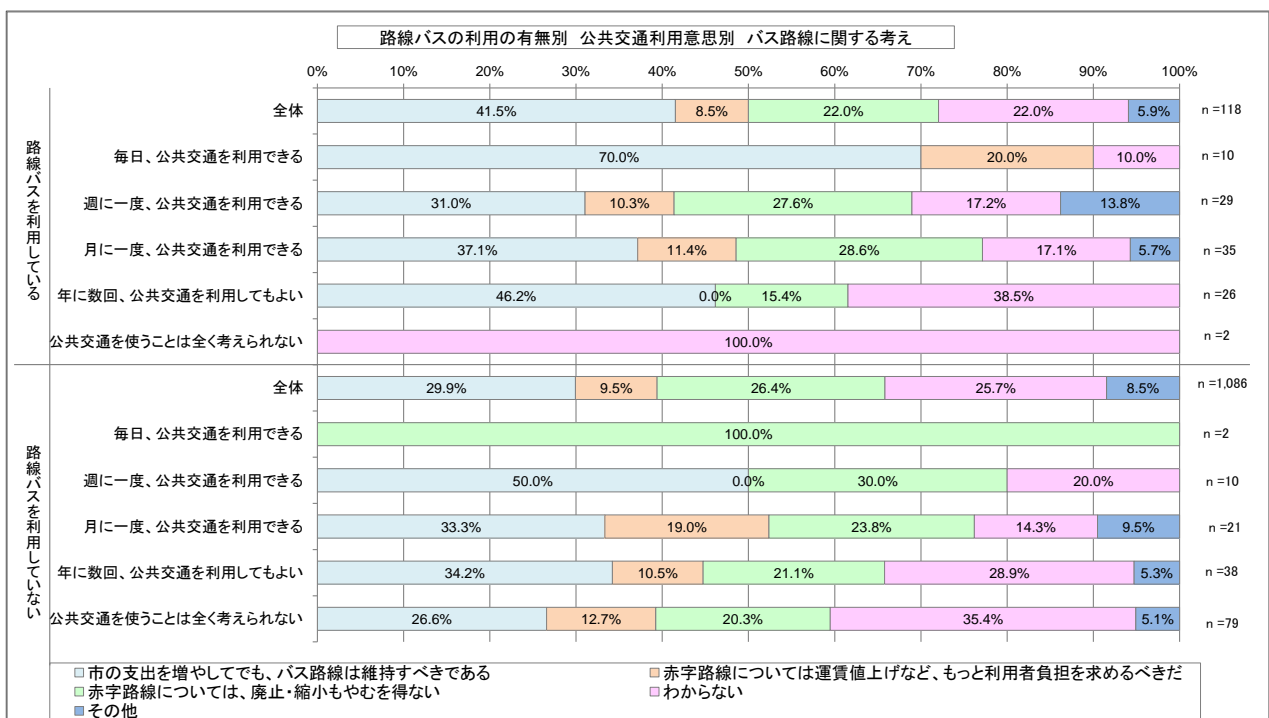
・「市の支出を増やしてでも、バス路線は維持すべきである」が最も多く 30.6%、「赤字路線については、廃止・縮小もやむを得ない」と「わからない」がそれぞれ 25.9%となっている。



【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 バス路線に関する考え】

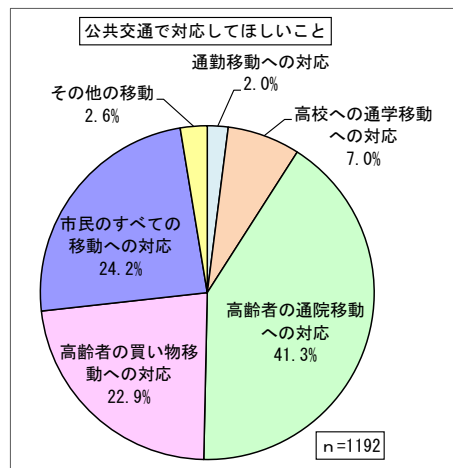
・「路線バスを利用している」人のうち、「毎日、公共交通を利用できる」としている人では、「市の支出を増やしてでも、バス路線は維持すべきである」が 70%を占めているものの、「週に一度公共交通を利用できる」、「月に一度公共交通を利用できる」としている人においては、「赤字路線については、廃止・縮小もやむを得ない」とする意見が 30%弱と、一定の割合で見られる。

・「路線バスを利用している」人と比較して、「路線バスを利用していない」人ほど、「赤字路線については運賃値上げなど、もっと利用者負担を求めべきだ」や「赤字路線については、廃止・縮小もやむを得ない」が多い傾向がある。



問 18 公共交通で対応してほしいのはどのような内容ですか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

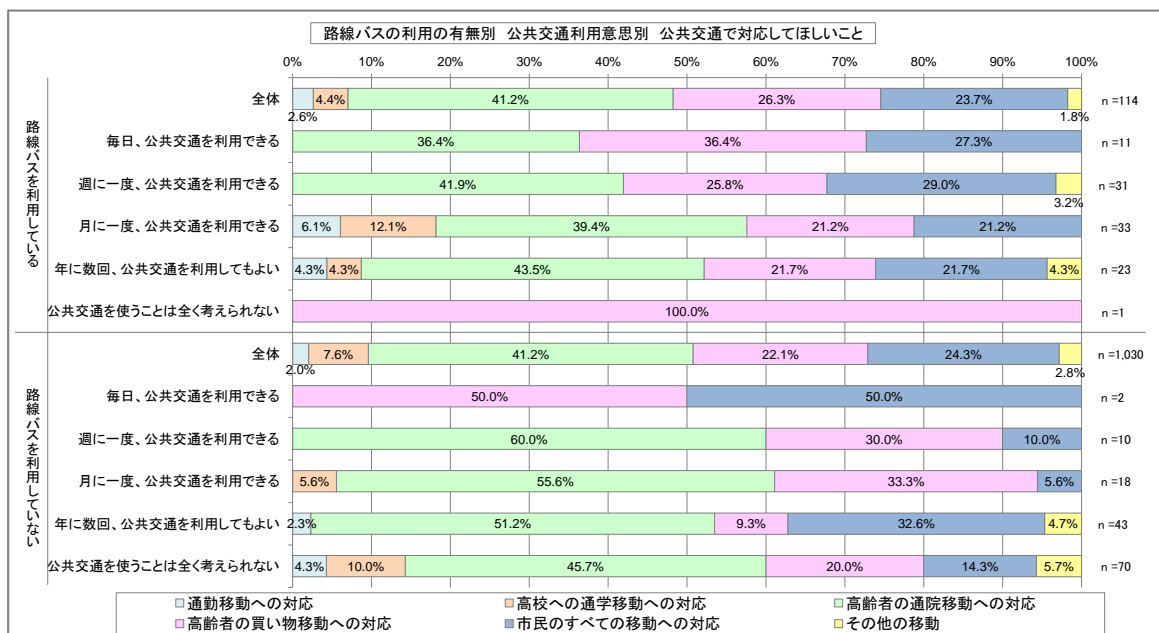
- ・ 高齢者の通院や買い物移動への対応など、高齢者への対応が求められている。
- ・ 路線バスをよく利用している人、今後利用する可能性のある人においても、高齢者への対応が重視されている。



- ・「高齢者の通院移動への対応」が最も多く 41.3%、「高齢者の買い物移動への対応」が 22.9%、「市民のすべての移動への対応」が 24.2%となっている。
- ・ 高齢者への対応が特に求められている。

【路線バスの利用の有無別 公共交通利用意思別 公共交通で対応してほしいこと】

- ・ 「路線バスを利用している」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」、「週に一度公共交通を利用している」としている人では、「高齢者の通院移動」、「高齢者の買い物移動」、「市民のすべての移動への対応」が望まれている。
- ・ 「路線バスを利用している」人のうち、「月に一度公共交通を利用できる」、「年に数回公共交通を利用してもよい」としている人では、上記のほか、「通勤移動への対応」、「高校への通学移動への対応」が望まれている。
- ・ 「路線バスを利用していない」人のうち、「毎日公共交通を利用できる」としている人は2名であったが、「高齢者の買い物移動への対応」、「市民のすべての移動への対応」が望まれている。
- ・ 「路線バスを利用していない」人のうち、「週に一度、公共交通を利用している」、「月に一度、公共交通を利用している」としている人では、「高齢者の通院移動」、「高齢者の買い物移動」などが望まれている。



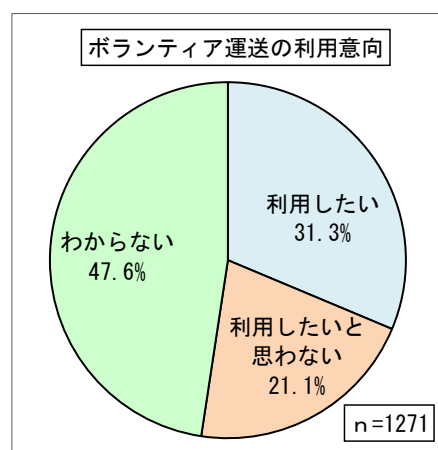
■ ボランティア有償運送について

ボランティア有償運送とは、NPO（民間の非営利団体）等が路線バスなどの公共交通が確保されていない過疎地域等において、自家用車を使って有償で住民の送迎をするものです。

- ・ ボランティア有償運送を「利用したい」人は31.3%あるが、「運営に参加したい」人は12.7%にとどまる。
- ・ 路線バスを利用している人は、ボランティア有償運送の利用意向も高い。

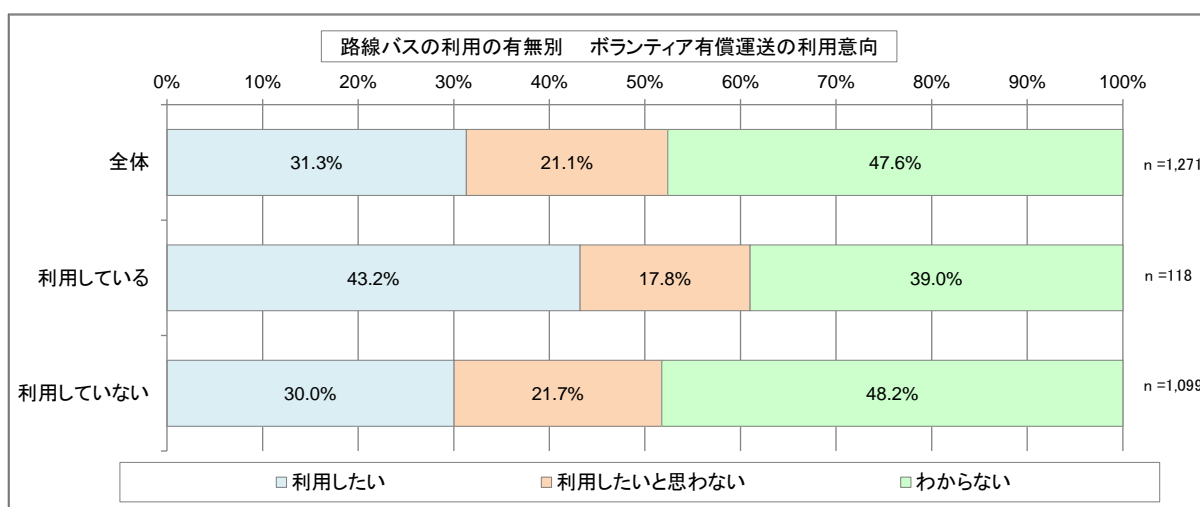
問 19 このような制度が地域にあれば、あなたは利用したいと思いますか。

- ・ 「わからない」が最も多く47.6%となっている。
- ・ 「利用したい」は31.3%、「利用したいと思わない」は21.1%となっている。



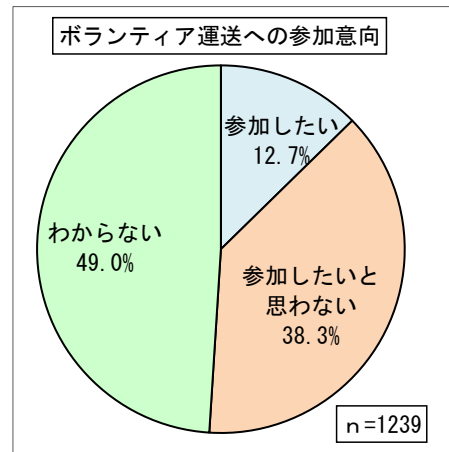
【路線バスの利用の有無別 ボランティア有償運送の利用意向】

- ・ 「路線バスを利用している」人のうち、ボランティア有償運送を「利用したい」が43.2%となっており、概ね路線バスを利用している人ほど、ボランティア有償運送についても「利用したい」とする意向が高い傾向が見られる。



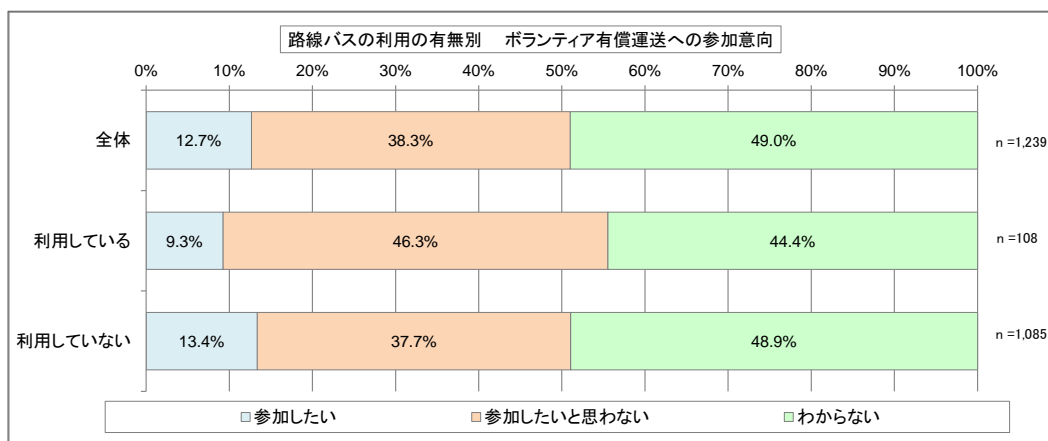
問 20 このようなNPO等があれば、あなたは参加したい（NPO等に入って、NPOの運営や運転手として活動したい）と思いますか。

- ・「わからない」が最も多く 49.0%となっている。
- ・「参加したい」は 12.7%、「参加したいと思わない」は 38.3%となっている。



【路線バスの利用の有無別 ボランティア有償運送への参加意向】

- ・「路線バスを利用している」人のうち、ボランティア有償運送に「参加したい」は 9.3%となっており、路線バスの利用の有無とボランティア有償運送への参加意向との関係性は表れていない。

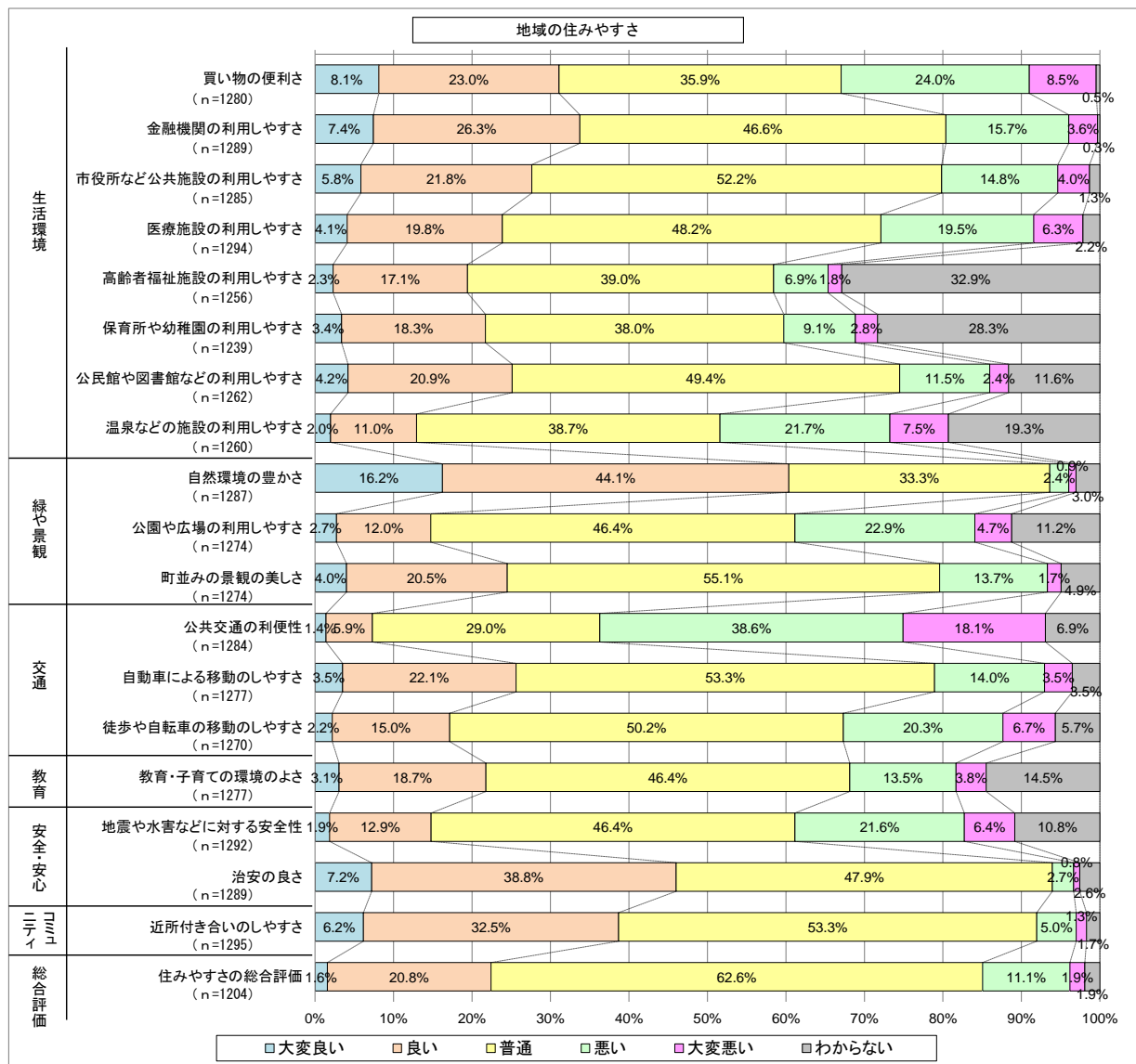


6. あなたのお住まいの地域について

問 21 お住まいの地域の住みやすさについて、次の①～⑱の項目ごとの現在の評価について教えてください。それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- ・「自然環境の豊かさ」に関する評価が特に高い。
- ・「公共交通の利便性」に関する評価が特に低い。

- ・『自然環境の豊かさ』について、「大変良い」と「良い」が合わせて60%を超えている。
- ・『公共交通の利便性』について、「大変悪い」と「悪い」が合わせて50%を超えている。
- ・その他の項目については、概ね「普通」が約40～50%を占めている。
- ・「大変良い」と「良い」の合計が30%を超えている項目は、『買い物の便利さ』、『金融機関の利用しやすさ』、『自然環境の豊かさ』、『治安の良さ』、『近所付き合いのしやすさ』である。
- ・「大変悪い」と「悪い」の合計が30%を超えている項目は、『買い物の便利さ』、『公共交通の利便性』である。

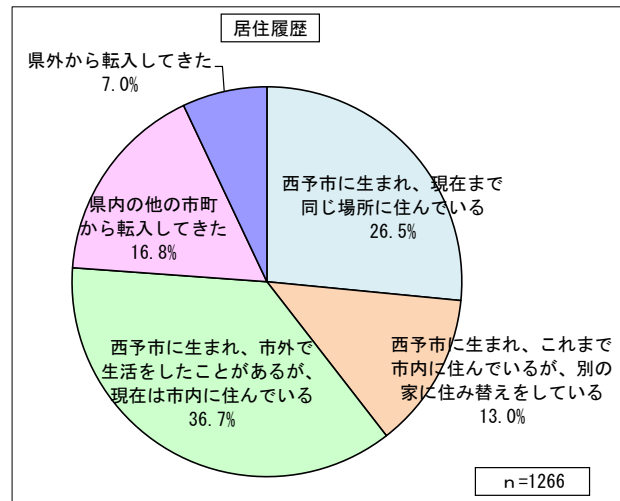


7. あなたのお住まいに関する意向について

- ・ 西予市に生まれた人が 76.5%。
- ・ 今後も現在の場所に住み続けたい人が 71.8%、住み替えの意向がある人が 12.3%
- ・ 若い人ほど住み替えの意向が強い。

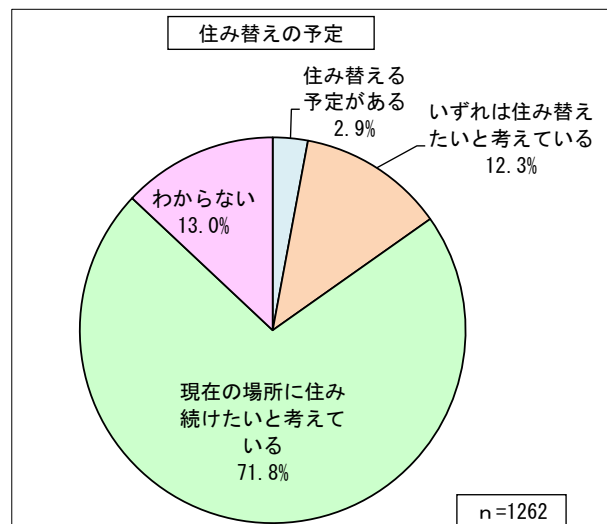
問 22 これまでの居住履歴について、次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「西予市に生まれ、市外で生活をしたことがあるが、現在は市内に住んでいる」が最も多く 36.7%、「西予市に生まれ、現在まで同じ場所に住んでいる」が 26.5%となっている。
- ・ 西予市に生まれた人の割合は、76.2%である。



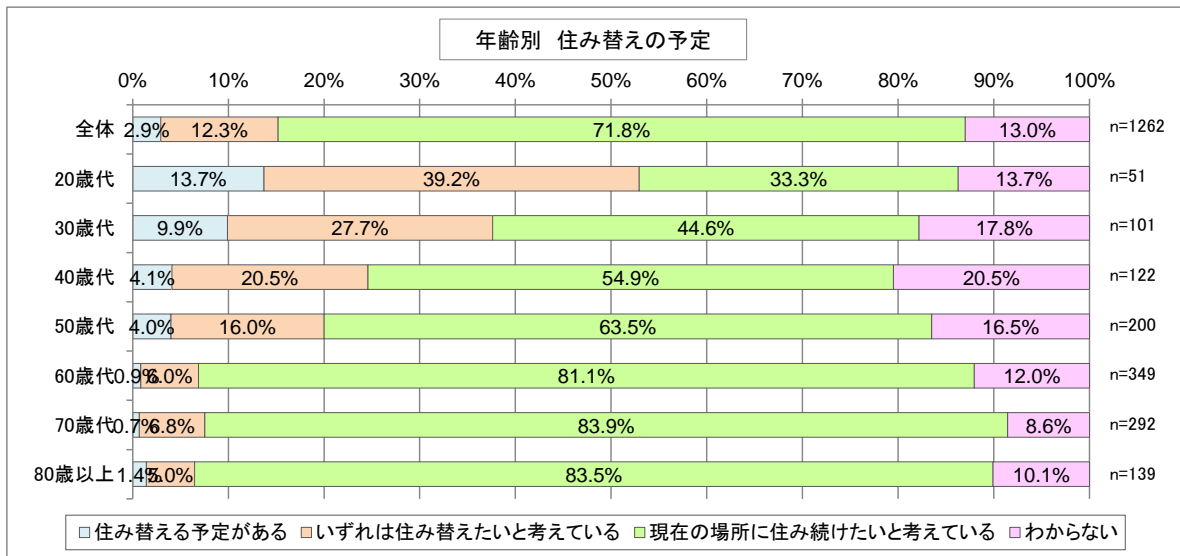
問 23 今後の生活を考え、現在お住まいからの住み替え（引っ越し）をお考えですか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- ・ 「現在の場所に住み続けたいと考えている」が最も多く 71.8%を占める。
- ・ 住み替えの意向がある人は、「住み替える予定がある」が 2.9%、「いずれは住み替えたいと考えている」が 12.3%で合計 15.2%となっている。



【年齢別 住み替えの意向】

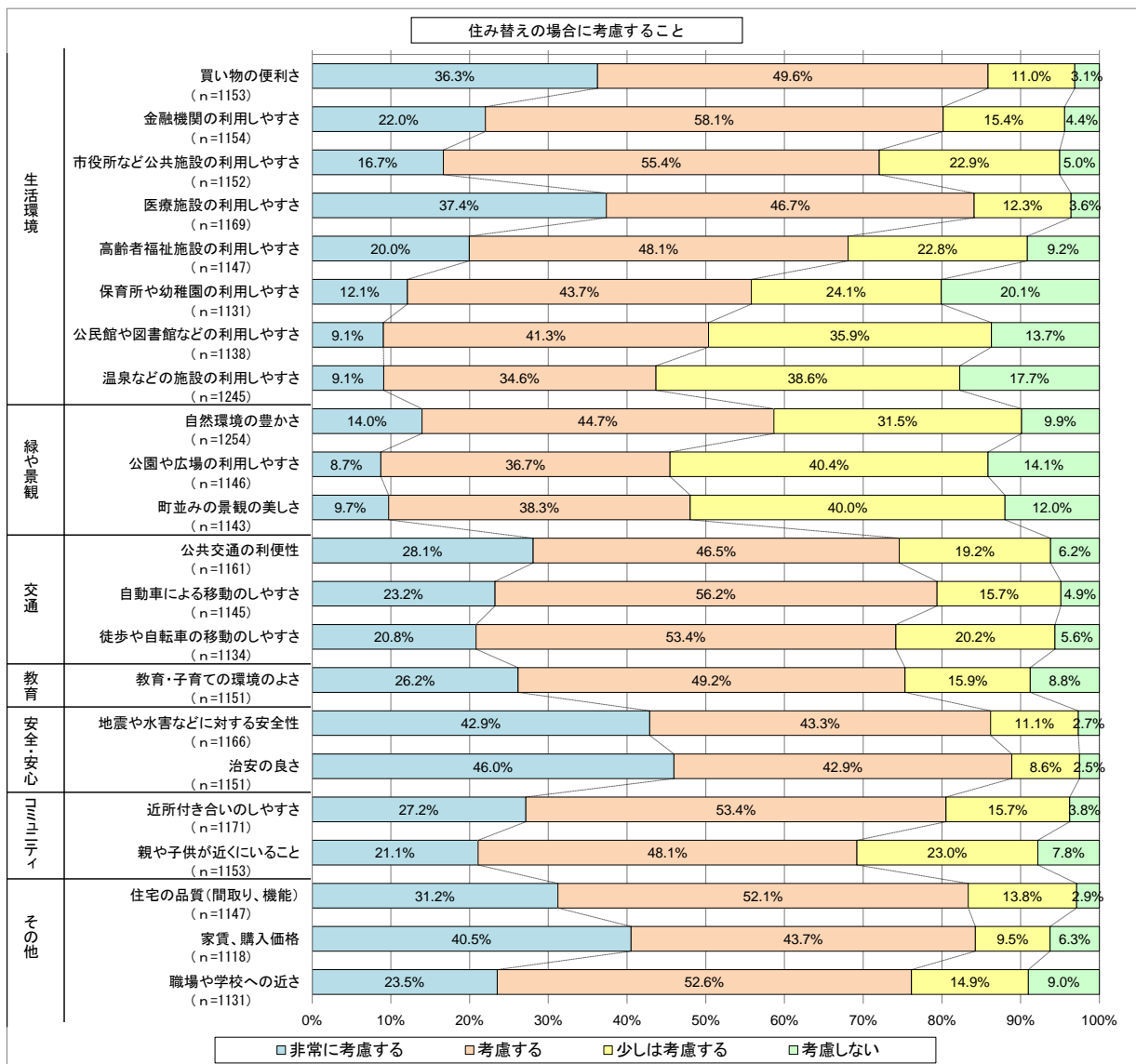
- ・「20 歳代」では、「住み替えの予定がある」（13.7%）と「いずれは住み替えたいと考えている」（39.2%）を合わせて、住み替えの意向のある人が 52.9%となっている。
- ・年齢層が若いほど、住み替えの意向が強くなっている。



問 24 住み替える場合、次のどの点に考慮しますか。住み替えの予定がない方も住み替えを想定してお答えください。それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- ・「買い物の便利さ」、「金融機関・医療施設の利用しやすさ」、「安全・安心」、「近所付き合い」、「住宅の品質と価格」などの項目が特に考慮されている。
- ・「保育所・幼稚園、公民館・図書館などの利用しやすさ」、「温泉施設の利用しやすさ」、「公園や町並み景観」などの項目はあまり考慮されない。

- ・「非常に考慮する」と「考慮する」の合計が80%を超えている項目は、『買い物の便利さ』、『金融機関の利用しやすさ』、『医療施設の利用しやすさ』、『地震や水害などに対する安全性』、『治安の良さ』、『近所付き合いのしやすさ』、『住宅の品質（間取り、機能）』、『家賃、購入価格』である。
- ・「考慮しない」が10%を超えている項目は、『保育所や幼稚園の利用しやすさ』、『公民館や図書館などの利用しやすさ』、『温泉などの施設の利用しやすさ』、『公園や広場の利用しやすさ』、『町並みの景観の美しさ』である。



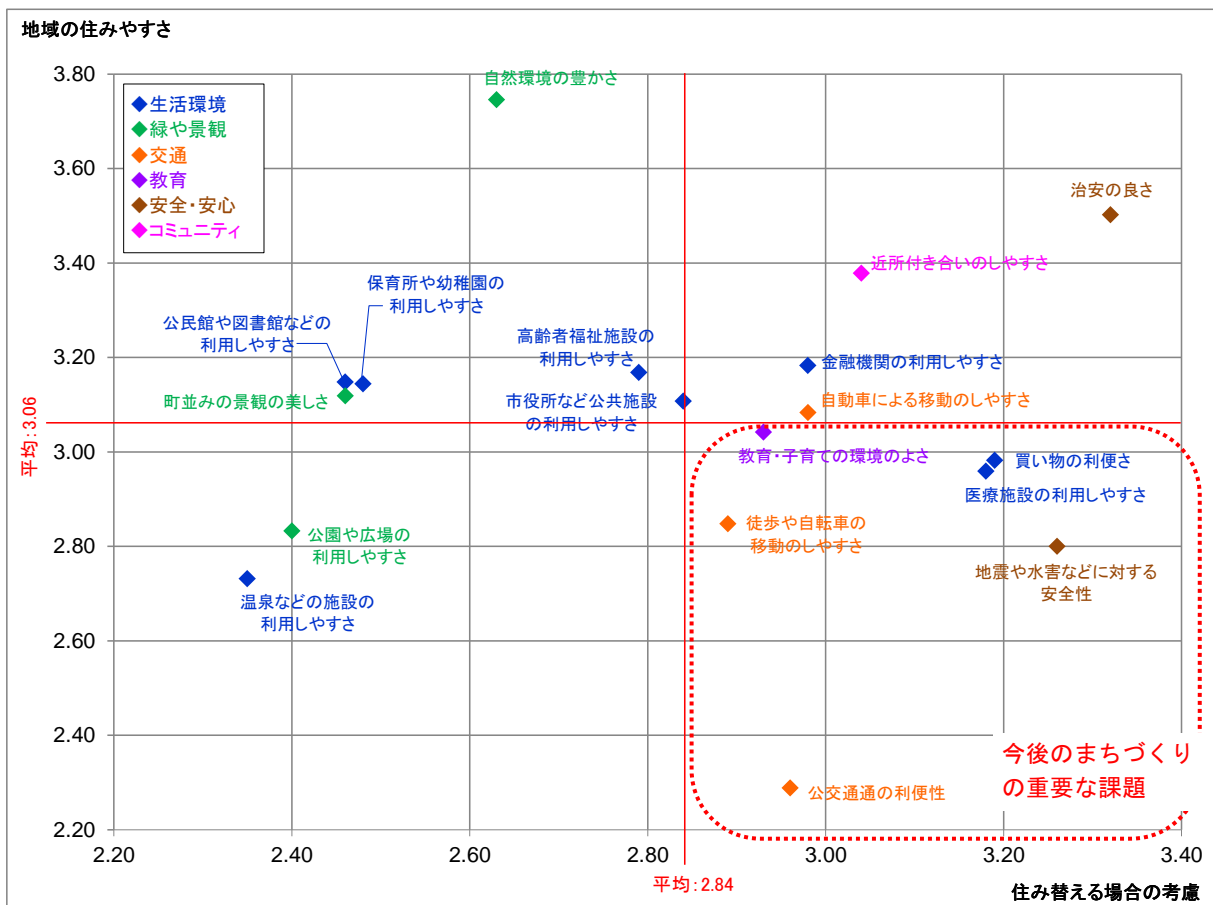
『地域の住みやすさ』と『住み替える場合に考慮すること』の関係

- 「地域の住みやすさ」と「住み替える場合に考慮すること」で評価された各項目について、それぞれの平均値を算出し、その分布状況から分析を行った。

・今後のまちづくりの重要な課題として、「公共交通の利便性」、「徒歩や自転車の移動のしやすさ」、「地震や水害などに対する安全性」、「買い物の利便さ」、「医療施設の利用しやすさ」、「教育・子育ての環境のよさ」が挙げられる。

- ※1 『地域の住みやすさ』については、「大変良い」を5点、「良い」を4点、「普通」を3点、「悪い」を2点、「大変悪い」を1点とし、「わからない」は分析の対象から除外し、平均値を算出した。
- ※2 『住み替える場合に考慮すること』については、「非常に考慮する」を4点、「考慮する」を3点、「少しは考慮する」を2点、「考慮しない」を1点とし、平均値を算出した。
- ※3 『地域の住みやすさ』と『住み替える場合に考慮すること』の両方で設定した項目を分析の対象とした。

- 『地域の住みやすさ』の評価が低く、『住み替える場合に考慮すること』の評価が高い項目は、今後のまちづくりの重要な課題といえる。
- これに位置する項目としては、「公共交通の利便性」、「徒歩や自転車の移動のしやすさ」、「地震や水害などに対する安全性」、「買い物の利便さ」、「医療施設の利用しやすさ」、「教育・子育ての環境のよさ」が挙げられる。



【地域・地区別 地域の住みやすさ】

・地域・地区別に『地域の住みやすさ』の平均点を見ると、明浜地域の「田之浜」、野村地域の「惣川」、城川地域の「遊子川」で、満足度の低い項目が多い。また、「公共交通の利便性」については、全地区で特に満足度が低い傾向にある。

	買い物の利便さ	金融機関の利用しやすさ	市役所など公共施設の利用しやすさ	医療施設の利用しやすさ	高齢者福祉施設の利用しやすさ	保育所や幼稚園の利用しやすさ	公民館や図書館などの利用しやすさ	温泉などの施設の利用しやすさ	自然環境の豊かさ	公園や広場の利用しやすさ	町並みの景観の美しさ	公共交通の利便性	自動車による移動のしやすさ	徒歩や自転車の移動のしやすさ	教育・子育ての環境のよさ	地震や水害などに対する安全性	治安の良さ	近所付き合いのしやすさ	住みやすさ総合評価
明浜地域	2.41	3.00	2.84	2.49	3.14	3.05	3.01	2.68	4.04	2.58	3.35	1.97	2.64	2.74	2.80	2.30	3.56	3.52	2.97
依津	2.50	3.10	2.92	2.95	3.27	3.39	3.29	2.77	4.00	2.63	3.21	1.97	2.76	2.86	3.00	2.30	3.42	3.51	3.08
狩江	2.28	2.81	2.60	2.44	3.13	2.81	2.80	2.53	4.07	2.76	3.64	1.95	2.69	2.67	2.79	2.37	3.80	3.70	2.92
高山	2.57	3.34	3.22	1.96	3.16	3.19	3.05	2.92	4.00	2.23	3.04	1.97	2.46	2.68	2.65	2.22	3.43	3.31	2.92
田之浜	1.60	1.60	2.00	1.80	2.25	1.75	2.40	1.50	4.40	2.25	3.60	1.80	2.00	2.80	2.00	2.00	3.20	3.20	2.25
宇和地域	3.45	3.31	3.31	3.20	3.21	3.40	3.23	2.66	3.70	2.93	3.20	2.66	3.38	3.08	3.26	3.10	3.49	3.30	3.24
多田	2.62	2.82	2.83	2.76	2.91	3.19	3.18	2.43	3.53	2.65	3.14	1.69	3.05	2.68	3.03	2.65	3.36	3.11	3.00
中川	3.44	3.25	3.20	3.24	3.29	3.33	3.31	2.69	3.82	3.00	3.19	2.70	3.33	3.05	3.37	3.13	3.42	3.34	3.21
石城	3.02	3.02	2.95	3.08	3.12	3.44	3.04	2.41	3.68	2.90	3.11	2.36	3.34	2.98	3.24	3.02	3.43	3.29	3.13
宇和町	3.80	3.50	3.54	3.39	3.31	3.47	3.28	2.72	3.69	2.97	3.21	2.95	3.48	3.25	3.28	3.15	3.53	3.34	3.36
皆田	3.58	3.37	3.33	3.13	3.26	3.44	3.29	2.75	3.70	2.79	3.24	2.82	3.47	3.10	3.31	3.14	3.40	3.13	3.27
明間	2.44	2.89	2.78	2.71	2.50	3.40	3.25	3.07	4.00	3.13	3.39	2.06	3.28	2.65	3.13	3.07	3.78	3.56	3.00
田之筋	2.98	3.24	3.20	2.85	3.04	3.18	3.03	2.55	3.68	2.86	3.13	2.23	3.15	2.61	3.14	3.21	3.50	3.22	3.10
野村地域	3.11	3.31	3.22	3.10	3.22	3.07	3.28	3.02	3.68	2.83	2.93	2.17	3.00	2.65	2.98	2.87	3.48	3.44	3.12
野村	3.66	3.76	3.54	3.41	3.46	3.54	3.63	3.34	3.68	2.95	2.92	2.32	3.19	3.05	3.19	3.07	3.51	3.42	3.35
大和田	2.80	3.00	3.03	2.92	3.22	2.83	2.89	2.93	3.70	2.77	3.03	2.16	3.00	2.26	2.97	3.05	3.59	3.42	3.00
溪筋	2.47	2.83	2.91	2.64	2.92	2.70	2.90	2.69	3.76	2.82	3.06	2.27	3.09	2.47	3.07	2.82	3.48	3.53	2.83
中筋	2.74	2.91	2.88	2.94	2.89	2.06	3.04	2.79	3.70	2.73	3.00	1.97	2.88	2.17	2.72	2.63	3.35	3.54	3.03
河成	2.17	2.39	2.72	2.56	2.82	2.18	2.85	2.67	3.68	2.68	2.95	1.67	2.37	1.95	2.28	2.15	3.45	3.50	2.56
惣川	1.88	2.67	2.53	2.53	2.93	3.22	2.85	1.77	3.46	2.17	2.25	1.67	2.00	1.73	2.33	2.29	3.27	3.21	2.42
大野ヶ原	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
城川地域	2.31	2.88	2.72	2.43	3.00	2.80	3.00	3.08	3.79	2.74	3.04	1.83	2.91	2.38	3.03	2.54	3.62	3.40	2.82
遊子川	1.64	2.57	2.71	1.71	3.30	1.75	3.00	1.80	4.00	2.90	3.00	1.42	2.14	1.58	2.92	1.67	3.36	3.36	2.67
土居	2.13	2.81	2.73	2.58	2.79	2.79	2.92	3.12	3.73	2.36	2.82	1.71	2.82	2.39	2.86	2.61	3.50	3.34	2.63
高川	1.96	2.73	2.65	2.32	2.90	2.63	2.91	3.44	4.00	3.12	3.39	1.85	2.96	2.43	2.79	2.60	3.92	3.63	2.87
魚成	2.68	3.03	2.75	2.55	3.07	3.04	3.08	3.14	3.69	2.70	3.02	1.95	3.12	2.51	3.22	2.65	3.63	3.35	2.92
三瓶地域	2.46	3.01	2.88	2.79	3.15	2.94	2.98	2.29	3.73	2.80	3.11	2.07	2.85	2.89	2.81	2.51	3.47	3.37	2.95
三瓶	2.70	3.41	3.31	2.87	3.18	3.35	3.22	2.44	3.85	2.88	3.11	2.10	2.98	3.05	2.95	2.51	3.46	3.33	3.08
蔵貫	2.31	2.38	2.47	2.56	3.33	2.43	2.85	2.13	3.73	2.77	3.10	1.94	2.71	2.88	2.57	2.42	3.53	3.50	2.73
二木生	2.16	2.95	2.61	2.71	3.18	2.52	2.91	2.26	3.49	2.62	2.93	2.19	2.98	2.88	2.76	2.63	3.38	3.28	2.89
周木	2.58	2.63	2.63	3.04	3.17	2.67	2.59	2.30	3.61	2.91	3.35	2.04	2.57	2.55	2.67	2.50	3.65	3.46	2.95

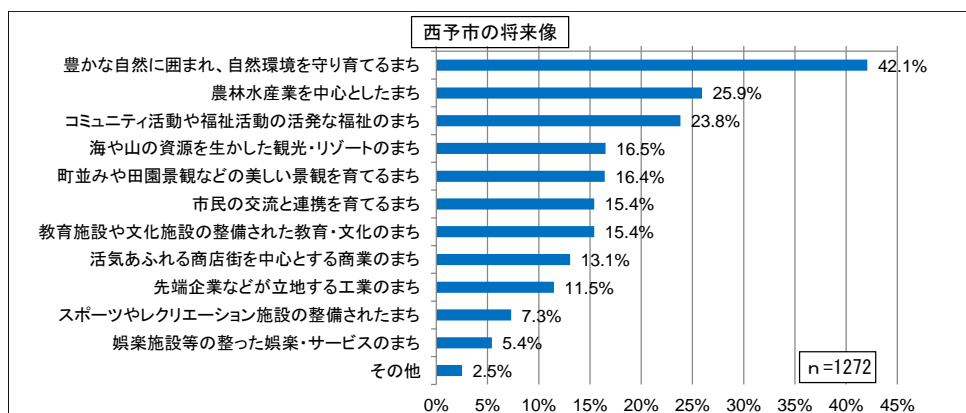
※青字：満足度の平均が 3.0 以上の項目 赤字：満足度の平均が 2.0 未満の項目

8. 将来のまちづくりについて

- ・将来像として、「自然と農林水産業×地域コミュニティ」が求められている。
- ・まちづくりの施策としては、「医療・福祉」分野が最重要視されているほか、「産業・雇用」や「少子化対策」、「基盤整備・防災」の分野が重要視されている。

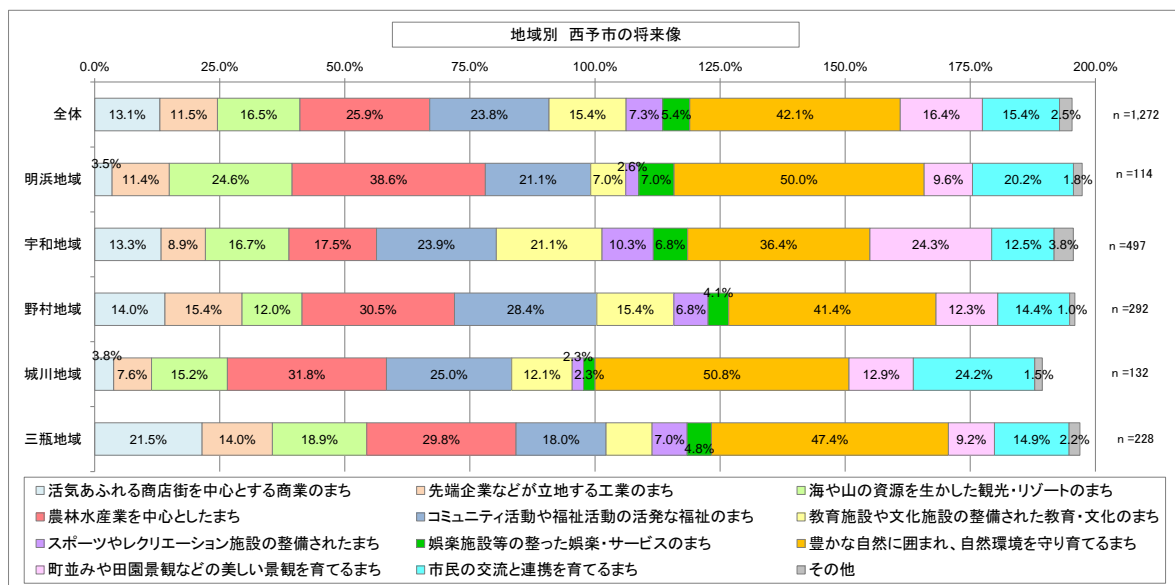
問 25 あなたは、西予市の将来のまちの姿についてどのようなまちがよいとお考えですか。最も近いと感じるものを次の中から2つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「豊かな自然に囲まれ、自然環境を守り育てるまち」が最も多く 42.1%、「農林水産業を中心としたまち」が 25.9%、「コミュニティ活動や福祉活動の活発な福祉のまち」が 23.8% となっている。



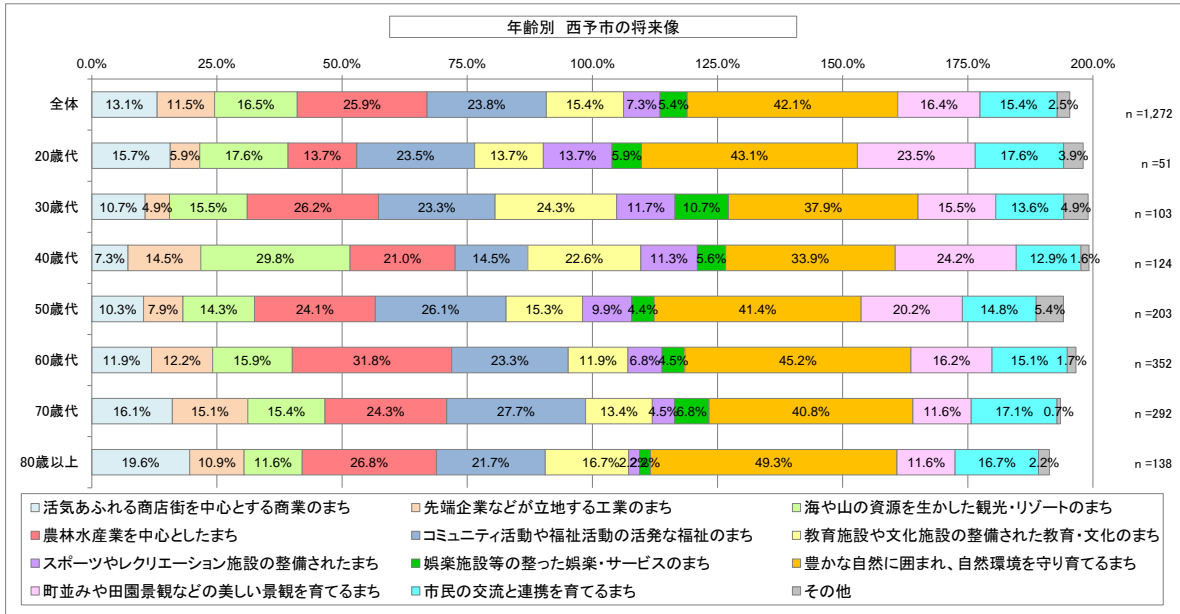
【地域別 西予市の将来像】

- ・地域別に大きな差は表れていないが、「明浜地域」では、特に「豊かな自然に囲まれ、自然環境を守り育てるまち」と「農林水産業を中心としたまち」が多い。
- ・「宇和地域」では、他の地域よりも、「町並みや田園景観などの美しい景観を育てるまち」が比較的多い。また、「宇和地域」、「野村地域」、「三瓶地域」では、「活気あふれる商店街を中心とする商業のまち」が比較的多い。



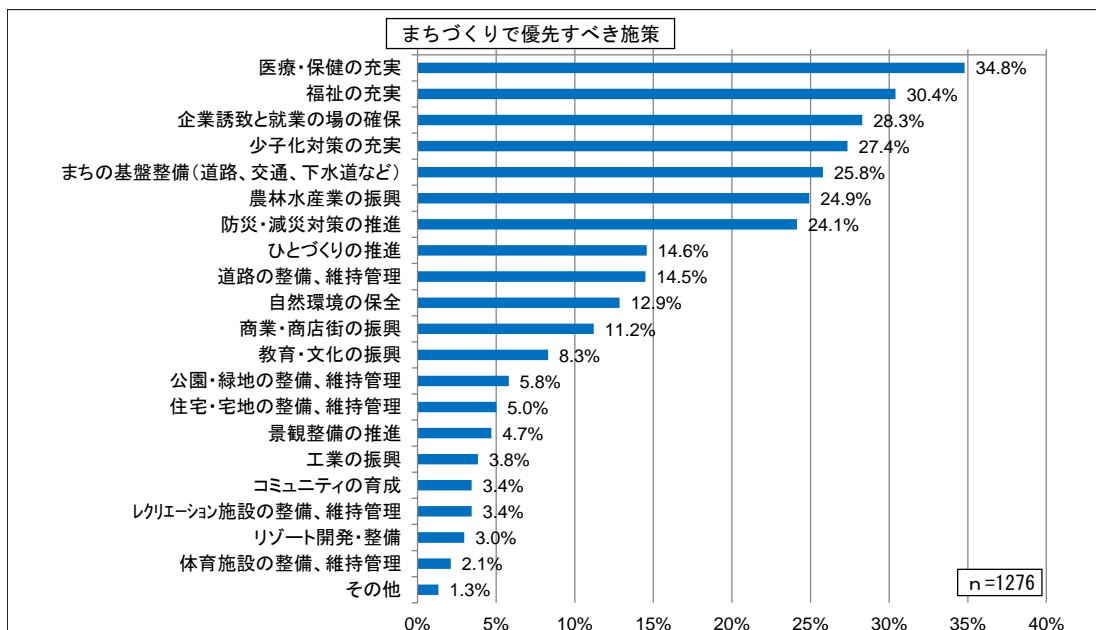
【年齢別 西予市の将来像】

・年齢別に大きな差は表れていないが、他の年齢層より、「30歳代」では「教育施設や文化施設の整備された教育・文化のまち」、「40歳代」では「海や山の資源を生かした観光・リゾートのまち」、「教育施設や文化施設の整備された教育・文化のまち」を重視し、また、概ね高齢者ほど「豊かな自然に囲まれ、自然環境を守り育てるまち」を重視する傾向がある。



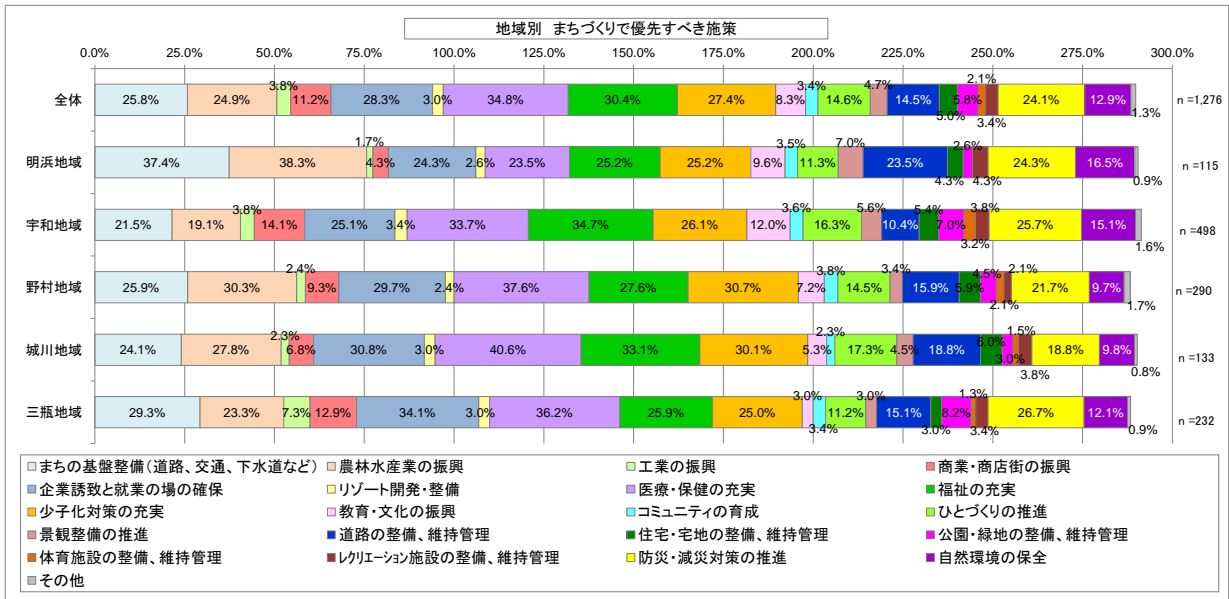
問 26 あなたは、まちづくりのための施策として何を優先して行うべきだとお考えですか。
次の中から3つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「医療・保健の充実」と「福祉の充実」が30%を超えている。
- ・上記のほか、「企業誘致と就業の場の確保」、「少子化対策の充実」、「まちの基盤整備」、「農林水産業の振興」、「防災・減災対策の推進」が20%を超えている。



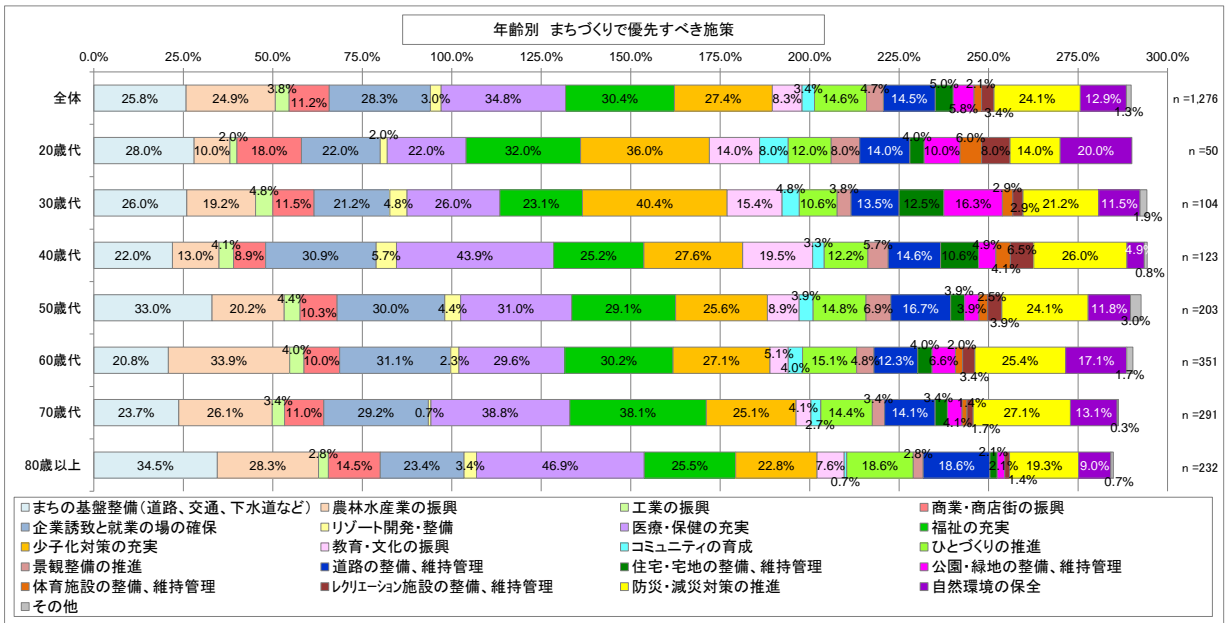
【地域別 まちづくりで優先すべき施策】

- ・地域別に大きな差は表れていないが、「明浜地域」では、他の地域よりも、「まちの基盤整備（道路、交通、下水道など）」、「農林水産業の振興」が比較的多い。



【年齢別 まちづくりで優先すべき施策】

- ・年齢別に大きな差は表れていないが、他の年齢層より、「20・30・40 歳代」では「少子化対策の充実」や「教育・文化の振興」が多い傾向である。
- ・「50 歳代」以上では、「まちの基盤整備（道路、交通、下水道など）」、「農林水産業の振興」が多い傾向である。

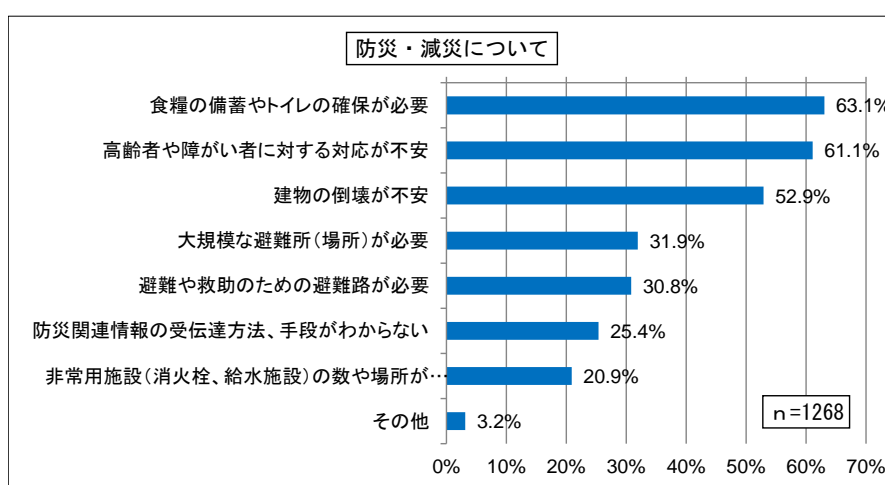


■防災・減災について

問 27 あなたがお住まいの地域で、災害時の避難や救援救急活動を実施するにあたり、特に必要なものや不安なことについて、次のなかから3つ選んで番号に○をつけてください。

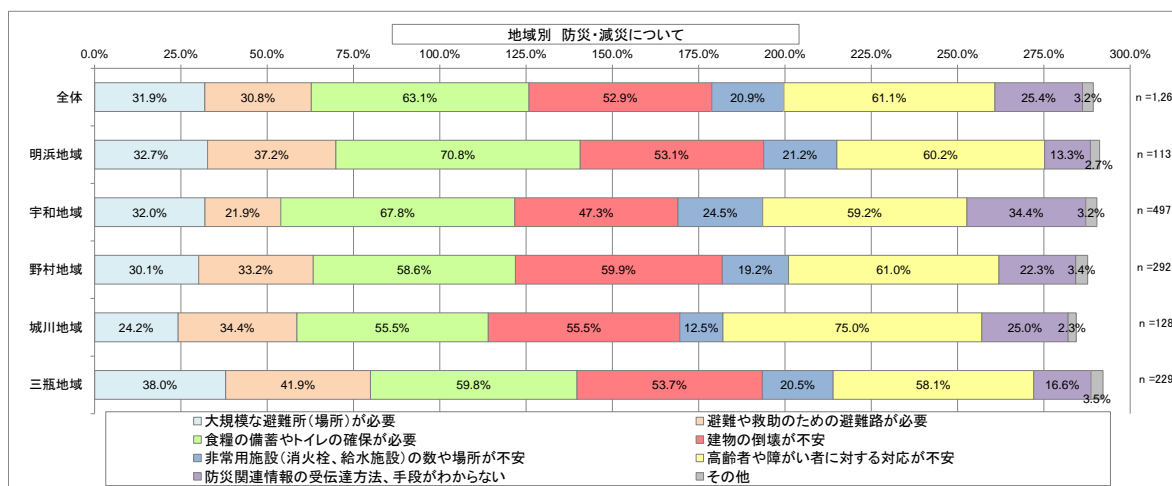
- ・「食糧の備蓄やトイレの確保」、「高齢者・障がい者に対する対応」など、被災後のソフト対策が重視されている。
- ・若い世代ほど「食糧の備蓄やトイレの確保」を重視し、高齢者ほど「高齢者・障がい者に対する対応」を重視する傾向がある。

・「食糧の備蓄やトイレの確保が必要」が最も多く 63.1%、「高齢者や障がい者に対する対応が不安」が 61.1%、「建物の倒壊が不安」が 52.9%となっている。



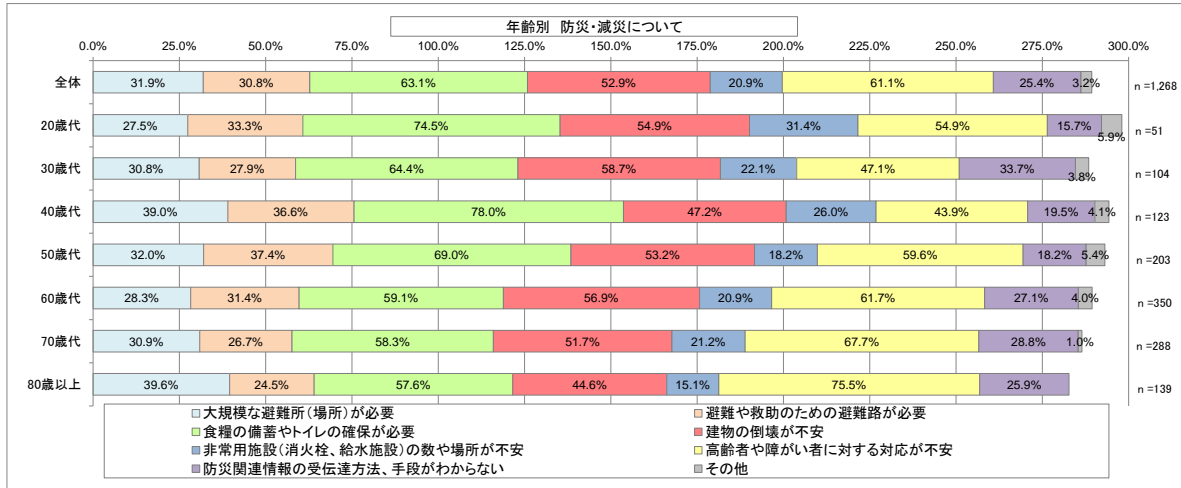
【地域別 防災・減災について】

- ・地域別に大きな差は表れていないが、「明浜地域」では、他の地域よりも、「食糧の備蓄やトイレの確保が必要」が比較的多い。
- ・「城川地域」では、他の地域よりも、「高齢者や障がい者に対する対応が不安」が比較的多い。



【年齢別 防災・減災について】

- ・年齢別に大きな差は表れていないが、年齢層が若いほど「食糧の備蓄やトイレの確保が必要」が多く、高齢者ほど「高齢者や障害者に対する対応が不安」が多い傾向がみられる。



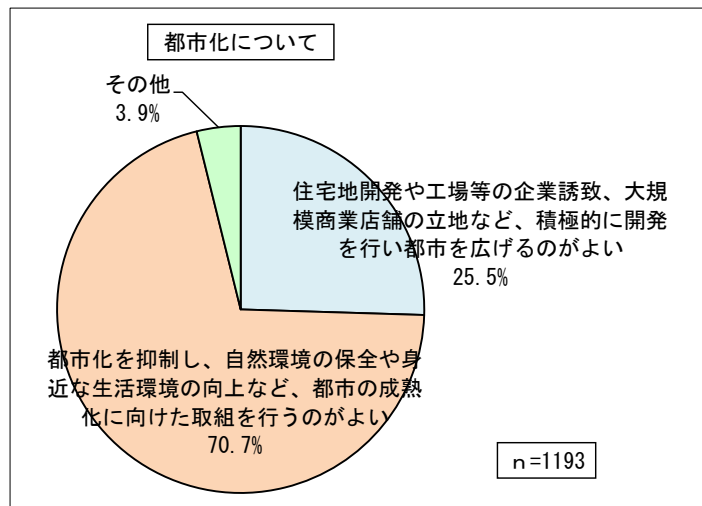
■土地利用について

問 28 あなたがお住まいの地域の今後の土地利用について、各分野から重要と思うものを、それぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「都市化を抑制」し、「農地や緑地を保全」していく方向が望まれている。
- ・「地域の特色にあった自由なまちづくり」が望まれている。
- ・若い世代のほうが、「都市化・積極的な開発」を重視する傾向があり、また、「地域の特色にあった自由なまちづくり」を重視する傾向がある。

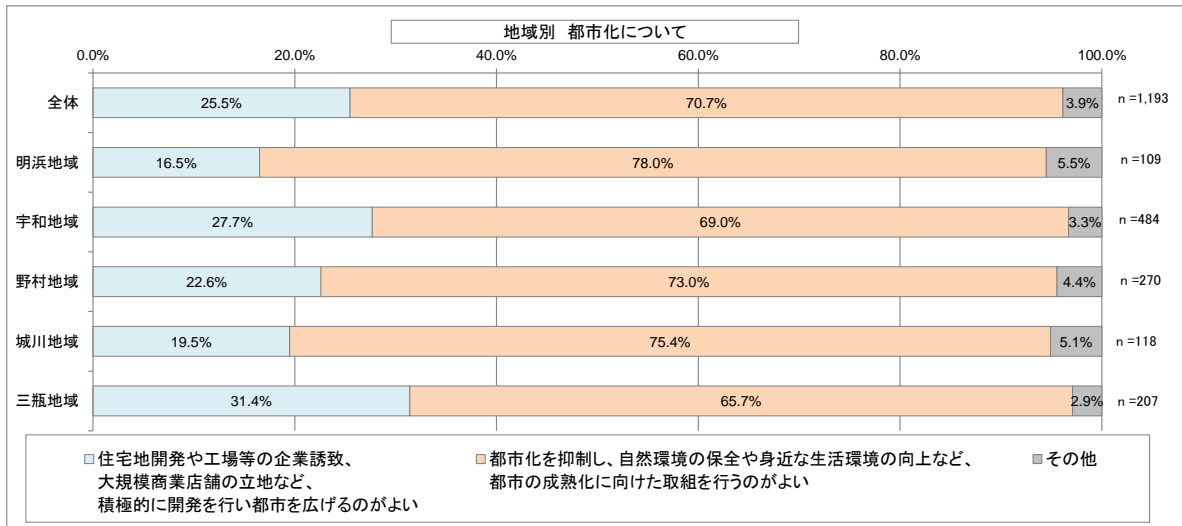
<都市化について>

- ・「都市化を抑制し、自然環境の保全や身近な生活環境の向上など、都市の成熟化に向けた取組を行うのがよい」が70.7%、「住宅地開発や工場等の企業誘致、大規模商業店舗の立地など、積極的に開発を行い都市を広げるのがよい」が25.5%となっている



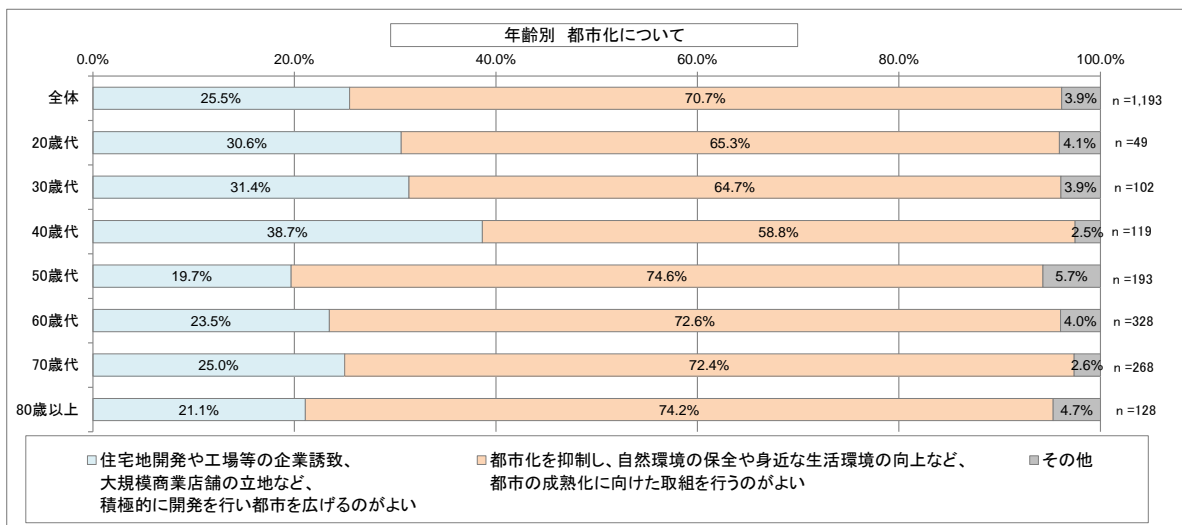
【地域別 都市化について】

- すべての地域で、「都市の成熟化に向けた取組を行うのがよい」が7割程度からそれ以上を占めている。
- 「明浜地域」、「城川地域」では、「積極的に開発を行い都市を広げるのがよい」が20%未満となっている。
- 同様に、「積極的に開発を行い都市を広げるのがよい」の割合は、「野村地域」では22.6%、「宇和地域」では27.7%、「三瓶地域」では31.4%となっている。



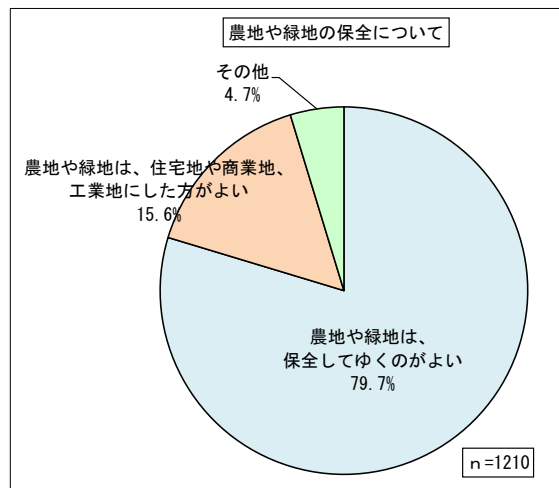
【年齢別 都市化について】

- 「20歳代」～「40歳代」では、「積極的に開発を行い都市を広げるのがよい」が30～38%程度であるが、「50歳代」以上では、20%程度となっている。



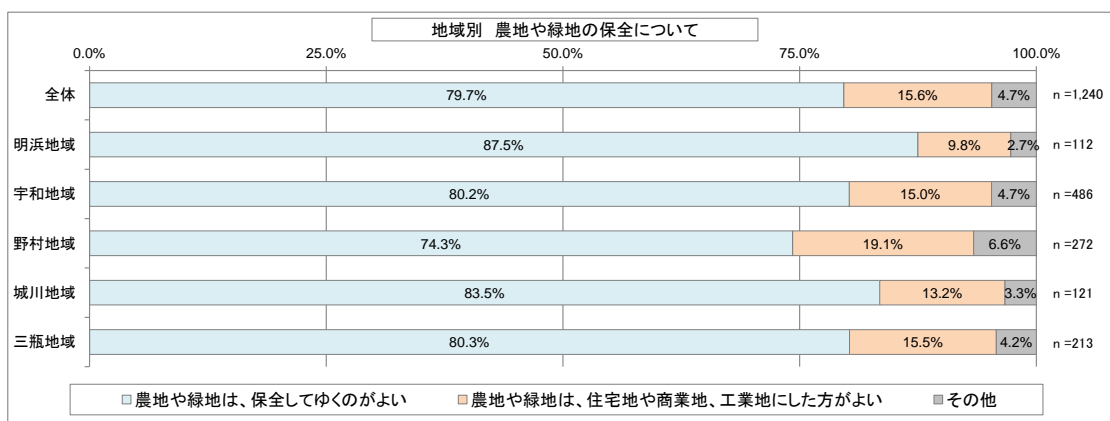
<農地や緑地の保全について>

- ・「農地や緑地は、保全してゆくのがよい」が79.7%、「農地や緑地は、住宅地や商業地、工業地にした方がよい」が15.6%となっている。



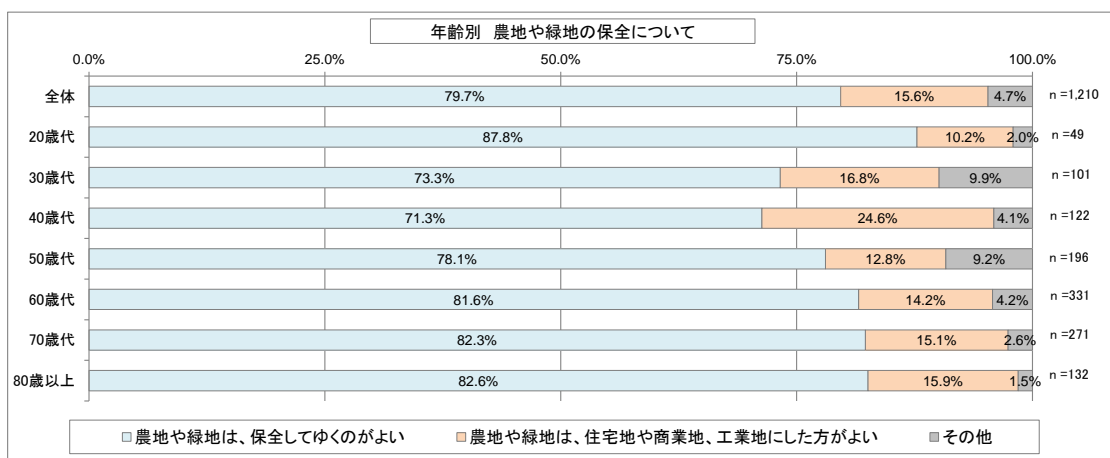
【地域別 農地や緑地の保全について】

- ・すべての地域で「農地や緑地は、保全してゆくのがよい」が7割を超えており、「明浜地域」では、87.5%と特に多い。



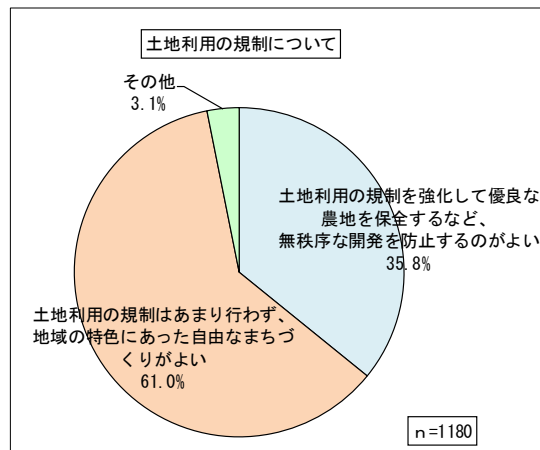
【年齢別 農地や緑地の保全について】

- ・「20歳代」では、「農地や緑地は、保全してゆくのがよい」が87.8%となっているが、「30歳代」と「40歳代」では70%程度、「50歳代」以上では80%程度となっている。



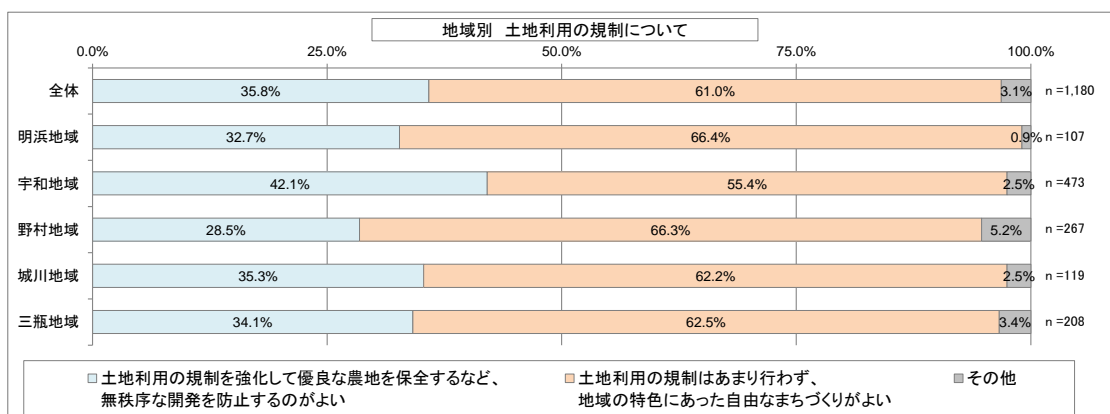
<土地利用の規制について>

- ・「土地利用の規制はあまり行わず、地域の特色にあった自由なまちづくりがよい」が61.0%、「土地利用の規制を強化して優良な農地を保全するなど、無秩序な開発を防止するのがよい」が35.8%となっている。



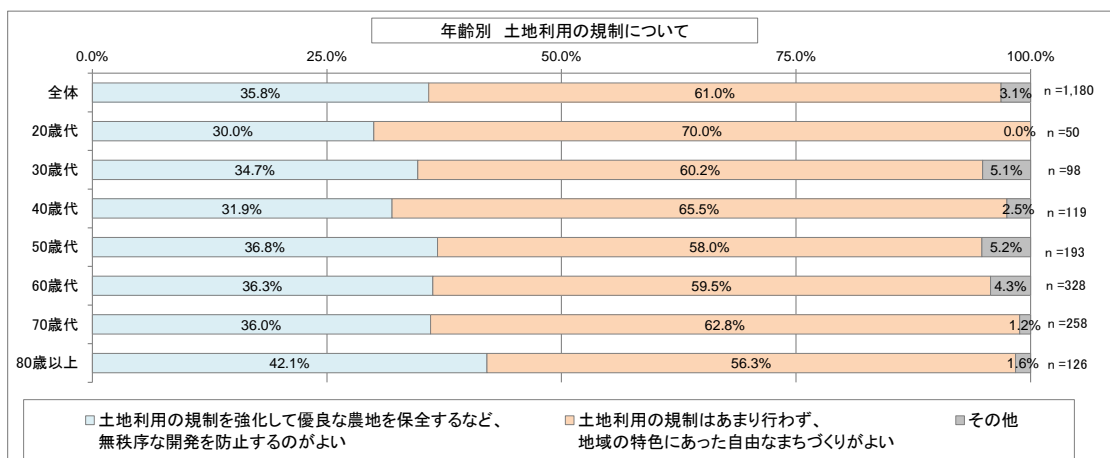
【地域別 土地利用の規制について】

- ・宇和地域では「地域の特色にあった自由なまちづくりがよい」が5割程度となっているが、他の地域では6割を超えている。



【年齢別 土地利用の規制について】

- ・「20歳代」では「地域の特色にあった自由なまちづくりがよい」が70.0%となっており、概ね若い世代ほど自由なまちづくりを重視している傾向がある。

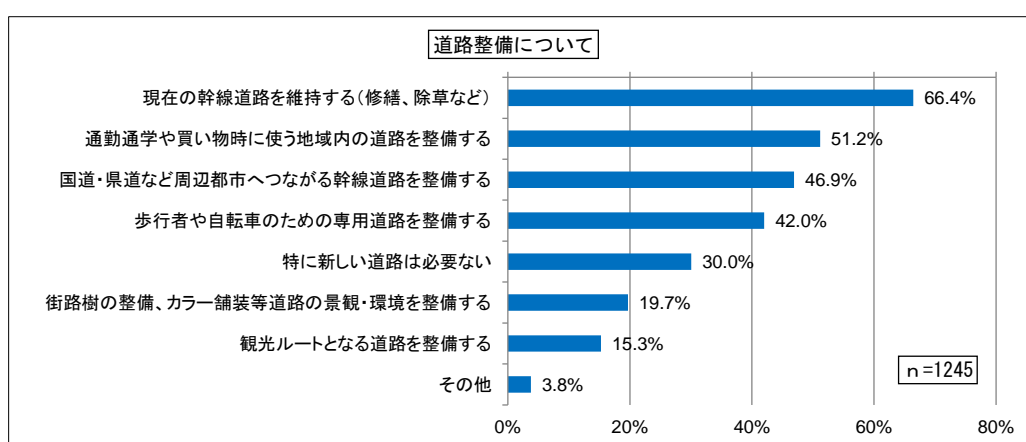


■道路整備について

問 29 あなたがお住まいの地域の道路の整備について、今後どのようなことに力をいれるべきとお考えですか。3つ選んで番号に○をつけてください。

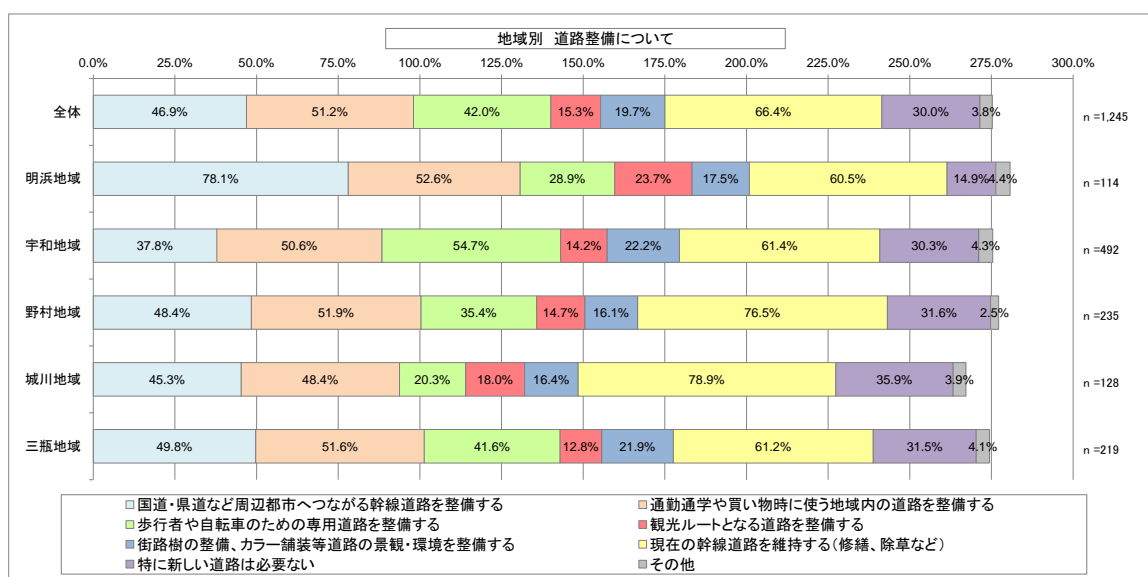
- ・「幹線道路の維持」が最も重視されており、身近な道路や幹線道路の整備についても重視されている。
- ・明浜地域では、「国道・県道などの整備」が重視されている。
- ・年齢層が高いほど「幹線道路の維持」を重視している。

- ・「現在の幹線道路を維持する（修繕、除草など）」が最も多く 66.4%、「通勤通学や買い物時に使う地域内の道路を整備する」が 51.2%、「国道・県道など周辺都市へつながる幹線道路を整備する」が 46.9%となっている。



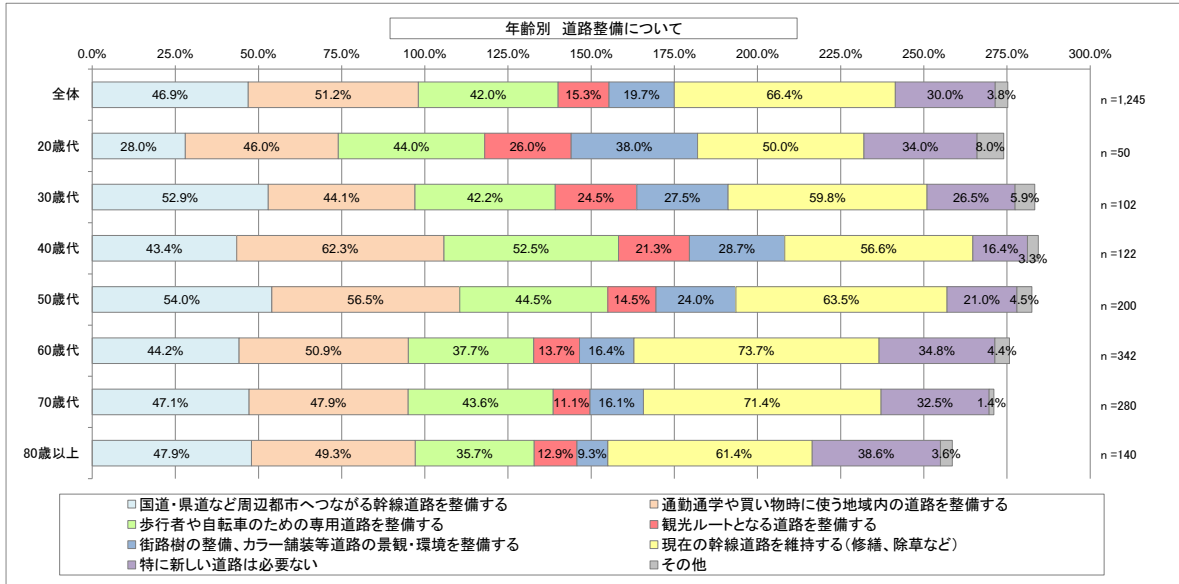
【地域別 道路整備について】

- ・すべての地域で概ね同様の傾向を示しているものの、「明浜地域」では、「国道・県道など周辺都市へつながる幹線道路を整備する」が 78.1%で最も多く、また、「観光ルートとなる道路を整備する」も他の地域と比較して多い。
- ・その他の地域では、「現在の幹線道路を維持する（修繕、除草など）」が最も多く、「野村地域」と「城川地域」では、80%弱を占めている。



【年齢別 道路整備について】

- 概ね、若い世代ほど「歩行者や自転車のための専用道路を整備する」と「街路樹の整備、カラー舗装等道路の景観・環境を整備する」が多く、年齢層が高いほど「現在の幹線道路を維持する（修繕、除草など）」が多い傾向がある。

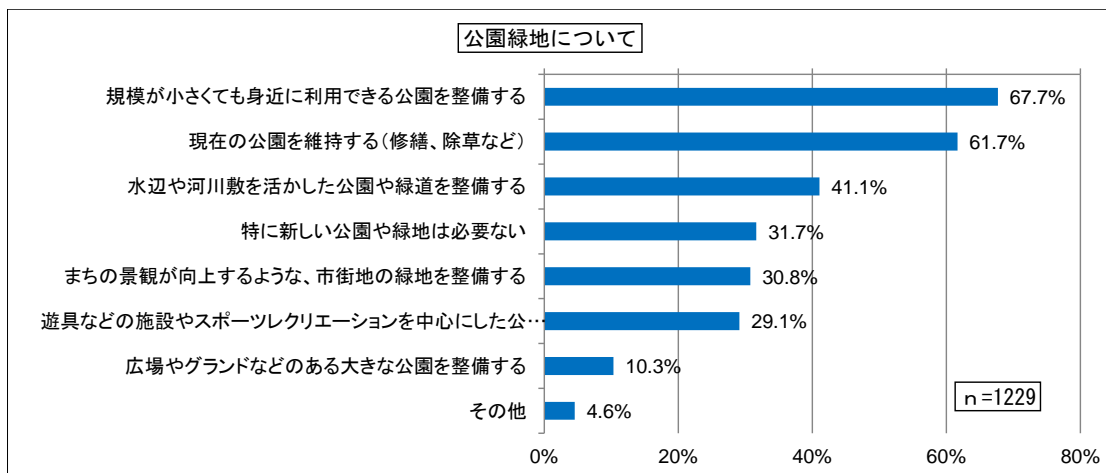


■公園緑地について

問 30 あなたがお住まいの地域の公園、緑地の整備について、今後どのようなことに力をいれるべきとお考えですか。3つ選んで番号に○をつけてください。

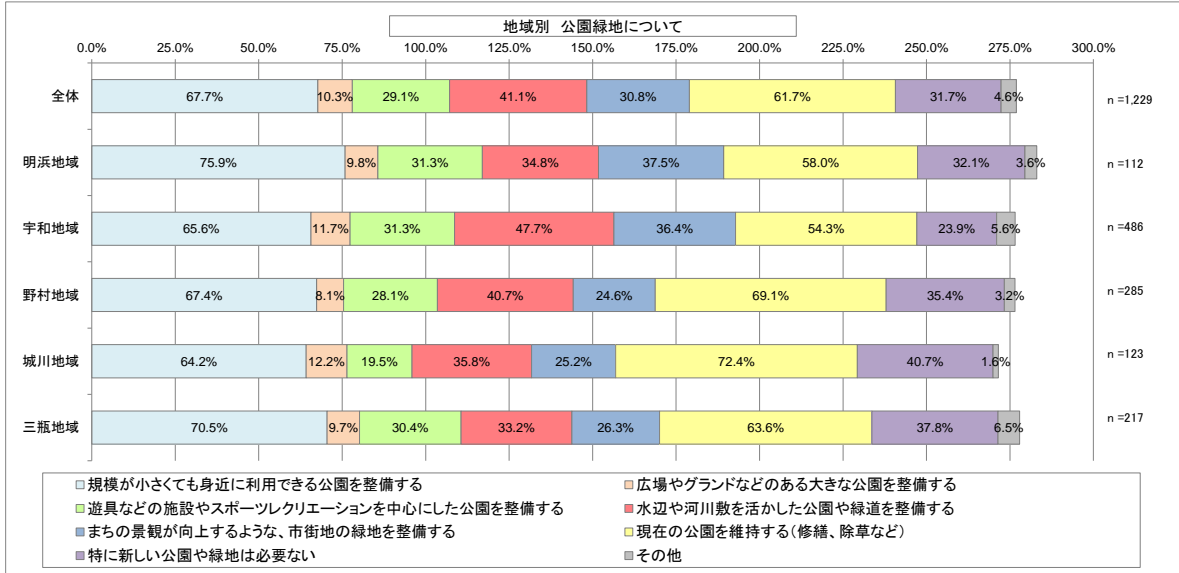
- 「身近な公園の整備」と「現在の公園の維持」が重視されている。
- 年齢層が高いほど「現在の公園の維持」を重視している。

- 「規模が小さくても身近に利用できる公園を整備する」が最も多く 67.7%、「現在の公園を維持する（修繕、除草など）」が 61.7%、「水辺や河川敷を活かした公園や緑道を整備する」が 41.1%となっている。



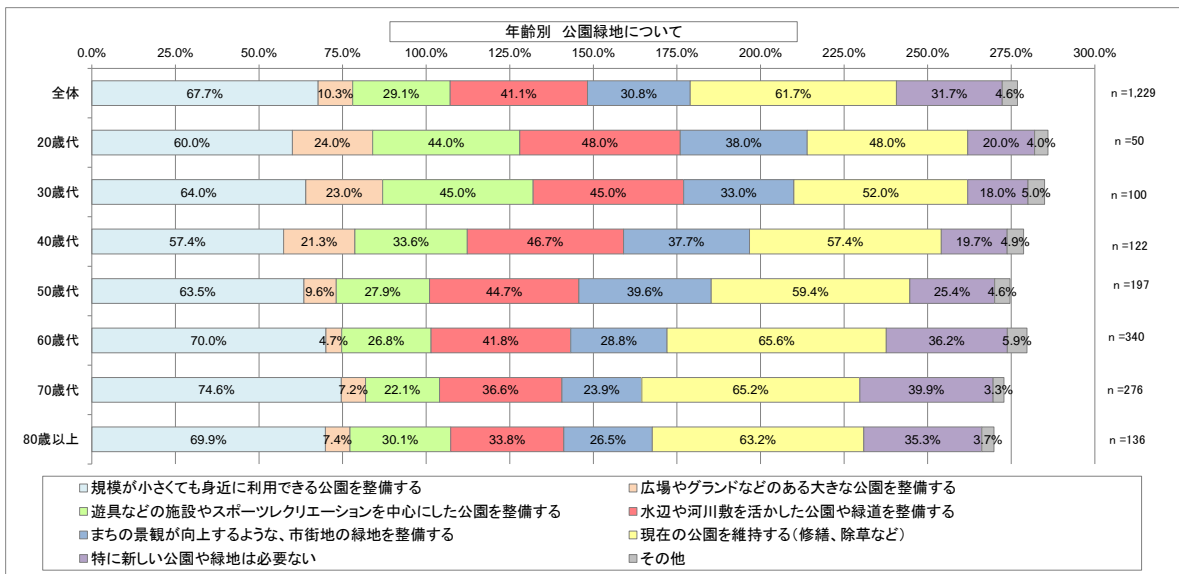
【地域別 公園緑地について】

- ・すべての地域で概ね同様の傾向を示しているものの、「明浜地域」と「三瓶地域」では、「規模が小さくても身近に利用できる公園を整備する」が多い。
- ・「野村地域」と「城川地域」では、「現在の公園を維持する（修繕、除草など）」が多い。



【年齢別 公園緑地について】

- ・概ね、若い世代ほど「広場やグラウンドなどのある大きな公園を整備する」や「遊具などの施設やスポーツレクリエーションを中心にした公園を整備する」、「水辺や河川敷を活かした公園や緑道を整備する」が多い傾向がある。
- ・一方、年齢層が高いほど「現在の公園を維持する（修繕、除草など）」や「特に新しい公園や緑地は必要ない」が多い傾向がある。

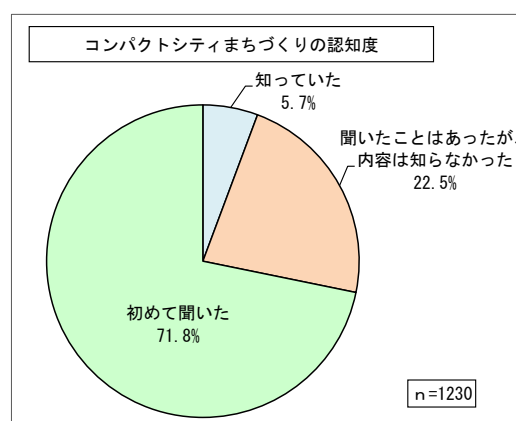


9. コンパクトなまちづくりについて

- ・コンパクトなまちづくりの認知度は低いですが、「積極的に進めるべき」との意見が過半を占める。
- ・明浜地域では、コンパクトなまちづくりを「積極的に進めるべき」とする意見は4割未満であるが、他の地域では過半を占める。

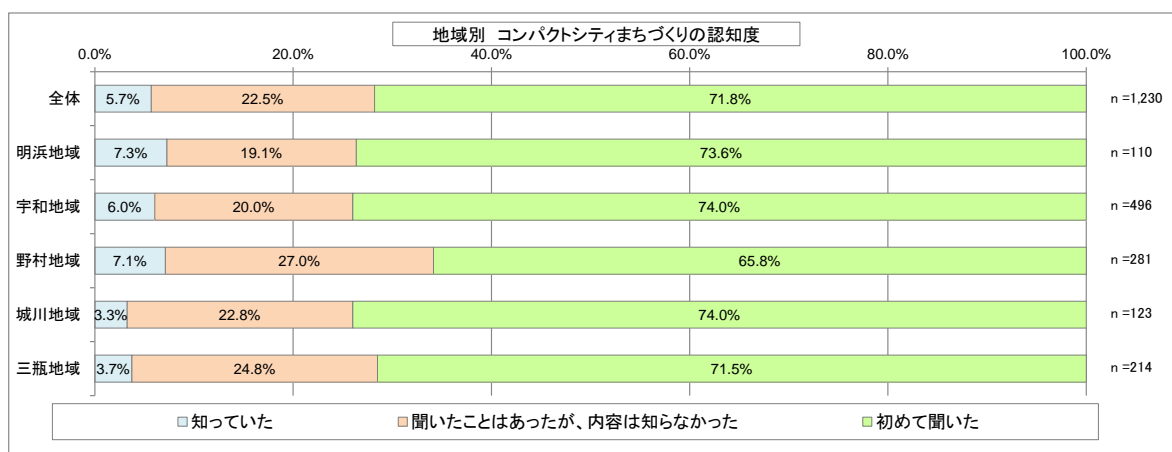
問 31 コンパクトシティ・プラス・ネットワークによるまちづくりについてご存じでしたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「初めて聞いた」が71.8%、「聞いたことはあったが内容は知らなかった」が22.5%となっている。
- ・「知っていた」は僅かに5.7%である。



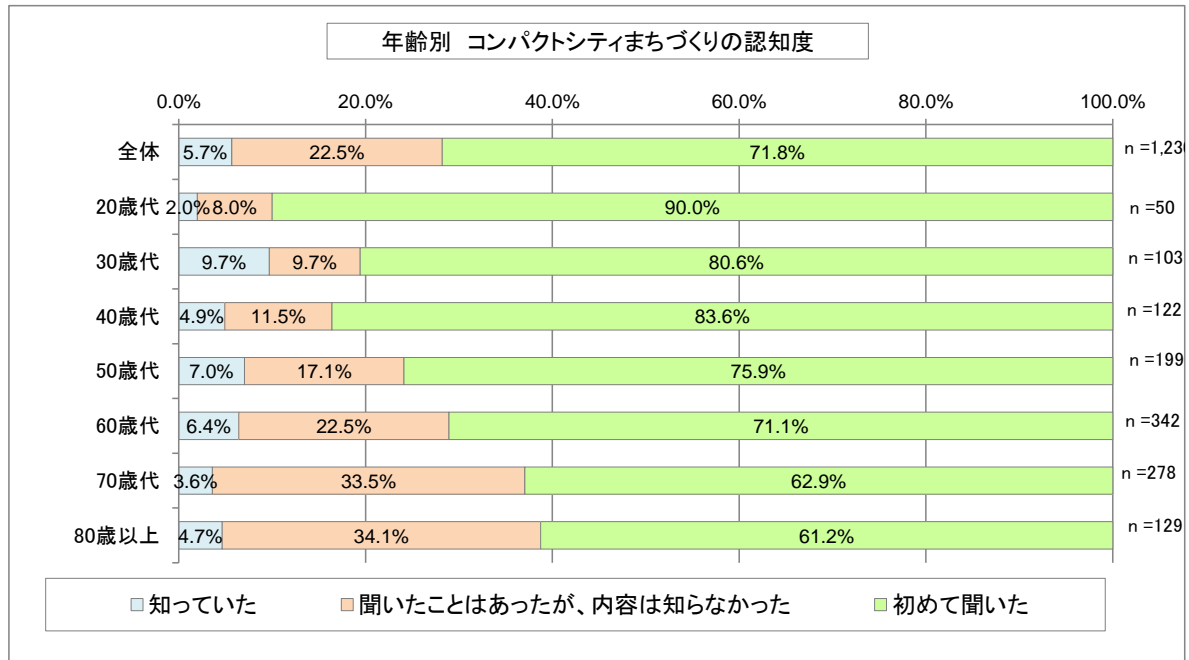
【地域別 コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりの認知度】

- ・すべての地域で概ね同様の傾向を示しているものの、「野村地域」では、「知っていた」と「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」がやや多い。



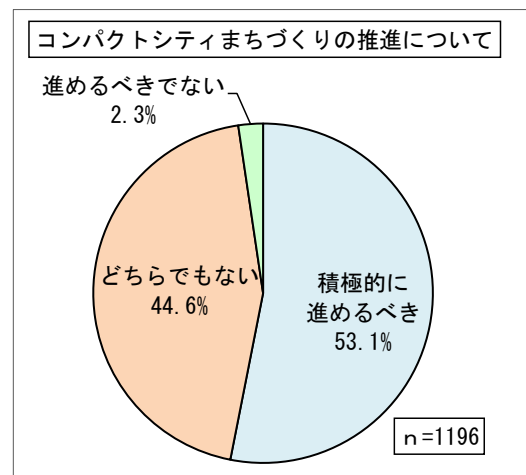
【年齢別 コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりの認知度】

- ・概ね、若い世代ほど、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりについて「初めて聞いた」が多く、年齢層が高いほど、「知っていた」と「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」が多い。



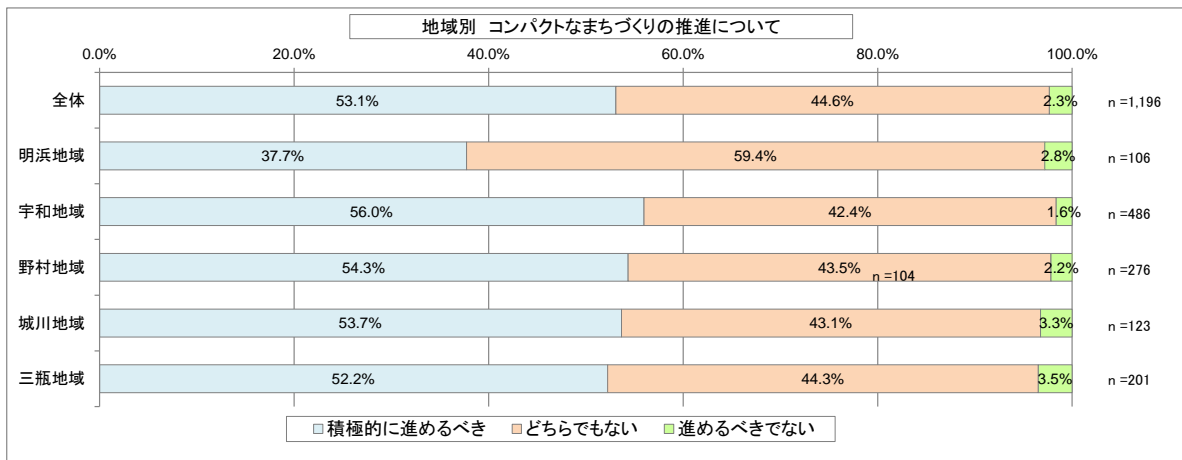
問 32 このようなまちづくりを進めることについてどう思いますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「積極的に進めるべき」が53.1%と過半を占めており、「どちらでもない」が44.6%となっている。
- ・「進めるべきではない」は僅かに2.3%である。



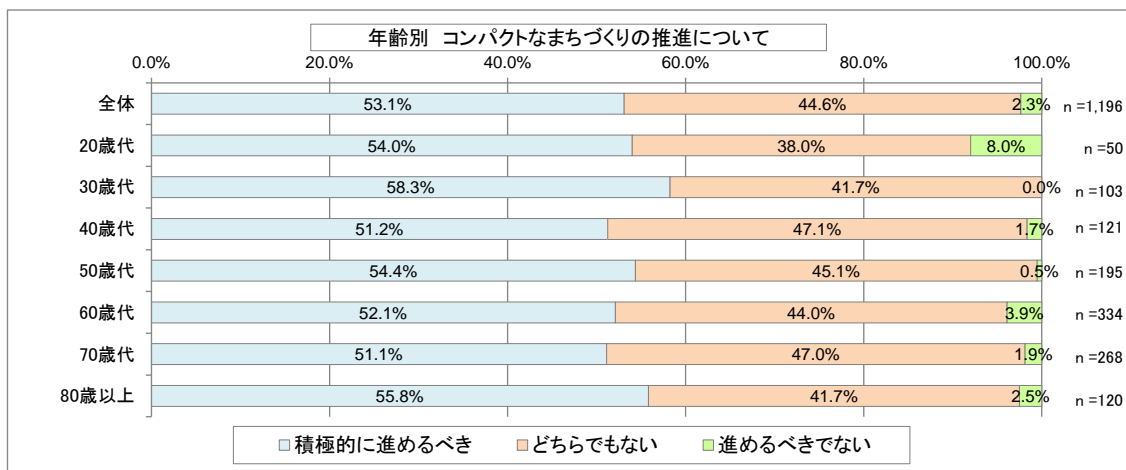
【地域別 コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりに関する意向】

・「明浜地域」では、「積極的に進めるべき」が37.7%となっているが、他の地域では、50%を超えている。



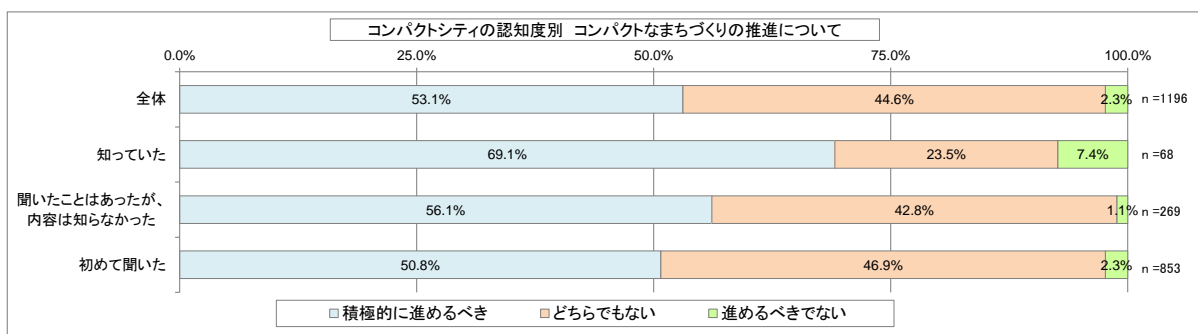
【年齢別 コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりに関する意向】

・年齢別にコンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりに関する意向をみても、大きな違いはみられない。



【コンパクトシティ・プラス・ネットワークの認知度別 まちづくりに関する意向】

・コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりについて、「知っていた」とする人ほど、「積極的に進めるべき」がとする割合が高く、「初めて聞いた」人ほど低い。

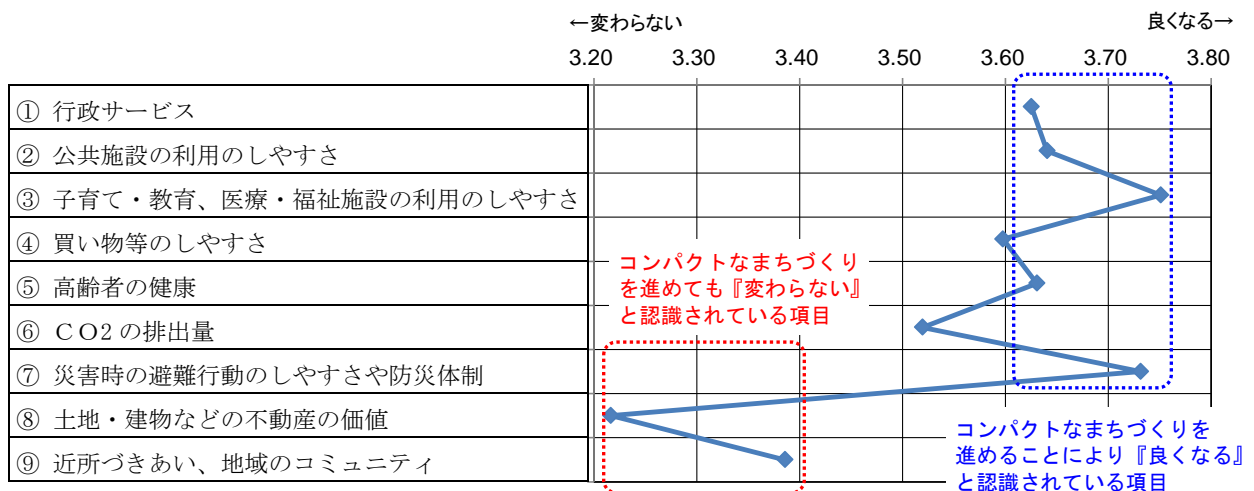


問 33 このようなまちづくりを進めた場合、お住まいの地域ではどのような影響があると思いますか。①～⑨の項目について、それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

- ・コンパクトなまちづくりの効果として、「行政サービス」や「医療・福祉施設、公共施設の利用のしやすさ」、「高齢者の健康」、「防災体制」の向上が期待されている。
- ・一方、「土地・不動産の価値」や「地域コミュニティ」に対しては「変わらない」と認識されている。

※「良くなる」を5点、「やや良くなる」を4点、「変わらない」を3点、「やや悪くなる」を2点、「悪くなる」を1点とし、平均値を算出した。

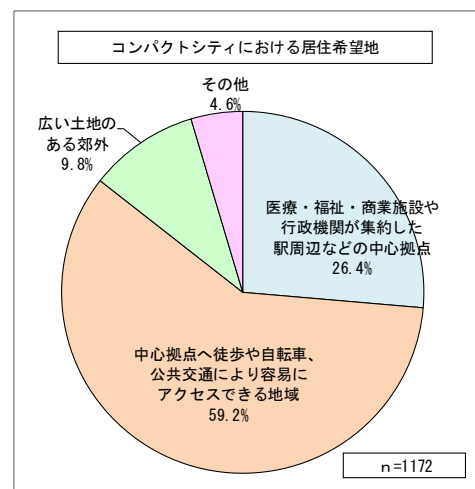
- ・コンパクトなまちづくりを進めることにより、比較的『良くなる』と認識されている項目としては、「行政サービス」、「公共施設の利用のしやすさ」、「子育て・教育、医療・福祉施設の利用のしやすさ」、「高齢者の健康」、「災害時の避難行動のしやすさや防災体制」が挙げられる。
- ・『変わらない』と認識されている項目としては、「土地・建物などの不動産の価値」、「近所づきあい、地域のコミュニティ」が挙げられる。
- ・また、『悪くなる』と認識されている項目（平均値が2点以下となる項目）は無かった。



問 34 将来このようなコンパクトなまちが実現した場合、どのような場所で暮らしたいと思いますか。将来住みたい場所、または現在お住まいの地域の将来像について、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

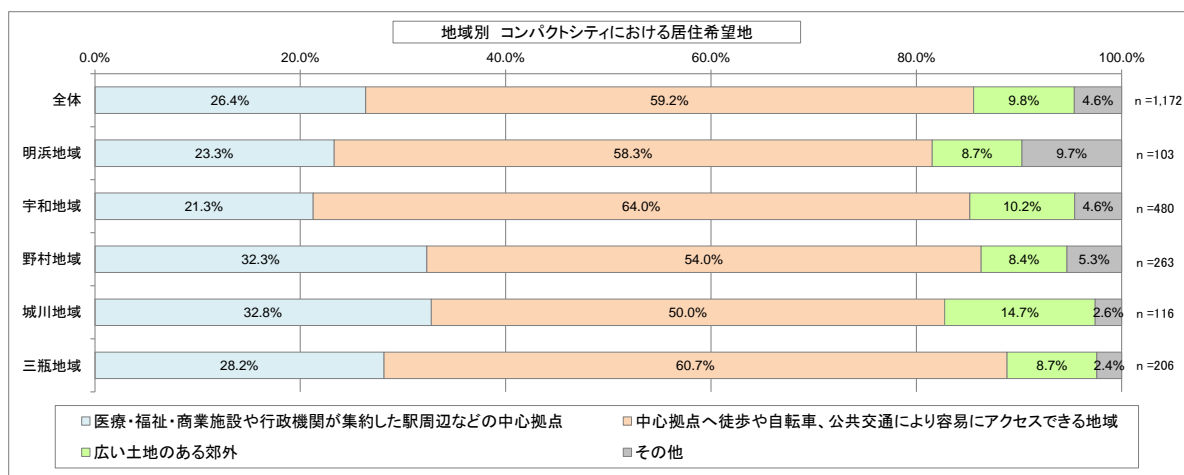
- ・コンパクトなまちが実現した場合、「まちの中心部に容易にアクセスできる地域」に住みたい人が59.2%、「まちの中心部」に住みたい人が26.4%。
- ・若い世代ほど「郊外」に住みたい人が多く、年齢層が高いほど「まちの中心部」に住みたい人が多い。
- ・コンパクトなまちづくりを「進めるべき」とする人では「まちの中心部に容易にアクセスできる地域」に住みたい人が多いが、「進めるべきではない」とする人では「郊外」に住みたい人が多い。

- ・「中心拠点へ徒歩や自転車、公共交通により容易にアクセスできる地域」が59.2%、「医療・福祉・商業施設や行政機関が集約した駅周辺などの中心拠点」が26.4%となっている。
- ・「広い土地のある郊外」は9.8%となっている。



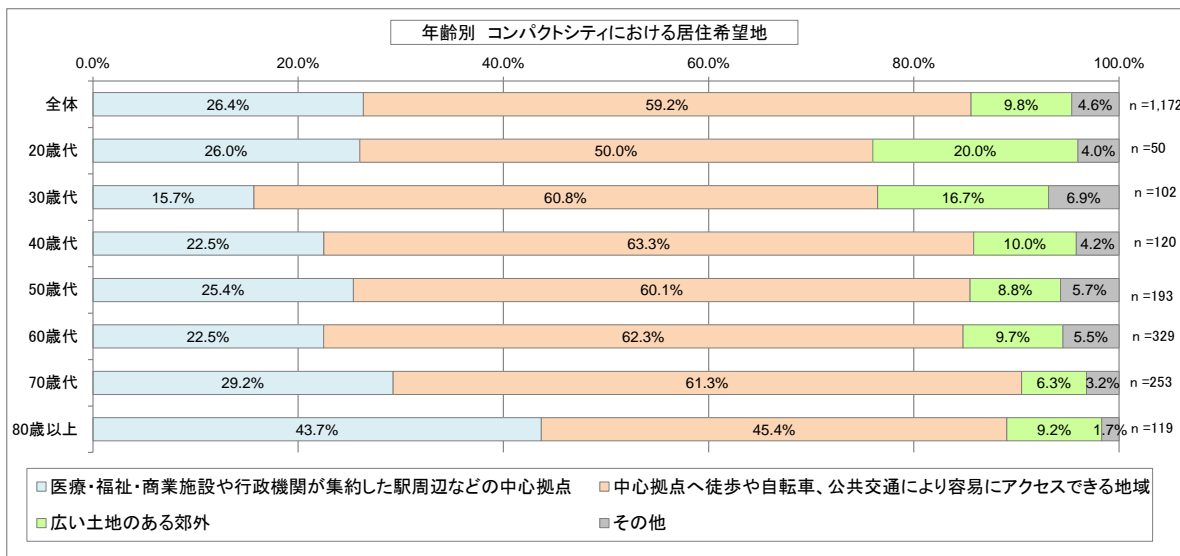
【地域別 コンパクトなまちにおける居住希望地】

- ・「明浜地域」と「宇和地域」では、「中心拠点」が20%程度、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が60%程度となっている。
- ・「野村地域」と「三瓶地域」では、「中心拠点」が30%程度、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が50%半ばから60%程度となっている。
- ・「城川地域」では、「中心拠点」が30%を超える一方、「広い土地のある郊外」が14.7%と、他の地域と比較すると高い。



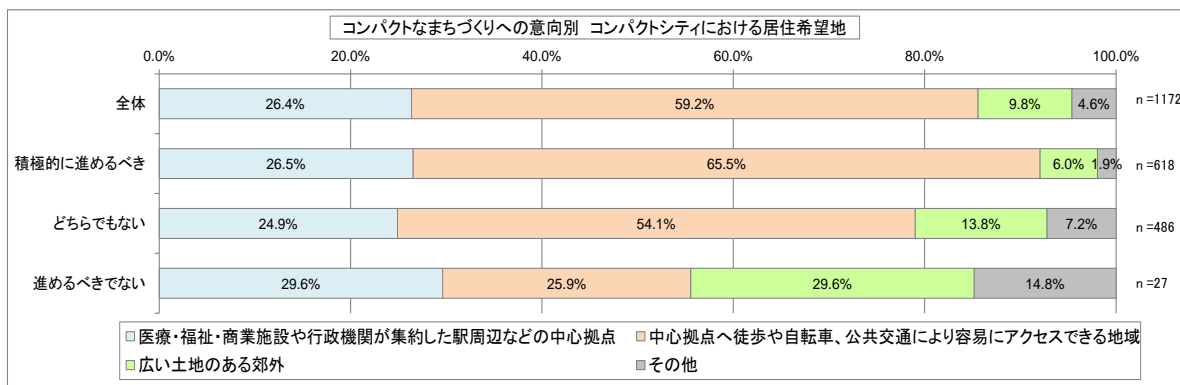
【年齢別 コンパクトなまちにおける居住希望地】

- ・若い世代ほど「広い土地のある郊外」が多く、年齢層が高いほど「医療・福祉・商業施設や行政機関が集約した駅周辺などの中心拠点」が多い。
- ・特に、「80歳以上」では、43.7%が「医療・福祉・商業施設や行政機関が集約した駅周辺などの中心拠点」を希望している。



【コンパクトなまちづくりへの意向別 コンパクトなまちにおける居住希望地】

- ・コンパクトなまちづくりを「積極的に進めるべき」とする人では、「中心拠点」が26.5%、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が65.5%を占めている。
- ・「進めるべきでない」では、「中心拠点」が29.6%、「中心拠点へ容易にアクセスできる地域」が25.9%、「広い土地のある郊外」が29.6%となっている。

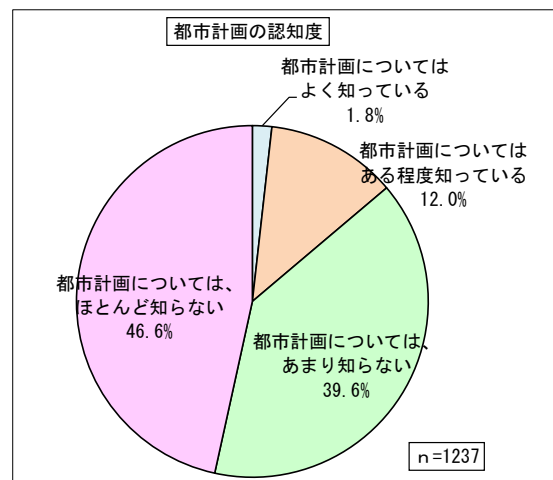


10. 都市計画について

- ・都市計画についてある程度以上「知っている」とする人は13.8%にとどまる。
- ・居住地の都市計画区域・用途地域の指定状況を知っている人は半数に満たない。
- ・都市計画区域または用途地域の指定意向については「わからない」とする人が大半。

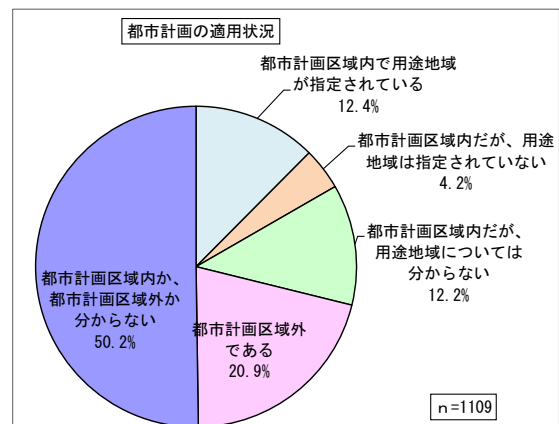
問 35 あなたは、都市計画区域や用途地域、都市施設などについてご存知でしたか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- ・「都市計画についてはほとんど知らない」が最も多く46.6%、次いで「都市計画についてはあまり知らない」が39.6%となっている。
- ・「都市計画についてはよく知っている」の1.8%と「都市計画についてはある程度知っている」の12.0%を合わせ、「都市計画を知っている」とする人の割合は13.8%である。



問 36 あなたの住んでいる所は、次のどれにあてはまりますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

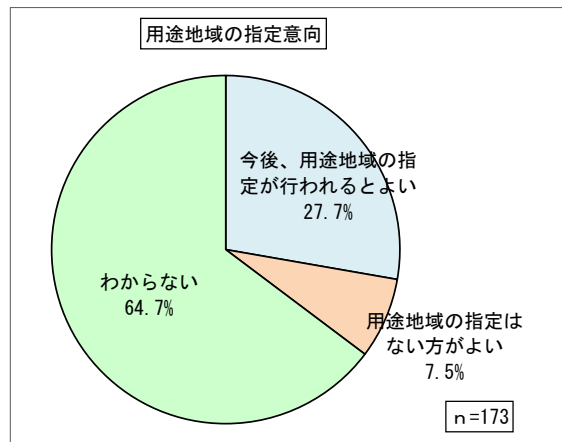
- ・「都市計画区域内か、都市計画区域外かわからない」が最も多く50.2%、「都市計画区域外である」が20.9%、「都市計画区域内で用途地域が指定されている」が12.4%となっている。
- ・「都市計画区域内だが、用途地域についてはわからない」は、12.2%となっている。



問 37 問 36 で、2（都市計画区域内だが用途地域は指定されていない）、3（都市計画区域内だが用途地域については分からない）と答えた方におたずねします。

次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

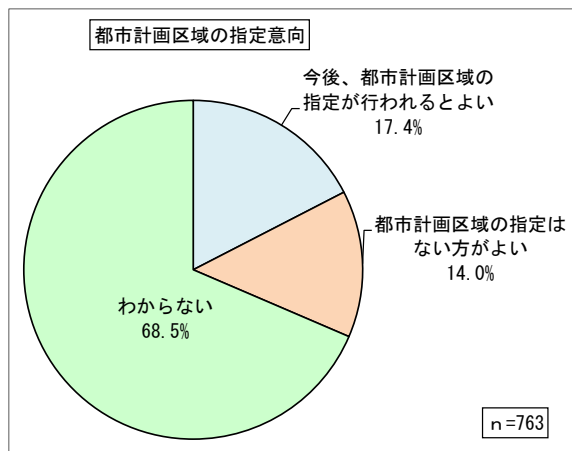
- ・「わからない」が最も多く64.7%、「今後用途地域の指定が行われるとよい」が27.7%、「用途地域の指定はない方がよい」が7.5%となっている。



問 38 問 36 で、4（都市計画区域外である）、5（都市計画区域内か都市計画区域外か分からない）と答えた方におたずねします。

次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

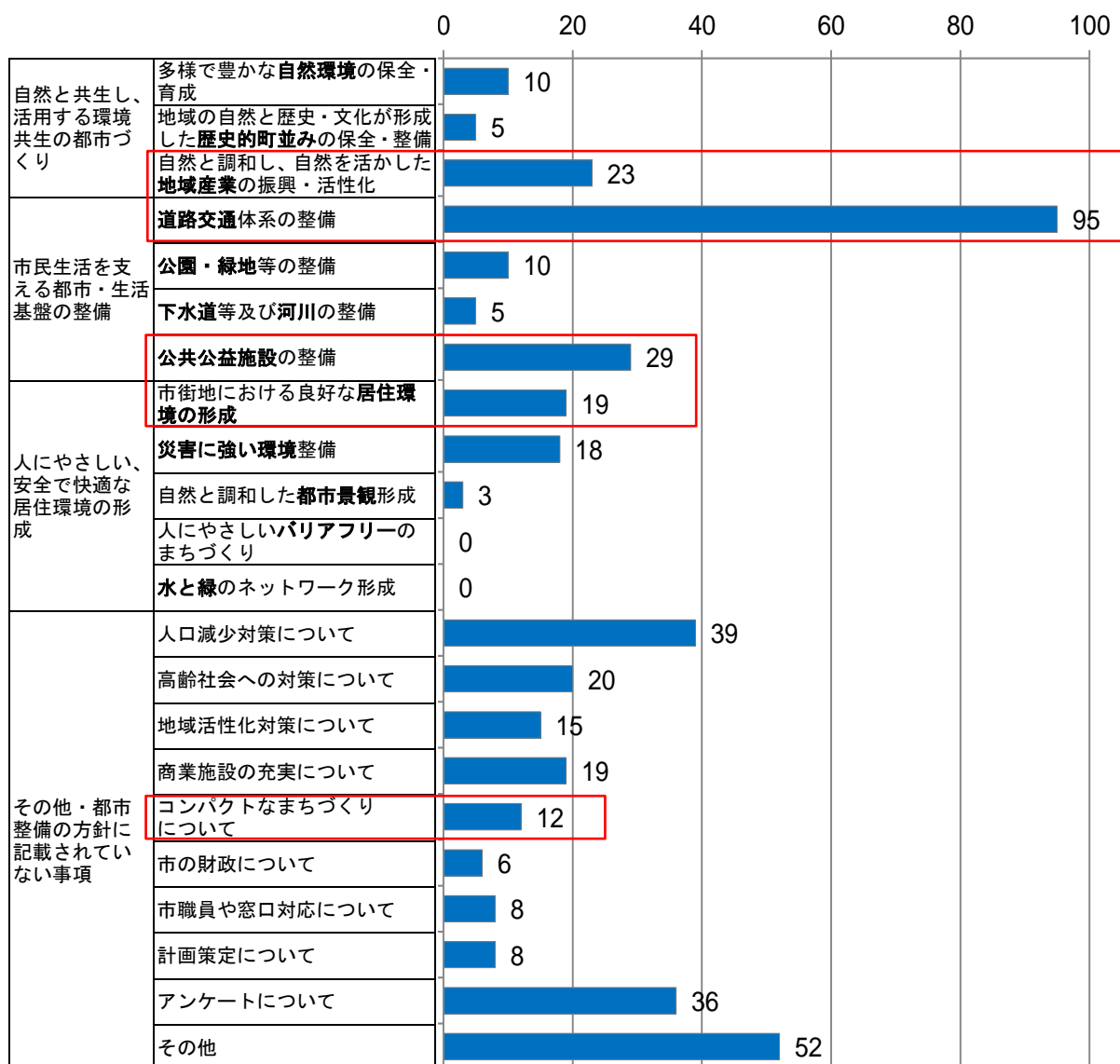
- ・「わからない」が最も多く68.5%、「今後都市計画区域の指定が行われるとよい」が17.4%、「都市計画区域の指定はない方がよい」が14.0%となっている。



11. 自由意見

問 39 まちづくりや公共交通に関する自由なご意見をお聞かせください。

- ・回収数 1,336 票のうち、358 票（26.8%）に、「自由意見」に関する記述があった。そのうち、意見の内容を詳細に判読したところ、自由意見の延数は 432 件に分類できた。
- ・現行の都市計画マスタープランにおける「全体構想」の「都市整備の方針」に従い、意見を分類したところ、以下のように分類された。
- ・特に意見が多かった分野及び都市計画マスタープラン・立地適正化計画・地域公共交通網形成計画の検討において重要となる分野（グラフ中の赤枠）について、次頁より整理する。



【地域産業（自然と調和し、自然を活かした地域産業の振興・活性化）】

項目	意見の概要
企業誘致など 仕事の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を積極的に行い活性化のある町づくりをしてもらいたい。働くことにより、市の収入が増えるので良いと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用が大事だと思う。働く場所が多ければ、町は発展していくと思う。逆に働く場所が少なければ、人口流出となり、町は衰退していくと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の子供達が他の都市に働きに出ず、地元で仕事出来る様にしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・就業のない限り若者は残らないので、まちづくりを進めても意味がないと思う。若い人が定着できるような就業の場を作り、そして少子化の対策をして、活気ある町づくりを目指してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・工場等の誘致により若者が働く場所の充実につながればよいと思う。高速のインターも近いので工業団地のようなものができれば良いのでは。
	<ul style="list-style-type: none"> ・働く場所が増えると良い。大きな工場など。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が働ける環境整備は重要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事場（若者）の確保、少しでも改善してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が住みやすい町＝働ける場がある事＝少子化の歯止めになると思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人が働く所があれば町は自然と活気ができると思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少する中、産業が活性化するように政策を取ってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が就業できる体制を作ってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が残れるように、工業や農業に力を入れて下さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・町の将来のことを考えたら、やはり若い人が住みたくなるような所にしないといけないと思います。働く場所、子育てしやすい環境、一生過ごしたいと思えるまちづくり。そのために、こういったざっくりとしたアンケートも参考にしながら、一方でもっとピンポイントで住民の意見を聞いて、共に考えていくことも大事だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した収入が得られる職場を確保することが必要なのではないのでしょうか。人口を集めることも必要と思いますし、長所もたくさんあるのは分かりますが、農地や山林が荒れてしまうのは、やや問題があると思います。開発と保全、両方ともバランス良く進めていってほしいと思います。 	
農林水産業の 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業を若い人も仕事として魅力的と思えるよう、収益があって休暇なども取れる体制を推進して、若い労働者を呼び込んでほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業についても、各農家も努力はしているが、市・農協としても助成を頂き、宇和町の水田が宇和町農家で維持存続できるための体制作りをしてほしい。
地域における 仕事の不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークも八幡浜市まで行かなければならず、西予市に仕事が無いので、人口が減るのではないか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・惣川地区は20年～30年おけている。仕事がない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・産業があまりにも少ないのでビックリしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎には働く場所がない（市役所、JA、各金融機関の支店、学校の先生、保育士、介護職など）。人口減となれば職員は減る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の仕事場がない。 ・一般企業等の就職先も少ないため、若者が大学卒業後等、帰ってきにくい環境であると思う。

【道路交通体系の整備】

項目	意見の概要
道路の新設・整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周木・二及・垣生地域に、大きな道が2本は必要だと思います。周木・二及・垣生地域の山にも道をつくって欲しい。穴井～しぎ山へ抜け道もきちんと整備して、そのまま北地区につないでほしい。2車線でトラックでもゆったり通れる道をつくってほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇和～明浜（俵津）の間、道路整備を早くしてほしい。大型車の通行、行き違い、大変である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四国カルストも時々行ったのですが、これが県道かというほど狭い道です。県に強く働きかけ、県道を整備して頂きたい。事故防止のためにも、多くの方にジオパークを知って頂くためにも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在整備して頂いている道路拡幅工事も早く仕上げしてほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の道路を広げる必要がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路拡張等大変ありがたいが、道路がへこんでくぼみになっていたり、ラインが消えていたりする箇所が多く、整備に力を入れていただきたい。また、道路脇の草木がはみ出して危険な箇所が多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県道・国道早期完成に期待している。着工から余りにも時間（年数）がかかりすぎ、工事しては中断放置、そのくりかえしが続いている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要道路が二車線で、離合しなくてよくなるようになって欲しいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道から町へ入るアクセス道路が狭く、町の中心街が死んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎、人口減少を食い止めるため、道路整備、少しでも改善してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇和町内を東西に抜ける道路（宇和IC～上松葉）の交通渋滞が頻繁に発生しているようです。この間の道路整備が必要と思われます（バイパス等）。 ・ 三瓶町朝立にある「朝栄橋」を広げて下さい。狭くて車が通りにくいです。お願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私は山に住んでいますが、最近、山歩きをされている方をよく見かけます。ただ、車移動のとき山道ですれ違う時など、少しひやっとすることもあります。山道の歩道整備をされると助かります。
道路の安全対策・通行環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車イスを押していますと、道路の端に傾斜、段差が気になります。電動車イスを自分で運転される方も同じだと思います。ご検討下さい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路の安全道をつくる（国道）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路、橋も古くなり、でこぼこしたり割れ目もできたりして、夜道は歩く時、怖い思いをする時もあります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 信号のない交差点が不便です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路整備等も力を入れてほしいと思いました。道路陥没、白線など、走りにくい場所が多い。魅力ある町づくりを推進してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市道のカーブミラー交換を地区まかせにしており、「安全第一」とは程遠い。見えないカーブミラーは即時交換してほしい。
既存道路の除草・維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりの一つとして道路の除草が必要ではないかと思っている。会社へボランティアなどをお願いし、年数回実施するだけで、お金をかけず除草できるのではと思う。市職員の人達も参加されていると思うが、企業だけをお願いするので

項目	意見の概要
	<p>はなく、今後考えたかどうかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県道の除草や山からはみだした雑木の切り取りなど、早急に道路環境を良くしてほしい。特に県道が汚れており、暗いイメージがある。早急に何とかして下さい。 ・ 県道沿いの草木の手入れ回数を増やして下さい。車に傷が付き困っています。それと、道に沿った溝に土など多く積もっています。 ・ 旧道から裏道にかけて、道路が悪く、雨が降ったらぬかるみ、草が茫々です。真中に幅 30 cm 程のセメントの借り補装があるだけで、器用に 1 列に並んで通ります。この悪路を何とかしたいです。
有料道路利用料金の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 56 号線宇和警察署前～上宇和交差点は、自動車特に混雑しているので、大州道路（宇和～大州）間の無料化で混雑を解消できるのではないかと思います。 ・ 西予宇和 IC～大洲北浜 IC の利用金額をもう少し下げて、南予方面からの車が、高速道路で大洲方面に行くように金額を設定することにより、国道 56 号得の混雑を緩和してほしい。 ・ 高速道路西予宇和⇄大洲間の利用料が高いため、宇和町商店街の交通量が増え危険である。アクセス道路整備か同区間の料金無償化を望む。
公共交通の維持・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内を巡回するバスを低賃金で運用する。 ・ 一人暮らしをしているが交通の便は悪いと感じる。自家用車がないと非常に移動しにくい。 ・ 多田地区は公共交通がないに等しい。不便です。 ・ 駅は、西予市には宇和町にしかないので、三瓶はどんなものかな？と思う。 ・ ボランティア有償運送は、路線バスやタクシーと競合するところが出てくるのではないかと思います。ボランティアで有償というのも問題であるし、免許や保険で問題があるのではないかと。タクシーの相乗りや路線バス利用者の運賃を少し援助してやる方が良いのではないかと。 ・ 27 年前に宇和町に越して来ましたが、当時、近くにバス停がありよく利用していました。しかし、道路が広がり、バス停がなくなって近くにバス停はありません。これから年をとって老人になった時、やはりバスは必要だと思います。 ・ 公共の交通手段があまりにも少ない。仕方がないと思う。そのため大変不便である。また高校の通学ができるような対策も考えていかないと、西予市の高校も一つずつなくなってしまうのではと心配する。 ・ バスを利用したいと思います。市内であればどこまでも 100 円～200 円とか、又は月乗り放題 5000 円程の券とか出来れば便利かと思っています。 ・ 南予地区は交通の便など大変遅れており、海岸沿いは顕著である。 ・ バスの大型化より中型化。スクールバスの利用増大 通学のみにはこだわらない。 ・ 公共交通の赤字にはびっくりです。市民サービスも大切でしょうが赤字解消に努めてもらいたい。 ・ 普通自動車免許を持っているが、●●●のため乗ることができないほど不便なことはありません。 ・ 「公共交通」という言葉が固いのではないかと。「コミュニティ」「ネットワーク」など、その他のサービスと一体的なものになると良いと思う。利用者負担よりも、もう少し積極的な公共政策として、充実させてほしい。 ・ 路線バスが無くなったら町は今よりさびれる。残してほしい。

項目	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・低料金で利用できる、見た目も可愛いバス(動物の絵、大型バスでないなど)を小さい子供から高齢者、保護者まで巻き込んで、そんなバスを走らせてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスは集合地区を細く廻ってほしい。市道(本線)だけで無く支線にも。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のバスが大きすぎるためもったいないと感じることがある。小さいバスにすることも一つの手ではないでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方で免許がない方は、公共交通を利用しておられます。最近、市立病院が移動してからはデマンドバスを利用されている様です。定期的に来ていた100円バスがなくなり不便になったと云われます。100円バスを値上げされても私達の地区へも利用出来る様をお願いしたいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一般交通の駅まで家から歩いて5分から10分位掛かるので不便である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・大型バス、乗客ゼロで走行しているのを見るにつけ、何とかならないものかと思えています。知恵を集結し高齢者に優しい町になればいいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字だとは言え、バスをなくす事は、地域を見捨てる事と考える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バスは障害者、利用者の目的場所に下ろしてほしいと希望します。よろしくお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について、多少改善されても、結局自分で運転できる間は利用することはないと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は、現在の方法での存続は難しいのではないかと。新たな方式を検討すべき。特に介護施設の車輪がこれだけ走っている現状で、同じ場所を違う事業者が走っているだけではナンセンス。
	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス、幼稚園バス、福祉バス等、それぞれ別ではなく、誰でも一緒に乗れたら赤字も減るのでは?そうすれば、思いやり、交流もできるのでは?
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が無くなっていくことは、やむを得ないことと思えます。地域のコミュニティで助け合うことが必要と考えます。アンケート内のNPOによる運送などを強力に推進してほしいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車以外での交通利便性の確保。
	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意見を聞いてください。私は自家用車のみ。しかし、改良する案はすべて良いと思えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共バス運行マップを各家庭に配布してほしい。赤字路線の廃止もやむを得ないが、辺地は維持してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通は維持すべきだが、赤字幅を減らすべき対策を検討してほしい(車の小型化、グループデマンド化)
	<ul style="list-style-type: none"> ・バスなどの補助金が2億越えしているのは知らなかったが、その金額を前面に出して、廃止・縮小を促すのはどうかと思う。が、現実として客のいないバスを見ることは多いし、学生がたくさん乗っているというイメージもない。高齢者の買い物・通院などもあるかもしれないが、継続も難しい。利用者に補助する形でタクシーを使ってもらおう?難しい問題だが、改善していただきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通はほぼ学生か高齢者しか使っていないかもしれないが、無くなっては人の足が無くなるので、利用人数に合わせた対応をしてほしい。なんとか維持してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、通院にも車の運転ができない人にとって、高額なタクシー料金等の負担が

項目	意見の概要
	<p>大きい。国民年金生活の人はもっと苦しい。所得者の方にも「このまちで暮らしてよかった」と思えるまちづくりを希望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通に関しては、ネットワーク等を利用して、利用者の的を絞って、経費を削減できるのではと思いました。現に路線バスは誰も乗っていないことが多い。 ・大型バスで赤字になるならワンボックスカーに変更する。病院やスーパー等民間の力も借りる等やり方はたくさんあると思う。「より多くの人を」と言うより「身近な1人」から手助けをしていけば、それが改革となるのではないのでしょうか？ ・路線バス、代替バス、温泉バス等の乗車数をよく見る機会が多いのですが、温泉バスは別として、乗客は1人～3人位しか見ません。市の金をたくさん使うのは廃止してほしい。小学生と中学生は下校時間が違うと思うので、中学生も小学校のスクールバスを利用する等考えてほしい。大人はタクシーとかボランティア有償運送に切り替えてはどうでしょう。 ・路線バスの運行維持、デマンドタクシーの細やかな運行。 ・自家用車を運転できない場合、やむをえず利用したが、宇和島バス卯之町営業所の職員の対応がとても悪いのには腹が立った。めったに利用しないから切符を買う事も分からないのに、問うと冷たい態度で対応の言葉もきつく、もう二度と乗らないと思ったし、利用者が少なくなっているのにこれではダメ。 ・私の住む所は、過疎の進む集落です。都市計画区域からはずれ、これから生活していく上で不便になるばかりだと思います。でも、この土地に住居を構え、これからも生活していくしかありません。今以上に住みにくい地域にしないでください。小中学まではスクールバスもありますが、高校生は通学するのとても大変です（費用も時間も）。 ・明浜地区はどこへ行くにも交通に不便。道路の整備は少しずつ進んでいるが、それが理由で宇和地区へ流れていく（特に若い人）。高齢者は運転ができない方も多く、どうしてもバス等の利用になるが、本数・時間もまばらのため、大型バスよりもタクシー利用になる。難しいかもしれないが、介護車両（ボランティア）を上手に使い、運用できないか（民間と公が協力する）。 ・路線バスは、利用者の多い時間、人数など統計を取り、細かくシフトを考えたらどうかと思う。高齢者が外出できれば、寝たきりにならない。認知予防になるかと思う。 ・バス利用ですが、時間が合わない時があります。 ・高速バスの時間について、昼便を増やして欲しい。 ・親が通院時、朝は出勤に合わせ、病院まで。通院後にはタクシー利用で、タクシー代がバカにならない。でも、宇和町はまだいいほうだと思う。 ・病院通いのため、デマンドタクシーは私たちの命綱です。
<p>高齢化に伴う公共交通の不安</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者である今、福祉関係病院など通院で、アサギリバスの運行が一番重要です。買物する時はバス。 ・今は自分で運転して病院・買物など行けますが、車運転しなくなった場合にはバスなどを利用しなければなりません。バスの乗り降りにまず困ります。ひざが悪いので乗り降りに高いバスにはとても困ります。時間も何時間も待たなければならないと聞きます。宇和のようにコミュニティバスなどができればなと思います。 ・今は、自動車で自由に動けるので不便はないが、今後、何年かすると公共交通を利用することになると思う。動きやすく、住みよい街になってほしいと思います。

項目	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、運転免許の返納が相次いでいます。中心街までのバス（マイクロ・乗用車）の運行が進めば、安心して住めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・足腰が弱い高齢者は乗り降りがしやすくないと危なくて利用しづらい。家の近くからでないとバス停まで歩けない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は自家用車を自分で使用しているが、将来高齢になり運転ができなくなると不安。今後も公共交通を整備してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢で車の運転ができない方々が自分の行きたいときに病院や買い物に行ける公共の交通システムができるといいと思います。方法は分かりませんが、野村や城川、その他町のはずれ、又は町の中心にいなながらも生活が困難なお年寄りが多いのではないかと心配します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、65 才以上の二人暮らし。あと数年後に、自家用車運転を止めざるを得ない。買い物もままならぬので、宅配便の利用を望むようになる。病院へはタクシーで行かなくてはいけなくなるであろう。経済的に負担が多くなり、生活が苦しくなるであろう。近くのコンビニ（大江のサンクス）へ歩いていくのに片道 30 分以上かかる。歩行能力が低下している。加茂は高齢者が多いので、少しでも働きざかりの 20 から 40 代の方が住む所になることが望ましい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・残りの人生が少ない 60 歳代 70 歳代になっても、他人に迷惑をかけないで自分で動ける足が必要です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・将来車に乗れなくなった時の事が不安です。病院、買物、食事の準備ができなくなった時。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢社会の中で、公共交通の需要はまだ増加すると思う。生活バス等充実してほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・私達の住んでいます地域は高齢化が進み、交通もバスのみです。今は自家用車に乗っていますので不便ではありませんが、5 年後の事を考えますと病院へ行くのも大変、買物に行くのも不便になると常に不安にかられます。安い運賃のバスが走れば良い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車を運転できる間は問題ないが、免許を返納した時買物、通院に困るであろう。もう少し本数を増やしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・西予市の端のほうですが、今は主人が運転していますが、主人も 80 歳になっているので、今後の事を考えると、買い物や病院へ行くのに、タクシーの利用を考えなければなりません。できれば仲間の人たちと自由にデマンドタクシーで行動できるようにになれば、便利になると思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・今はまだ自家用車で自由に移動できるので、特別不自由を感じませんが、これからはせめてバス移動が 1 時間に 1 本ほしいと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> ・城川に住んでいます。自分で車の運転ができなくなれば、週 1 回の野村病院までの福祉バスだけでは、生活できません。食料品の買い物さえ大変です。すべてにおいて不安のみです！
	<ul style="list-style-type: none"> ・私はもうすぐ 70 歳になりますけど、今は車を運転して市外にも行けます。しかし、近い将来、公共交通を利用して、病院や買い物に行く事になると思います。不安です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は自家用車を運転して、気軽に西予市内なら行く事ができるが、これから年を取り、車を運転できなくなった時に、公共交通のお世話になるかもしれない。市内と市外では交通手段やまちづくりも違ってくるので、市外の人たち、特に高

項目	意見の概要
	<p>齢者は今でも不便だし、NPO の活用はこれから特に必要になってくると思う。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 今は車を利用しておりますので、交通のことを考えておりませんが、3～5年先はきっと車の運転ができなくなると思いますので、考えてみなくてはなりません。
	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通では、いつも人が乗っていないことが多い。今はまだ自家用車に乗って出かけているが、心配でたまりません。生活バスとかタクシーは聞いてはいますが、時間帯など色々聞いていて、やっぱり考えさせられました（足・腰が悪くなると、乗り降りも難しい）。
	<ul style="list-style-type: none"> 今は車も運転でき、思う時に買い物に行け、病院にも行けるけど、これから年を取り、運転できなくなった時の事を思うと、できるだけ近くでバスが利用でき、午前と午後の用事がある時もあるだろうし、一回だけでは大変だろうな。週に2回あれば助かるだろうか。
	<ul style="list-style-type: none"> 近所には高齢者の方も多く、免許を返す方も増えてくると思うので、バス等の運行は、なんとか続けてほしいと思っています。コンパクト化することにより、移動手段のない方が不便にならないのであれば、良いと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者になり、運転が安全にできなくなった特には、高齢者がピークになるだろう。公共交通が必ず必要と思われるため、検討願いたい。



【公共交通施設の整備（公共サービス）】

項目	意見の概要
市役所・支所機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスセンターについて、市役所以外に対応してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・土日夜間の行政サービスをしてほしい。また、公民館でも行われるとよい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしです。税金の支払いに苦慮しています。一般労働者の者で、会社を休んでまで行けません。日曜日の一部の時間、もしくは午後6時30分まで支払いができるような時間を作ってもらえれば、支払いしやすくなります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・旧役場が今のままでは、まちづくりでもったいない。雨の日でもスポーツやレクリエーションが出来るような建物を建てほしい。一階はクロック場、柔道場。二階はバレーコート、バトミントンコート。一階を駐車場、半分をクロック場の案もある。
教育施設の充実・教育の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の小中高の教育体制が心配です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の高校に進学する生徒が少ない。地域を愛する生徒が増えないと西予市の発展は望めないと思います。地元の高校が魅力あるものになるため、高校の努力と市の協力が必要と考えます。部活動の活性化と職業科（総合学科）の設置を望みます。宇和の生徒は八幡浜や宇和島市を活性化しているばかりでなく、地元を愛してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・明浜では、現在でも子供の進学等の理由による転出が多く、問題になっています。地域に住みながらも教育の選択の自由などより柔軟な対応・考えをもっといただけると助かります。
医療施設・地域医療の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが病気になるときに片道50分かけて通院していると、育児ノイローゼになりそうです。産婦人科もそうです。通院しているときに何度も眠気とお腹の子を心配しながらの運転に疲れました。どうか、子どものために、働く子育て世代の方に優しい町づくりをお願いします。小児科、産科、病児保育の充実は、城川には欠かせません。いつになればもっと楽に子育てができるのだろうか。疲れ果てました。まちづくりはこういうことから始めてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和病院から西予市民病院になり医療設備もだいぶ整いましたが、夜間の緊急医療体制にいつも不安を感じます。助かる命も助からないような医療では、病院があっても何にもならないのではないかと思います。愛媛はドクターヘリも遅かったですし、よろしくをお願いします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば人口が増加していくか。特に産婦人科医が必要だと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年をとり運転ができなくなった時、又、自分が病気になった時にはやはり、宇和町でなく松山などの病院の方が安心だと思います。理想は、年老えば松山に転居したいなあと思っています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・城川町からでは宇和町は遠いため、病院は野村病院が必要である。私が聞く話の中でも野村病院の評判は良い。また、高齢者の方は、宇和町までの日々の通院は負担が大きすぎる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・夫婦だけで暮らしているので、いつ病院になるか不安。ネットワークで安否を監視してもらえるようなシステムを入れてもらい、救急対応も迅速にできればよいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が4割と高齢化が深刻であるが、健康増進を推進し、生涯を元気に過ごしていただき、医療費や介護費用の抑制を図ってほしい。 	

項目	意見の概要
	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関連の改善を進めるため、地域振興等をどうやって図るのが重要であると考えます。 ・過疎、人口減少を食い止めるため、医療を少しでも改善してほしい。 ・医療費、介護保険とかについても、利用者負担を一律、2割、3割する等、維持可能な料金にすべきです。
<p style="text-align: center;">高齢者福祉施設・福祉の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・宇和病院跡地に市の老人ホームを作してほしいと云われる方が多くおられますのでぜひ考えて下さい。 ・老人ホームを取り上げてほしい。 ・今後、高齢化が進む。福祉予算の増大が考えられる。財源確保して豊かな住みよい町にしてほしい ・福祉の充実を願います。 ・身体が不自由でデイサービスと、近くのマーケットに行くだけで、他には何も望まない。
<p style="text-align: center;">その他の公共施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市立図書館が貧弱すぎて、こちらへ越してきたとき驚きました。全国いろいろ回っていますが、ここまでひどいのは初めてです。 ・図書館を最新の図書館に建てかえ、図書館通帳を発行し、子供たちの集まる場所にしたい方が多い。 ・農業者トレーニングセンターの運動広場は、トイレ整備など努力してほしい ・高齢者や単身者の為の市営住宅を希望します。民間の賃貸は高すぎて少ない給料や年金での支払いは大変です。せめて、住宅だけでも確保されていれば、安心できるのではないかと思います。広い間取りは必要ありません。よろしく願います。 ・公営住宅など、入りたくても入居できない人がいます。母子家庭の人で税金が払ってないから入れないと言われ、高い家賃の所に入っています。これでは税金も払えません。生活がやっとなです。 ・公営住宅に入居して40年近くなるが、最近、きまりを守らない人が多い。草ものびほうだい。私は住宅の道さき草のびたらすぐひく。川のはたの草も引く。通る人が知ってる。やはり年をとったせいかも、元気でやれるから良いと思う。これからも出来るかぎりしようと思います。 ・公共施設を利用する場合、駐車場のスペースのなさにいつも困ります。平日の施設での催しがある場合、遠くから来る方の事を考えて、スペースの確保はできないのでしょうか。

【居住環境の形成（市街地における居住環境の形成）】

項目	意見の概要
土地利用・まちづくり全般	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会の規制が厳しいため、地目変更が出来ず、農振地域は若者が定着しない。後10年で高齢化が進み集落の機能が失われます。規制の撤廃をしてほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・土地利用に関して、積極的に規制緩和を行い、無駄な労力を使わず、融通を効かせてスムーズに動いていただきたい。国にも働きかけてほしい。そうでなければまちづくりにも遅れが生じると思われる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢世帯の多い地域であり、農地も家も管理することが出来ない状態で、税だけが残る。全く収入のない田畑も何とか見苦しくないようにと気を使うが、体力、財力も限度がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画はスピーディーにシンプルに進めて下さい。支えるエネルギー、人と力を強化しないと老人は心配です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画域外ですが、現在住んでいる地域をもっともっと魅力のある地域に育てて行きたい。都市計画についてはほとんど興味を持たない。
	<ul style="list-style-type: none"> ・子供から高齢者まで住みやすいまちづくりをして欲しいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・蔵貫地区の様に次々用地買収がすすみ、道が広がっている所もある一方、道が狭く救急車も消防車も入る事が出来ない地区も多い。その辺の事も行政で早く取り組んで欲しい。
空き家対策について	<ul style="list-style-type: none"> ・あちこちで古い空き家があり、夜に近くを通ると気持ち悪い。解体の助成費を出して、除却してほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの家の周りは空き家が多く、野良ネコが住みついたり台風の時に外壁のベニヤ板が飛んでくる時などがある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・老人世帯が多く、空家が目立ち始め、家が古くなり、いつ倒壊するかと心配な空家が沢山あります。時々巡回する必要があるかと考えます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・空家を借りたい人が沢山いると聞いていますが家主が荷物を置いているので貸さないそうです。とてももったいない話です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が増えていて倒壊の心配がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢とともに、空き家が増えています。
衛生・環境美化について	<ul style="list-style-type: none"> ・養豚、養鶏、周木の肥料作りなど産業が盛んな事は良いと思いますが、毎日悪臭に悩まされています。不便な所に住んでいても水と空気さえ良ければ快適な日常生活は出来ます。基本的な住環境にも目を向けて欲しいです。
	<ul style="list-style-type: none"> ・野生の動物が住んで衛生面も心配。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを捨てない。花のある美しい町づくりを目指したい。犬のフン対策、猫の避妊、増えないように。猫のフンも困る。使えるのに使わなくなった不用品を安く引き取ってくれる市の施設はないのでしょうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・三瓶～八幡浜方面の道はゴミがすてられて、とても拾う人はいなくてこまっています。三瓶～宇和線の道もゴミが道路に缶、ペットボトルひろっても間に合いません。どうにかしてほしい
	<ul style="list-style-type: none"> ・私は野村で生まれ、死ぬまで地元で生活したいと思っています。住めば都、災害は少ないし、人・水・風も良い。しかし、夏場の雑草には手を焼いています。
	<ul style="list-style-type: none"> ・街の美化のためのボランティア活動の推進及び資金的支援をしてほしい。

【コンパクトシティについて】

項目	意見の概要
コンパクトシティについて	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまちづくり推進に期待します。
	<ul style="list-style-type: none"> 空き家も増える中、コンパクトなまちになり、便利な所へ住み替える事で、高齢になってからも安心して生活できる環境ができればと思う。
	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの整備にはかなりの予算がかかるのではないかと予想できますが、今後ますます高まる高齢化社会にとっては必要なのではないかと思います。高齢者・子供たち・みんなが安心して暮らせる西予市になったらなと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少と少子高齢化の加速で地方財政を取り巻く環境は厳しさを増している中で、「コンパクトシティ・プラスネットワーク」の考えに基づく体制整備は手探りで困難を伴う。日本らしい共同の精神を見直し、地域のつながりの再生拠点を作ることが高齢化社会の大切なポイントになるのではと思います。
	<ul style="list-style-type: none"> 交通面ではコンパクトシティ案も良いとは言え、移動できる者ばかりではない。現在の住居を簡単には捨てきれない。
	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティは良い事づくめのようなのですが、そのためには莫大なお金がかかりそうなので反対しました。今回は意見を述べる機会を与えて頂きありがとうございます。
	<ul style="list-style-type: none"> 西予市のコンパクトシティ計画に反対です。先祖代々住み続けた土地を離れ便利な新しい土地へ移り住むことは、その人達にとって本当に幸せなことでしょうか。大切なことは、住みなれた土地で生活できるように色々な方法を考え、実行することだと思います。人々が移ってしまえば景観も変わってしまいます。
	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設を市の中心に集めない。
	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまちづくりが進めば、中心（宇和）から離れた高山のような集落はどうかのでしょうか。医療福祉等の施設がふえるはずもないし、道路の整備も期待できないので、車が運転出来なくなれば、離れなければならないと思う。都市計画が進んだら自分の住んでいる地区がどのようになるのか、あまり見えてきません。
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン、コンパクトシティ・プラス・ネットワークによるまちづくりとは、市中心街が対象で、市端々に住む私たちには関係ない気がする。興味もない。どこへ行くにも時間もお金もかかる。市中心以外に住む人が住みやすくなるような公共交通機関や補助などを望む。
<ul style="list-style-type: none"> 西予市の規模で集約を考えることは、条件的に無理である。コンパクトになり様が無い。 	
<ul style="list-style-type: none"> コンパクトなまちづくりを行っても、高齢者等は住み慣れたところが良いと思う人も多いのではないのでしょうか。 	

